

豊田厚生病院年報

令和3年度

Toyotakosei Hospital Annual Report 2021

豊田厚生病院理念

私たちはたえず
新しい医療のあり方を追求し
優しさと温かさを大切にして
地域の人たちと共に歩みます



基本方針

私たちは、次の基本方針に基づいて患者に適切な医療・保健・福祉サービスを提供します。

1. 公的病院として、地域住民の健康増進・病気の治療と予防に努めます。
2. 患者の権利に配慮した安全で安心できる医療・保健・福祉サービスの提供を行います。
3. 常に医学の進歩に目を向け、人的・設備的な質向上に努めます。
4. 地域の医療機関との緊密な連携を図り、患者中心の地域医療体系の構築に努めます。

患者の権利と責任

1. 個人の尊厳
人格が尊重され人間としての尊厳を守られる権利があります。
2. 平等な医療を受ける権利
良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
3. 知る権利
病状・検査・治療について十分な説明を受ける権利があります。
4. 自己決定の権利
納得できるまで説明を受けた上で、自ら治療方法を選択する権利があります。また、セカンド・オピニオンを求めることができます。
5. プライバシーが守られる権利
ご自分の情報を承諾なしに第三者に提示されない権利があります。
6. 参加と協同の責任
患者は、これらの権利を守るため、医療従事者との信頼関係の構築に努め、医療に参加、協力する責任があります。

発刊にあたり

豊田厚生病院 病院長 服部直樹



1. 令和3年度事業概要

急速な高齢化の進展を背景に社会保障費給付費は増加し、少子化の影響も重なって労働力人口は減少して国の財政は大きく逼迫した状況が続いています。そして、新型コロナウイルス感染症による景気の低迷に対して緊急経済対策を実施したことで、財政再建は更に厳しい状況になっています。

新型コロナウイルス感染症の対応で多くの医療機関が疲弊し、医療崩壊が危ぶまれるなかでも、国は医療提供体制の構築に向けて地域医療構想、医師・医療従事者の働き方改革、医師偏在対策の三位一体の取り組みを進めています。地域医療構想においては新型コロナウイルス感染症をふまえた構想のあり方が議論されており、今後の動向を注視していく必要があります。また、医師・医療従事者の働き方改革に対応する体制作りも急務になっています。

こうしたなか、当院は西三河北部医療圏の中核病院として高度医療の提供、地域における役割を果たすとともに、地域住民に安全で安心な医療を提供するため、以下の取り組みを行いました。

- ① 感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症患者を受け入れ、愛知県の要請にも応えて専用の病床を確保・増床しました。また、一般外来患者と感染者・発熱者の動線を分けて、患者が安心して受診できる環境整備に努めました。
- ② 新型コロナワクチン接種では、当院かかりつけ患者に対して個別接種を実施し、愛知県や豊田市からの要請に応じて大規模集団接種会場等へ職員を派遣しました。また、JA職員に対する職域接種に加え、地域の高校生への集団接種を行いました。
- ③ 電子カルテシステムを更新し、看護、検査、手術、経営分析、物流管理等あらゆる分野で利用されるシステムを有機的に結び付けました。質の高い、安全な医療提供に繋がっています。
- ④ がん診療連携拠点病院として2年連続で、愛知県内で最も多くのがん地域連携パスを活用するとともに、がんゲノム医療連携病院として更なるがん医療の充実に向け、がん遺伝子パネル検査を実施しています。
- ⑤ 効率的な病床運用の検討を進めるとともに、DPC制度における標準的な治療を提供するため、クリニカルパスの見直しを実施、継続しています。

運営面では、外来は1日当りの患者数1,352人（予算1,350人、前年度1,318人）1人当りの診療単価27,523円（予算25,351円、前年度26,241円）となりました。入院は、1日当りの患者数516人（予算539人、前年度513人）1人当りの診療単価81,760円（予算81,812円、前年度81,259円）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、前年度を若干上回る結果となりました。

今後も診療機能の更なる向上に加え、病院経営の健全化維持に向けて職員一丸となって取り組むとともに、地域住民の健康増進に配慮した安全で安心できる医療・保健・福祉サービスを提供して参ります。

令和4年10月1日
病院長 服部 直樹



4月 新人研修



6月 新型コロナワクチン行列

ワクチン接種の予約開始日に多くの人が集まり、ただちに完売となりました。



新型コロナワクチン接種

医療従事者に加え、個別接種・休日の集団接種・職域接種・高校生へ行いました。



昨年に続く発熱者対応外来
採取の様子



9月 救急医療功労者として川口病院長受賞

多年にわたり救急医療の向上に尽力したとして表彰されました。



9月 電子カルテシステム更新



1月 中学生より応援メッセージ

中学生よりメッセージプレートの寄贈をいただきました。



2月 医療従事者不足の沖縄へ看護師を派遣

クラスターが発生し医療従事者不足となった病院に看護師1名が2週間応援に入りました。



3月 ECMO(体外式膜型人工肺)による治療

入院患者の多くが中等症・重症でECMOによる治療を行った患者もいました。



3月 名古屋刑務所より感謝状

新型コロナウイルスワクチン接種を行ったことによる感謝状をいただきました。

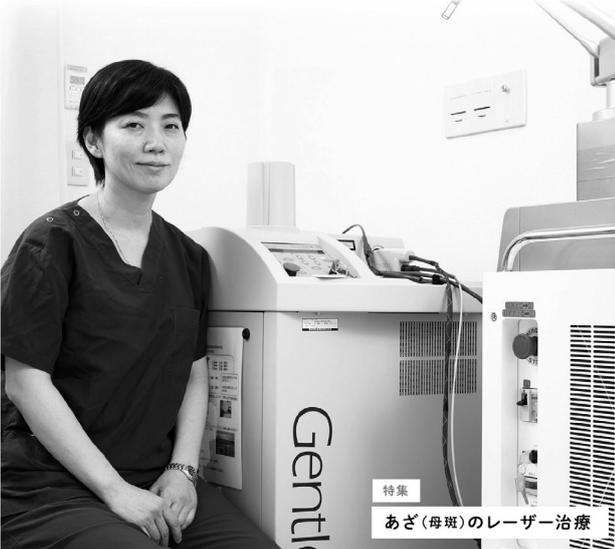


3月 臨床研修修了式

TOYOTA KOSEI 豊田厚生病院
私たちがたえず 新しい医療のあり方を追求し 優しさと温かさを大切にして 地域の人たちと共に歩みます

カモメイト

Vol.91
spring



特集
あざ(母斑)のレーザー治療

診療日カレンダー [Calendario de Atención] 休診 [Feriado] (2021年 5月-8月)

5月							6月							7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7		
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21		
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28		
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			25	26	27	28	29	30	29	30	31						
30	31																										

TOYOTA KOSEI 豊田厚生病院
私たちがたえず 新しい医療のあり方を追求し 優しさと温かさを大切にして 地域の人たちと共に歩みます

カモメイト

Vol.92
summer

ご自由にお持ちください

特集 緑内障の治療



診療日カレンダー [Calendario de Atención] 休診 [Feriado] (2021年 8月-11月)

8月							9月							10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13		
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20		
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	18	19	20	21	22	23	24		
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	21	22	23	24	25	26	27			
29	30	31											24	25	26	27	28	29	28	29	30						

TOYOTA KOSEI 豊田厚生病院
私たちがたえず 新しい医療のあり方を追求し 優しさと温かさを大切にして 地域の人たちと共に歩みます

カモメイト

Vol.93
autumn

ご自由にお持ちください



特集
もしかして控えていませんか?
健診・がん検診

診療日カレンダー [Calendario de Atención] 休診 [Feriado] (2021年 2022年)

11月							12月							1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6		5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	1	1	2	3	4	5			
7	8	9	10	11	12	13	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12		
14	15	16	17	18	19	20	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19		
21	22	23	24	25	26	27	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26		
28	29	30											30	31					27	28							

TOYOTA KOSEI 豊田厚生病院
私たちがたえず 新しい医療のあり方を追求し 優しさと温かさを大切にして 地域の人たちと共に歩みます

カモメイト

Vol.94
winter

ご自由にお持ちください



特集 小児アレルギー

INDEX

P2 病院長年頭のごあいさつ

P3 PET/CT検査
がんの早期発見にPET/CT検査はいかがですか

P4 特集
小児アレルギー～食物アレルギーの「経口負荷試験」～

P6 連携医紹介

- のみ皮膚科クリニック
- みよしかめいクリニック
- 井上医院
- かすがい皮膚科
- 三好丘こどもクリニック
- つねがわファミリークリニック

P8 news

目次

豊田厚生病院理念	1
基本方針、患者の権利と責任	2
発刊にあたり	3
主な出来事	4
カモメイト院外版	6
豊田厚生病院概要	9
豊田厚生病院組織図	11
豊田厚生病院会議・委員会組織図	12
医師名簿	13
役付職員名簿	14
職員数	15
令和3年度事業計画	16

I. 医療実績

1. 診療科別延患者数 及び診療収入

1) 科別延患者数	21
2) 科別診療収入	22

2. 市町村別利用状況

1) 市町村別外来利用状況	23
2) 市町村別入院利用状況	24

3. 年齢別利用状況

1) 年齢別外来利用状況	25
2) 年齢別入院利用状況	25

4. 救命救急センター外来利用状況

1) 診療科別患者数	26
2) 月別患者数	26
3) 救急車受入状況	27

5. 手術件数

29

6. 分娩数・死亡数・剖検数

30

7. 退院患者統計

1) 診療科別・月別退院患者数	31
2) 診療科別・死亡退院患者数	31
3) 地域別・年齢階層別退院患者数	32
4) 疾病別・診療科別退院患者数	34
5) 診療科別・在院期間別退院患者数	35

6) 疾病別・在院期間別退院患者数	36
7) 疾病別・年齢階層別退院患者数	37
8) 診療科別疾患順位	39
8. 剖検数	43
9. 臨床研究	44
II. 部署別業務実績	
1. 診療放射線室	51
2. 臨床検査室	54
3. リハビリテーション室	58
4. 臨床工学室	60
5. 栄養管理室	63
6. 薬剤部	65
7. 看護部	70
8. 医療安全管理部	74
9. 感染制御部	78
10. 地域医療連携課（地域医療連携係）	81
11. 地域医療連携課（在宅支援コーディネーター係）	85
12. 医療福祉相談課（兼がん相談支援センター）	88
13. 豊田厚生訪問看護ステーション	91
14. 居宅介護支援事業所（豊田厚生介護保険センター）	94
15. 豊田厚生地域包括支援センター	96
16. 健康管理室	99
III. 職員活動	
1. 研究業績	103
2. 院内研修活動	
1) 全体講演会・全体発表会	125
2) 研修会・勉強会	126
IV. 委員会活動	
1. 委員会一覧	131



豊田厚生病院概要

令和4年3月1日現在

■ 名 称

愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院

■ 所在地

〒470-0396 愛知県豊田市浄水町伊保原500-1

TEL(0565)43-5000 FAX(0565)43-5100

■ 設立年月日

昭和22年5月1日（豊田厚生病院開院 平成20年1月1日）

■ 病床数

606床（一般600床・感染症6床）

■ 標榜科目 39科

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、内分泌・代謝内科、腎臓内科、血液内科、アレルギー科、緩和ケア内科、精神科、小児科、放射線科、放射線治療科、放射線診断科、臨床検査科、病理診断科、感染症内科、外科、消化器外科、乳腺外科、血管外科、小児外科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓外科、救急科、泌尿器科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、歯科口腔外科、整形外科、リウマチ科、形成外科、皮膚科、産婦人科、リハビリテーション科、化学療法内科

■ 専門外来 38科

血液内科、膠原病外来、腎臓外来、糖尿病外来、脳神経内科、小児循環器科、小児神経科、小児血液科、小児アレルギー科、小児外科、ストーマ外来、内分泌外来、肝臓外来、ペースメーカークリニック、血管外科、インプラント外来、助産師外来、アレルギー外来、乳腺外来、婦人科腫瘍外来、禁煙外来、糖尿病フットケア外来、女性専門外来、小児腎臓外来、ボトックス外来、緩和ケア外来、肥満外来、セカンドオピニオン外来、ペインクリニック、胃瘻交換外来、母乳外来、耳鼻いんこう科腫瘍外来、糖尿病療養指導士外来、リウマチ外来、不整脈外来、骨粗鬆症外来、心不全外来、側弯症外来

■ 関連施設

豊田厚生訪問看護ステーション、豊田厚生地域包括支援センター、豊田厚生居宅介護支援事業所、加茂看護専門学校

■ 施設認定

救急告示病院、病院群輪番制病院（二次）、臨床研修病院（医科）、臨床研修施設（歯科）、エイズ治療協力病院、難病医療協力病院、地域がん診療連携拠点病院、地域中核災害拠点病院、肝疾患専門医療機関、救命救急センター、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関、脳死下臓器提供施設、DMAT指定医療機関、地域医療支援病院、DPC特定病院群（旧：DPCⅡ群病院）、がんゲノム医療連携病院、第二種感染症指定医療機関、保険医療機関、労災保険指定医療機関、生活保護法指定医療機関、結核医療機関、更生・育成医療指定、養育医療指定、原爆医療指定（一般・認定疾病）、二次健康診断指定医療機関、病院機能評価認定病院、全国循環器撮影研究会認定被ばく線量低減推進施設、日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設、マンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診施設、卒後臨床研修評価機構（JCEP）認定病院、人間ドック健診施設機能評価認定病院、下肢静脈瘤血管内焼灼術実施施設、医療被ばく低減施設、関連10学会構成腹部ステントグラフト実施施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、胸部ステントグラフト実施施設、日本脊椎脊髄病学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設

■ 管 理 者

病院長	川口 鎮	副院長兼医療安全管理部長兼地域医療福祉連携部長	服部直樹	薬剤部長	三宅芳男
副院長兼第5診療部長	鏡味良豊	副院長兼第3診療部長	久留宮康浩	看護部長	阪口浩美
副院長兼感染制御部長	岩瀬 豊	副院長兼臨床研修部長	水野敬輔	事務部長	池田真紀
加茂看護専門学校兼副院長兼第2診療部長	梶田光春	患者相談部長	平松義規		
副院長兼第1診療部長兼保健事業部長	篠田政典	診療協同部長	中根生弥		

■ 学会認定

日本臨床腫瘍学会認定研修施設	日本消化器外科学会専門医修練施設
日本呼吸器学会認定施設	日本食道外科専門医準認定施設
日本高血圧学会専門医認定施設	日本乳癌学会専門医制度認定施設
日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設	呼吸器外科専門医合同委員会基幹施設
日本循環器学会循環器専門医研修施設	日本脳神経外科学会専門医研修施設
日本心血管インターベンション治療学会研修施設	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
日本肝臓学会認定施設	日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設	日本眼科学会専門医制度研修施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本麻酔科学会麻酔科標榜のための研修施設
日本神経学会専門医制度教育施設	日本ペインクリニック学会指定研修施設
日本認知症学会専門医制度教育施設	日本口腔外科学会認定研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設	日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設	日本形成外科学会認定施設
日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本甲状腺学会認定専門医施設	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本透析医学会専門医制度認定施設	日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設
日本腎臓学会研修施設	日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
日本急性血液浄化学会認定指定施設	日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
日本血液学会認定血液研修施設	日本大腸肛門病学会認定施設
日本感染症学会研修施設	日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
日本リウマチ学会教育施設	日本胆道学会指導施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本女性医学会専門医制度認定研修施設
日本緩和医療学会認定研修施設	外科周術期感染管理教育施設
日本小児科学会小児科専門医研修施設	日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度 (I&A制度) 認定施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関	日本口腔科学会認定医制度研修施設
日本病理学会研修認定施設B	日本肝胆膵外科学会肝胆膵外科高度技能専門医修練施設B
日本臨床細胞学会認定施設	日本脳卒中学会一次脳卒中センター
日本臨床細胞学会教育研修施設	日本高気圧環境・潜水医学会認定施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本病院会病院総合医育成プログラム認定施設

■ その他認定

病院機能評価認定病院	卒後臨床研修評価機構 (JCEP) 認定病院
人間ドック健診施設機能評価認定病院	医療被ばく低減施設



医師名簿

令和4年3月1日現在

職名	氏名	診療科
病院長	川口 良	心臓外科
副院長兼第5診療部長兼通院治療センター長兼化学療法内科代表部長	鏡味 豊	血液内科
副院長兼感染制御部長	岩瀬 豊	泌尿器科
加茂看護専門学校校長兼豊田厚生病院副院長兼第2診療部長兼小児科代表部長	梶田 光春	小児科
副院長兼第1診療部長兼保健事業部長兼内科代表部長兼循環器内科代表部長	篠田 政典	循環器内科
副院長兼臨床研修部長兼入退院支援センター長兼血管外科部長	水野 敬輔	外科学科
副院長兼第3診療部長兼外科代表部長兼乳腺外科部長	久留宮 康浩	外科学科
副院長兼医療安全管理部長兼地域医療福祉連携部長兼脳神経内科代表部長	服部 直樹	脳神経内科
呼吸器内科代表部長兼アレルギー科部長	谷川 吉政	呼吸器内科
呼吸器内視鏡部	指尾 豊和	呼吸器内科
呼吸器内科	中原 夫	呼吸器内科
呼吸器内科	林 かずみ	呼吸器内科
呼吸器内科	岩本 和馬	呼吸器内科
循環器センター	金子 鎮二	循環器内科
循環器内科外来部	窪田 龍二	循環器内科
循環器内科CUCU部	大橋 大器	循環器内科
循環器内科病棟医	藤田 雅也	循環器内科
循環器内科	豊 陽祐	循環器内科
循環器内科	賀 智明	循環器内科
循環器内科	山内 良太	循環器内科
循環器内科	近藤 喜太	循環器内科
循環器内科	堀 仁美	循環器内科
循環器内科	井 伸	循環器内科
内視鏡センター長兼消化器内科代表部長	都築 智之	消化器内科
保健事業部健康管理室長兼消化器内科病棟部長兼化学療法内科部長	森田 清史	消化器内科
消化器内視鏡部	森竹 淳史	消化器内科
消化器内科医	高土 ひとみ	消化器内科
消化器内科	創 豊島	消化器内科
消化器内科	平岩 厚佑	消化器内科
消化器内科	玉腰 丈博	消化器内科
消化器内科	近藤 大也	消化器内科
消化器内科	稲掛 優介	消化器内科
脳神経内科外来部	富田 稔	脳神経内科
脳神経内科病棟医	池田 昇平	脳神経内科
脳神経内科	福島 大喜	脳神経内科
内分泌・代謝内科代表部長	澤井 喜邦	内分泌・代謝内科
内分泌・代謝内科病棟医	加藤 大也	内分泌・代謝内科
血液浄化センター長兼腎臓内科代表部長	増田 富	内分泌・代謝内科
腎臓内科病棟医	倉田 久嗣	腎臓内科
腎臓内科	吉岡 知輝	腎臓内科
腎臓内科	堀 貴洋	腎臓内科
腎臓内科	石川 稜	腎臓内科
腎臓内科	藤 紇	腎臓内科
腎臓内科	水野 幸奈	腎臓内科
血液内科代表部長	平賀 潤	血液内科
血液内科病棟医	原田 靖彦	血液内科
総合内科代表部長	西本 泰浩	総合内科
総合内科病棟医	鈴木 誓子	総合内科
総合内科医	渡口 賢隆	総合内科
感染症内科代表部長兼感染制御室長	川端 厚	感染症内科
緩和ケア内科代表部長	村松 雅人	緩和ケア内科
緩和ケア内科	金山 均	緩和ケア内科
緩和ケア内科	西村 大作	緩和ケア内科
緩和ケア内科	山口 健介	緩和ケア内科
緩和ケア内科	飯田 しおり	緩和ケア内科
緩和ケア内科	大橋 渉	緩和ケア内科
緩和ケア内科	南谷 有香	緩和ケア内科
緩和ケア内科	佐藤 美	緩和ケア内科
緩和ケア内科	伊藤 怜花	緩和ケア内科
緩和ケア内科	関本 ちひら	緩和ケア内科
緩和ケア内科	石川 大貴	緩和ケア内科
緩和ケア内科	井 彰	緩和ケア内科
緩和ケア内科	井 見百子	緩和ケア内科
緩和ケア内科	糸田 祐輔	緩和ケア内科
緩和ケア内科	木村 和範	緩和ケア内科
緩和ケア内科	前川 周	緩和ケア内科
緩和ケア内科	渡邊 雅典	緩和ケア内科
緩和ケア内科	生駒 信	緩和ケア内科
緩和ケア内科	小見 小	緩和ケア内科
緩和ケア内科	大森 菜	緩和ケア内科
緩和ケア内科	榎本 さやか	緩和ケア内科
緩和ケア内科	榎本 さやか	緩和ケア内科
緩和ケア内科	竹下 敬	緩和ケア内科
放射線診断科代表部長	松田 譲	放射線診断科
放射線診断科	櫻井 悠介	放射線診断科
病理診断科代表部長	成田 彦彦	病理診断科
病理診断科	山下 依子	病理診断科
患者相談部長兼呼吸器センター長	平松 義規	呼吸器外科
呼吸器外科代表部長	岡田 敏樹	呼吸器外科
呼吸器外科	今村 由人	呼吸器外科
医療安全管理部医療安全管理室長兼外科外来部長	世古 英	外科学科
中央手術センター長兼消化器外科部長	菅原 元	外科学科
上部消化器外科部長	井上 昌也	外科学科
下部消化管外科医	加藤 健宏	外科学科
下部消化管外科	秋田 直宏	外科学科
下部消化管外科	南 貴之	外科学科
下部消化管外科	権田 絃丈	外科学科

職名	氏名	診療科
医員	杉浦 孝太	外科学科
医員	長浦 祥	外科学科
医員	等々力 菜	外科学科
医員	石大澤 紗希	外科学科
医員	浜辺 拓哉	外科学科
医員	佐久本 健太	外科学科
脳神経外科代表部長	立花 栄二	脳神経外科
脳神経外科病棟部長	住友 正樹	脳神経外科
脳神経外科病棟医	圓若 幹	脳神経外科
脳神経外科病棟医	松田 彰	脳神経外科
脳神経外科	峰谷 慶	脳神経外科
脳神経外科	岡田 航	脳神経外科
心臓外科代表部長	荒木 善盛	心臓外科
心臓外科医	寺田 貴史	心臓外科
心臓外科	小林 心裕	心臓外科
救命救急センター長兼救急科代表部長	小林 修一	救急科
救急科外来部	畑田 剛	救急科
救急科	伊藤 貴康	救急科
第4診療部長兼泌尿器科代表部長	橋本 良博	泌尿器科
泌尿器科内視鏡部	宇佐美 雅之	泌尿器科
泌尿器科	小林 大地	泌尿器科
泌尿器科	野田 祐介	泌尿器科
眼科代表部長	山田 麻知	眼科
眼科	大庭 里広	眼科
眼科	湯口 貴彬	眼科
眼科	高野 千夏	眼科
耳鼻咽喉科代表部長	欄 真一郎	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科	丹羽 正樹	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科	金屋 三子	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科	服部 杏子	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科	鈴木 克代	耳鼻咽喉科
麻酔科代表部長	上原 博和	麻酔科
ベインクリニック外来部	長 上島 康	麻酔科
麻酔科	岩 伶	麻酔科
麻酔科	甲 利南	麻酔科
麻酔科	川口 大地	麻酔科
麻酔科	大島 貴裕	麻酔科
麻酔科	水野 哉	麻酔科
麻酔科	兼子 隆次	麻酔科
麻酔科	河合 孝真	麻酔科
麻酔科	澤内 廉	麻酔科
麻酔科	伊藤 大泰	麻酔科
整形外科代表部長兼リウマチ科部長	金山 康秀	整形外科
脊椎脊髄センター	辻 尚久	整形外科
整形外科外来部	二村 尚久	整形外科
整形外科医	大田 恭太郎	整形外科
整形外科	足立 維人	整形外科
整形外科	館 寛人	整形外科
整形外科	渡部 拓登	整形外科
整形外科	前田 健	整形外科
整形外科	寺澤 慧	整形外科
形成外科代表部長	川端 明子	形成外科
形成外科	水野 玲子	形成外科
形成外科	曾我 宜弘	形成外科
皮膚科代表部長	鈴木 伸吾	皮膚科
皮膚科外来部	足立 秀禎	皮膚科
皮膚科	榎原 あゆみ	皮膚科
皮膚科	近藤 綾子	皮膚科
産婦人科代表部長	針山 美子	産婦人科
産婦人科病棟部	新城 加奈子	産婦人科
産婦人科医	新保 暁子	産婦人科
産婦人科	安井 裕	産婦人科
産婦人科	神谷 知世	産婦人科
産婦人科	宮本 美里	産婦人科
産婦人科	荒 甫	産婦人科

氏名	職名	氏名	職名
秋葉 嘉将	研修医2年次	安藤 祐人	研修医1年次
東 凌平	研修医2年次	石田 航也	研修医1年次
大澤 奈央	研修医2年次	岩田 信也	研修医1年次
市川 慶	研修医2年次	小林 優大	研修医1年次
名里 瑛美	研修医2年次	三田 直弥	研修医1年次
岩瀬 優	研修医2年次	常 裕輔	研修医1年次
大野 由佳	研修医2年次	鈴木 日向	研修医1年次
加藤真由子	研修医2年次	高山 真央	研修医1年次
桐谷 元樹	研修医2年次	瀨野 孝明	研修医1年次
佐々木和磨	研修医2年次	山田 有美	研修医1年次
森 浩紀	研修医2年次	溝口 瑛心	研修医1年次
山田 崇義	研修医2年次	森 重智	研修医1年次
吉田健一郎	研修医2年次	大和 義崇	研修医1年次
		神谷由紀恵	研修医1年次

役付職員名簿

令和4年3月1日現在

◆診療放射線室

室長	小澤 功
課長	廣瀬 宜孝
課長	松本 真明
課長	深田 真司
係長	遠矢祐希子
係長	原田 和幸
係長	近藤 千晃
係長	伊藤 友彰
係長	阪口 明
係長	村山 和宏
係長	松下 喜敬

◆臨床検査室

部長	中根 生弥
室長	田中 浩一
課長	木村 有里
課長	永田 篤志
課長	下竹美由紀
係長	鈴木 梢
係長	蒲澤 康晃
係長	永田 悠起
係長	黒木 雅子
係長	藤田 啓介
係長	宮地 文子

◆リハビリテーション室

室長	平尾 重樹
課長	稲吉 美枝
係長	濱井 均
係長	舟橋 宏樹
係長	岩附 史明
係長	吹留 理香

◆臨床工学室

室長	兵藤 好行
課長	沖島 正幸
係長	酒出 篤弥
係長	小川 正博
係長	辻川 圭亮

◆栄養管理室

室長	多氣みつ子
課長	森 茂雄
係長	脇阪 涼子
係長	江口真奈美
係長	岩本 拓郎

◆薬剤部

部長	三宅 芳男
室長	祢宜田和正
室長	間瀬 悟
室長	久保田敏行
課長	成瀬 加代
課長	鈴木 大介
課長	中尾 圭介
係長	各務さとみ
係長	榊原 崇芳
係長	植松 夏子
係長	近藤 有

係長	西澤 圭祐
係長	酒井 幹康
係長	戸田 州俊
係長	横山 尚美

◆看護部

看護部長	阪口 浩美
看護部副看護部長	嶋中 京子
看護部副看護部長	富川由佳里
看護部副看護部長	安藤 愛子
看護部副看護部長	西森 陽子
課長 ABCDブロック	河合千恵子
課長 ICU	櫛田 千景
課長 HCU	中野 智子
課長 2 A病棟	牧 知香子
課長 3 A病棟	三田 洋希
課長 3 B病棟	伊藤 知晴
課長 3 C病棟	吉野佐知子
課長 4 A病棟	林 眞千子
課長 4 B病棟	塚本 浩子
課長 4 C病棟	福田 郁栄
課長 4 D病棟	伊藤美由起
課長 5 A病棟	古橋美直子
課長 5 B病棟	麻野久美子
課長 5 C病棟	下野 京子
課長 5 D病棟	伊藤 美幸
課長 放射線看護課	杉山 和美
課長 中央手術センター	三宅 敦子
課長 救命救急センター	池田 秀子
課長 内視鏡センター	上杉留里子
課長 入退院支援センター	加藤 昭子
課長 通院治療センター	中王子美保
係長 Aブロック	浅井 陽子
係長 Bブロック	岩永 香
係長 Cブロック	鈴木 幸子
係長 Dブロック	安藤真理子
係長 ICU	吉田 栄里
係長 ICU	川合 舞
係長 HCU	伊藤真由美
係長 HCU	村田 瞳
係長 HCU	山崎 聖絵
係長 2 A病棟	的場 洋子
係長 2 A病棟	山越 美穂
係長 2 A病棟	上野 満智
係長 3 A病棟	鈴木 尚子
係長 3 A病棟	森下美紗子
係長 3 B病棟	森 めぐみ
係長 3 B病棟	米澤 康子
係長 3 C病棟	地引 雅子
係長 3 C病棟	鈴木 美佐
係長 4 A病棟	加藤 敏子
係長 4 A病棟	山本かおり
係長 4 A病棟	武田 由佳
係長 4 B病棟	大牟田智佳子
係長 4 B病棟	伊藤亜利沙
係長 4 C病棟	関 幸子
係長 4 C病棟	豊田 恵
係長 4 D病棟	小澤 秀子
係長 4 D病棟	武山 忍
係長 5 A病棟	村井奈津子
係長 5 A病棟	戸田 礼美

係長	5 A病棟	渡部 志保
係長	5 B病棟	渡邊かおる
係長	5 B病棟	山内 悦子
係長	5 C病棟	藤原民智代
係長	5 C病棟	鬼頭 奈央
係長	5 D病棟	小野田結花
係長	中央手術センター	岩村さより
係長	中央手術センター	柴田 詠次
係長	放射線看護課	佐藤 修秀
係長	救命救急センター	岩下 香代
係長	内視鏡センター	杉浦 公重
係長	血液浄化センター	岩屋奈央子
係長	入退院支援センター	梅村 育代
係長	通院治療センター	梶原佳代子
係長	看護管理課	石川 雅恵
係長	看護管理課	武藤 聡恵

◆事務部

部長	池田 真紀
事務管理室長	浅岡 一公
企画室長	服部 学
企画課長	長谷川雅敏
医事課長	安藤 理恵
総務課長	森下 博文
医療情報係長	田中 誠大
診療情報係長	岡田 高明
教育研修係長	深田 翼
医事第1係長	近藤 慎哉
医事第2係長	金田 麻美
医事第3係長	柴田 雅弘
診療支援係長	福和 篤
庶務係長	野々山章斗
施設係長	大藪 宏樹
エネルギーセンター係長	近藤 隼
保育主任	飯田 香澄

◆地域医療福祉連携部

地域医療連携課長	一柳 容子
医療福祉相談課長	杉村 龍也
地域医療連携係長	宇南山理栄
がん相談支援係長	片寄智香子
訪問看護ステーション訪問看護係長	齋藤 靖子
居宅介護支援係長	清水 浩子
地域包括支援センター係長	小林 宏美

◆医療安全管理部

課長	浅野真奈美
係長	加納千津子

◆感染制御部

課長	勝野 知子
係長	駒井 博子

◆患者相談部

課長	館向 幸子
----	-------

◆保健事業部

課長	深田 英樹
係長	浦野美和子
係長	原 明子

職員数

令和4年3月1日現在

職種		年度		備考		
		令和4年	平成3年			
常勤職員	医師		188	183	研修医26名含む	
	医療技術職	薬剤師	50	48		
		診療放射線技師	37	36		
		臨床検査技師	59	59		
		理学療法士	25	26		
		作業療法士	8	8		
		言語聴覚士	5	4		
		管理栄養士	13	13	栄養士	
		臨床工学技士	20	18		
		ソーシャルワーカー	14	15		
		歯科衛生士	4	4		
		その他	6	6	臨床心理士・視能訓練士	
	小計		241	237		
	看護部門	保健師		6	6	
		助産師		18	17	
		看護師		662	654	
		准看護師		5	5	
		看護助手		51	50	
		小計		742	732	
	その他	事務員		130	129	
協助部門補助		6	7	検査科・放射線科補助等		
管理技術者		35	37	ボイラ技士、保育士、調理師等		
管理補助者		10	11	調理員等		
小計		181	184			
合計		1,352	1,336			
非常勤職員	医師		81	70		
	看護部門		50	54	看護助手含む	
	その他		39	45		
	合計		170	169		
総合計		1,522	1,505			

令和3年度 豊田厚生病院事業計画

1. 環境認識

急激な高齢化が進み、医療を取り巻く環境の大きな変化に直面している。国はすべての国民が安心できる質の高い医療提供体制の構築に向け、地域医療構想の実現、働き方改革の推進、医師の偏在対策の推進といった三位一体の取り組みを進めている。医師の過重労働などの現状を背景に「医師の健康確保」「地域医療体制の確保」との両立を目指した労働時間の短縮が求められている。都道府県では地域医療構想が策定され、国は達成に向けて、地域医療構想に関するワーキンググループにおいて具体的対応方針の検証に向けた議論の調整が行われ、地域医療構想調整会議にて改めて検証することを要請している。

西三河北部医療圏では2025年までは人口は増加するが、65歳以上の増加率が高く高齢化が急速に進む医療圏と認識されている。この地域では医療需要の高い年齢層が増加していくことで医療・介護の需要はさらなる増加が見込まれている。

当院は救命救急センターを有し、国指定の地域がん診療連携拠点病院の指定を受ける「地域の中核病院」として、高度急性期・急性期医療を担い、豊田市の市民病院的な役割を果たすことが求められている。

また、当該医療圏は広大なへき地対象地域を抱えているため、医療従事者の確保や適切な救急搬送計画の推進が求められる。

2. 基本方針（病院運営の基本姿勢及び目標）

西三河北部医療圏の基幹病院として、救命救急センター機能、がん診療機能を軸に高度医療機能を有する「高機能病院」としての役割を果たし、圏域内完結の高度急性期・急性期医療を提供していく。地域医療支援病院として紹介・逆紹介率の保持・推進を通じて地域の医療機関・診療所との連携を強化する中で、重症患者・救急患者を積極的に受け入れ、地域包括ケアシステムにおける急性期病院としての機能を果たしていく。

また、公的医療機関として地域住民に信頼される病院を目指し、豊田市の市民病院的な役割を果たすとともに、地域医療の中核となる病院を目指す。

3. 重点事項と実施目標

（1）医療事業

救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院等の指定を受ける病院として、地域住民のニーズに応えることができるよう医療提供体制を充実させる。

- ① 救急医療・集中治療体制の充実
- ② がん医療の充実
- ③ 看護体制の充実

（2）医療の質、安全強化

医療技術の飛躍的な進歩に伴い、医療の質と安全に関する要望も高いものとなっていることから、安全で安心な医療を提供できる体制を構築する。

- ① 資格取得の推進
- ② 医療の質の向上
- ③ 医療安全の充実

(3) 地域との連携強化

地域医療支援病院の指定を受ける病院として、医師会や近隣の医療機関だけではなく、地域の住民や団体、JAなどとの連携を強化する。

- ① 地域医療連携の強化
- ② 地域団体・住民との連携強化

(4) 福祉・介護事業

在宅医療・介護、福祉などについて、地域の保健・医療・福祉サービスとの連携を図り、総合的なサービスや情報を提供する。

- ① 在宅医療・介護の推進
- ② 地域包括ケアシステム運用への協働

(5) 保健事業

生活習慣病の予防と早期発見を目指し、高度な医療機器を用いた専門ドックをはじめとする各種の健診コースを設定して幅広いニーズに対応する。

- ① 保健事業の充実

(6) 経営管理

医療圏の基幹病院として地域医療を守り、地域住民から信頼される病院となるため、良質な人材を確保しながら安定した病院経営を継続させる。

- ① 経営の安定
- ② 適正な要員管理
- ③ 新たな施設基準の検討

(7) その他

- ① 医療情報システムの更新
- ② 新専門医制度への対応
- ③ 広報活動の充実
- ④ 働き方改革への対応
- ⑤ タスクシフト・ワークシェアの推進
- ⑥ 障がい者雇用の推進

I 医療実績

1. 診療科別延患者数及び診療収入

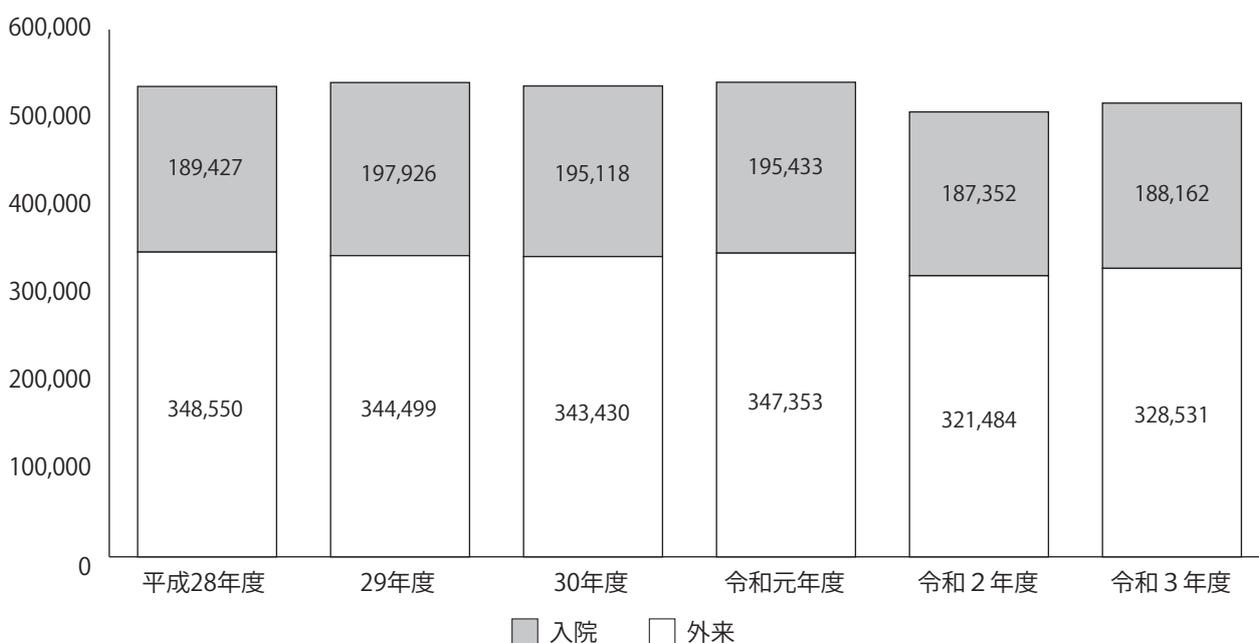
診療日数 外来：243日 入院：365日

1. 科別延患者数

(単位：人)

	外 来			入 院		
	令和3年度	令和2年度	前年対比	令和3年度	令和2年度	前年対比
内 科	131,139	124,739	105.1%	101,275	99,568	101.7%
精 神 科	8,302	8,084	102.7%	—	—	—
小 児 科	9,921	8,422	117.8%	3,187	2,538	125.6%
外 科	21,768	21,084	103.2%	24,156	24,079	100.3%
整 形 外 科	32,026	33,608	95.3%	16,780	17,658	95.0%
形 成 外 科	9,209	8,248	111.7%	1,641	1,865	88.0%
脳 神 経 外 科	8,134	7,698	105.7%	9,138	9,138	100.0%
呼 吸 器 外 科	2,175	2,353	92.4%	2,518	2,747	91.7%
心 臓 外 科	2,659	2,697	98.6%	2,861	2,719	105.2%
皮 膚 科	18,820	18,148	103.7%	1,956	2,101	93.1%
泌 尿 器 科	19,008	18,771	101.3%	8,470	6,714	126.2%
産 婦 人 科	15,497	17,395	89.1%	6,889	6,833	100.8%
眼 科	13,342	13,620	98.0%	2,614	3,420	76.4%
耳 鼻 咽 喉 科	16,504	16,356	100.9%	3,766	4,697	80.2%
放 射 線 科	4,039	4,679	86.3%	—	—	—
麻 酔 科	3,382	2,436	138.8%	76	110	69.1%
歯科口腔外科	12,606	13,146	95.9%	2,835	3,165	89.6%
合 計	328,531	321,484	102.2%	188,162	187,352	100.4%
一 日 平 均	1,352	1,318	102.6%	516	513	100.4%

年度別延患者数 (人)



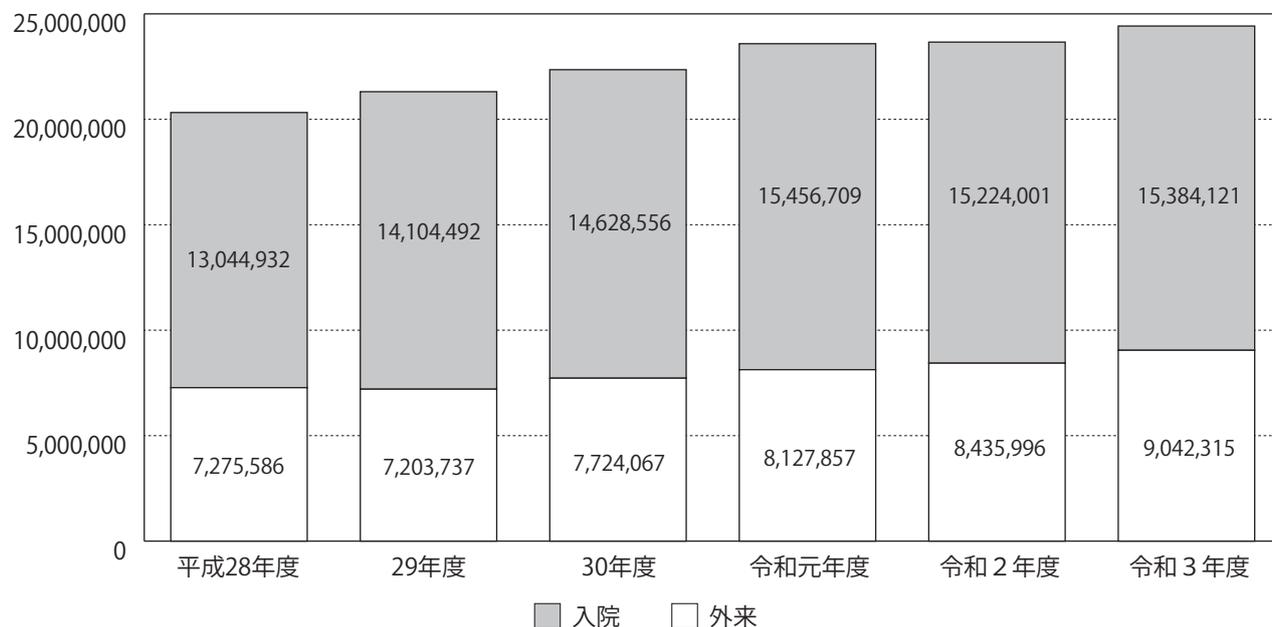
診療日数 外来：243日 入院：365日

2. 科別診療収入

(単位：千円)

	外 来			入 院		
	令和3年度	令和2年度	前年対比	令和3年度	令和2年度	前年対比
内 科	4,942,773	4,665,926	105.9%	7,329,824	7,139,840	102.7%
精 神 科	77,560	74,894	103.6%	—	—	—
小 児 科	221,843	203,267	109.1%	198,055	144,122	137.4%
外 科	893,231	784,758	113.8%	2,183,855	2,152,658	101.4%
整 形 外 科	664,981	652,415	101.9%	1,872,914	1,978,452	94.7%
形 成 外 科	80,650	65,020	124.0%	123,049	129,762	94.8%
脳 神 経 外 科	130,449	123,801	105.4%	746,600	732,312	102.0%
呼 吸 器 外 科	167,436	161,233	103.8%	319,423	367,648	86.9%
心 臓 外 科	32,283	28,666	112.6%	627,466	582,907	107.6%
皮 膚 科	210,354	180,317	116.7%	94,455	98,950	95.5%
泌 尿 器 科	718,857	621,098	115.7%	540,703	437,821	123.5%
産 婦 人 科	208,953	195,704	106.8%	630,146	610,432	103.2%
眼 科	206,679	209,619	98.6%	249,602	311,130	80.2%
耳 鼻 咽 喉 科	233,386	216,848	107.6%	268,045	322,768	83.0%
放 射 線 科	84,509	97,058	87.1%	—	—	—
麻 酔 科	39,609	28,170	140.6%	25,560	28,804	88.7%
歯 科 口 腔 外 科	128,762	127,203	101.2%	174,423	186,397	93.6%
合 計	9,042,315	8,435,996	107.2%	15,384,121	15,224,001	101.1%

年度別診療収入（人）



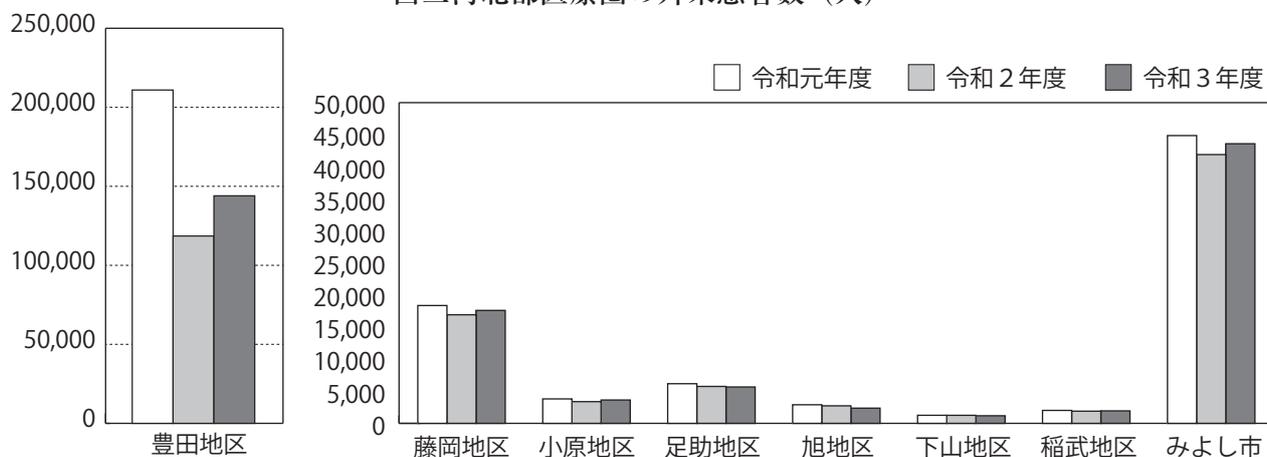
2. 市町村別利用状況

1. 市町村別外来利用状況（延患者数）

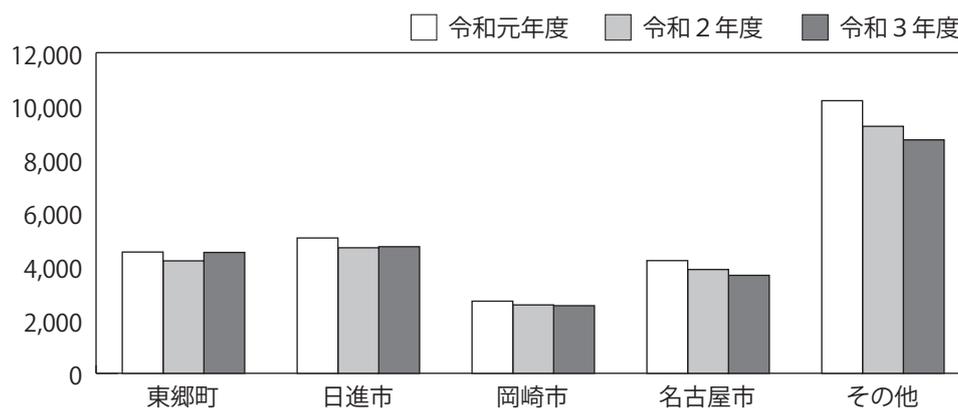
（単位：人）

	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
豊田市全域	260,769	79.4%	255,364	79.4%	276,171	79.5%
* 豊田地区	228,744	69.6%	223,662	69.6%	242,159	69.7%
* 藤岡地区	17,492	5.3%	16,868	5.2%	18,281	5.3%
* 小原地区	3,554	1.1%	3,333	1.0%	3,783	1.1%
* 足助地区	5,642	1.7%	5,665	1.8%	6,089	1.8%
* 旭地区	2,333	0.7%	2,766	0.9%	2,708	0.8%
* 下山地区	1,130	0.3%	1,224	0.4%	1,205	0.3%
* 稲武地区	1,874	0.6%	1,846	0.6%	1,946	0.6%
みよし市	43,519	13.2%	41,820	13.0%	44,791	12.9%
小計	304,288	92.6%	297,184	92.4%	320,962	92.4%
東郷町	4,526	1.4%	4,211	1.3%	4,540	1.3%
日進市	4,738	1.4%	4,692	1.5%	5,058	1.5%
岡崎市	2,539	0.8%	2,540	0.8%	2,709	0.8%
名古屋市	3,683	1.1%	3,886	1.2%	4,216	1.2%
その他	8,757	2.7%	8,971	2.8%	9,868	2.8%
小計	24,243	7.4%	24,300	7.6%	26,391	7.6%
合計	328,531	100.0%	321,484	100.0%	347,353	100.0%

西三河北部医療圏の外来患者数（人）



西三河北部医療圏以外の外来患者数（人）

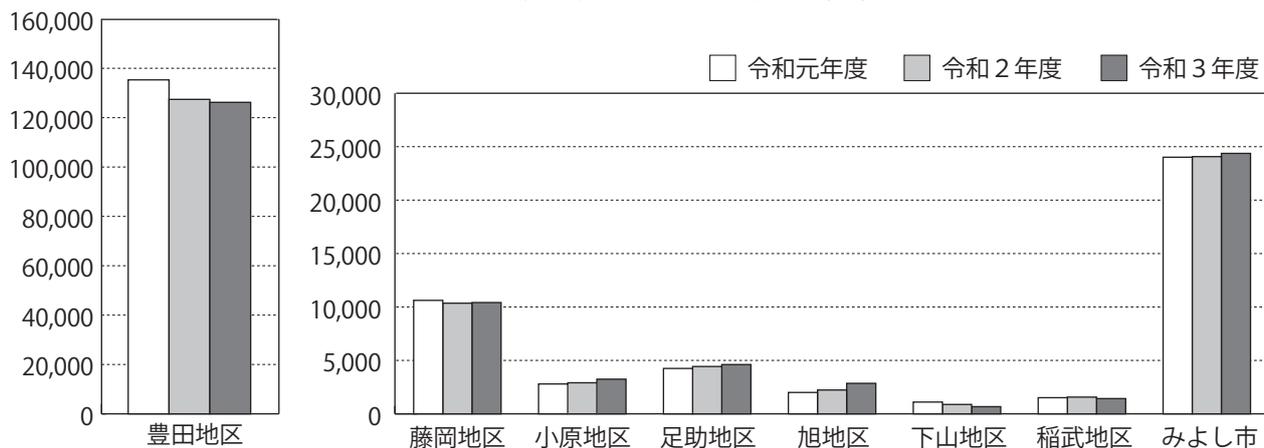


2. 市町村別入院利用状況 (延患者数)

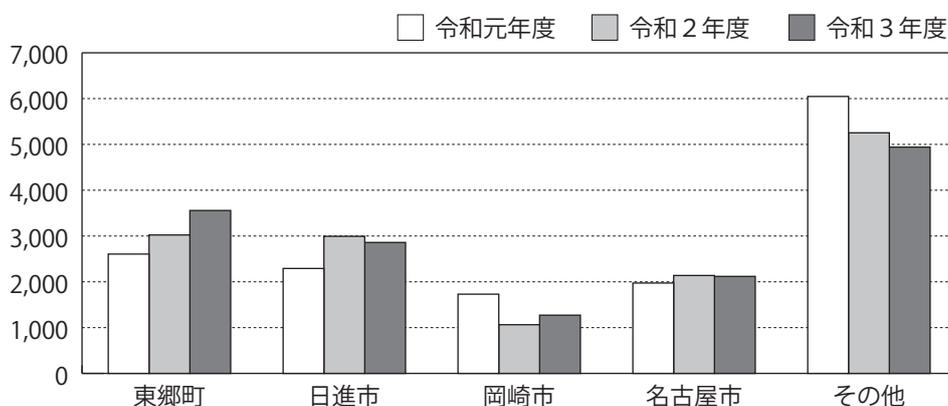
(単位：人)

	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
豊田市全域	149,009	79.2%	149,463	79.8%	157,306	80.5%
* 豊田地区	125,956	66.9%	127,265	67.9%	135,246	69.2%
* 藤岡地区	10,423	5.5%	10,308	5.5%	10,575	5.4%
* 小原地区	3,205	1.7%	2,906	1.6%	2,780	1.4%
* 足助地区	4,602	2.4%	4,414	2.4%	4,209	2.2%
* 旭地区	2,790	1.5%	2,189	1.2%	1,956	1.0%
* 下山地区	648	0.3%	824	0.4%	1,077	0.6%
* 稲武地区	1,385	0.7%	1,557	0.8%	1,463	0.7%
みよし市	24,385	13.0%	24,046	12.8%	23,999	12.3%
小計	173,394	92.2%	173,509	92.6%	181,305	92.8%
東郷町	3,565	1.9%	3,026	1.6%	2,598	1.3%
日進市	2,869	1.5%	3,006	1.6%	2,291	1.2%
岡崎市	1,272	0.7%	1,070	0.6%	1,728	0.9%
名古屋市	2,114	1.1%	2,129	1.1%	1,980	1.0%
その他	4,948	2.6%	4,612	2.5%	5,531	2.8%
小計	14,768	7.8%	13,843	7.4%	14,128	7.2%
合計	188,162	100.0%	187,352	100.0%	195,433	100.0%

西三河北部医療圏の入院患者数 (人)



西三河北部医療圏以外の入院患者数 (人)

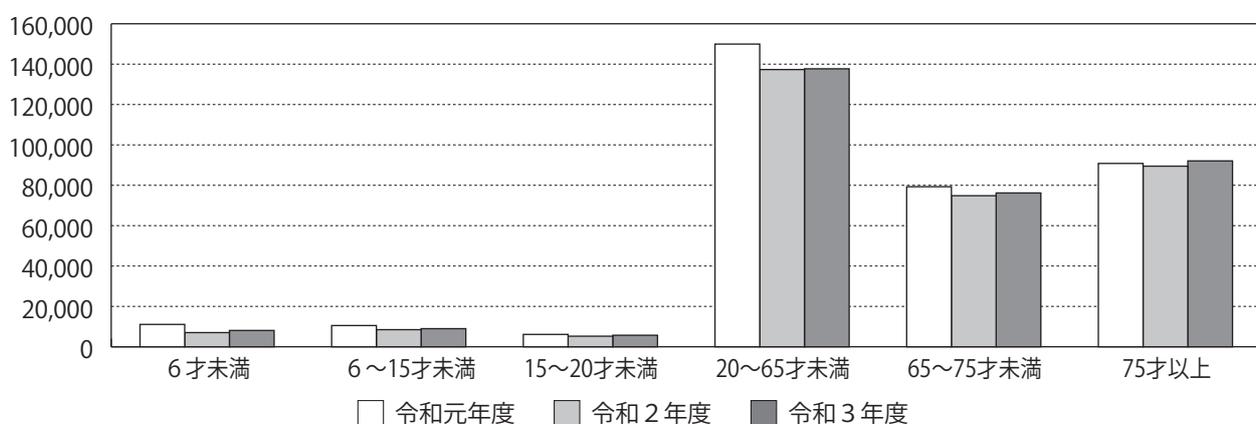


3. 年齢別利用状況

1. 年齢別外来利用状況（延患者数）

（単位：人、％）

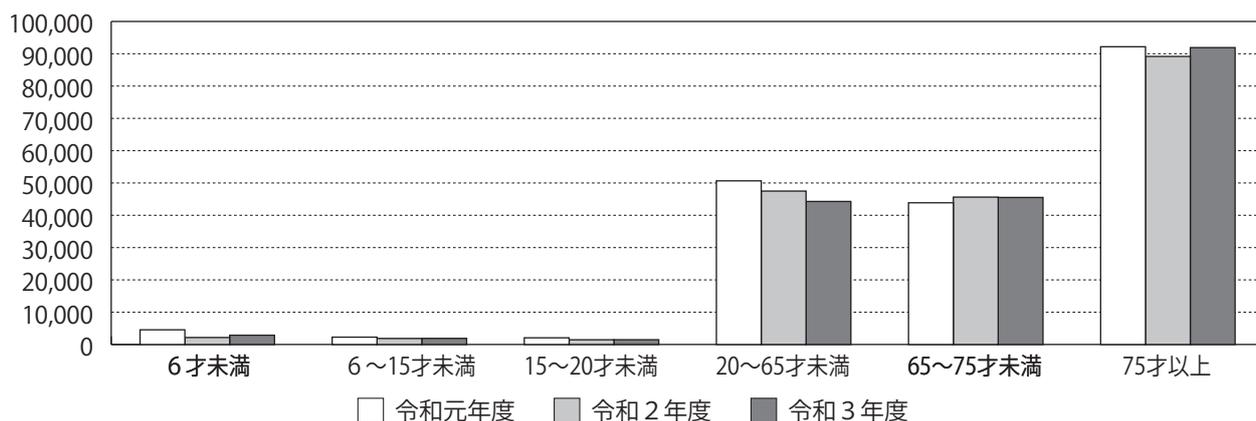
	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
6才未満	7,987	2.4%	6,862	2.1%	11,100	3.2%
6～15才未満	8,986	2.7%	8,371	2.6%	10,461	3.0%
15～20才未満	5,674	1.7%	5,223	1.6%	5,991	1.7%
20～65才未満	137,750	41.9%	137,262	42.7%	150,081	43.2%
65～75才未満	76,118	23.2%	74,568	23.2%	79,243	22.8%
75才以上	92,016	28.0%	89,198	27.7%	90,477	26.0%
合計	328,531	100.0%	321,484	100.0%	347,353	100.0%



2. 年齢別入院利用状況（延患者数）

（単位：人、％）

	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	患者数	構成比	患者数	構成比	患者数	構成比
6才未満	2,905	1.5%	2,179	1.2%	4,584	2.3%
6～15才未満	1,938	1.0%	1,879	1.0%	2,374	1.2%
15～20才未満	1,458	0.8%	1,477	0.8%	2,094	1.1%
20～65才未満	44,371	23.6%	47,570	25.4%	50,720	26.0%
65～75才未満	45,528	24.2%	45,690	24.4%	43,893	22.5%
75才以上	91,962	48.9%	88,557	47.3%	91,768	47.0%
合計	188,162	100.0%	187,352	100.0%	195,433	100.0%



4. 救命救急センター外来利用状況

1. 診療科別患者数

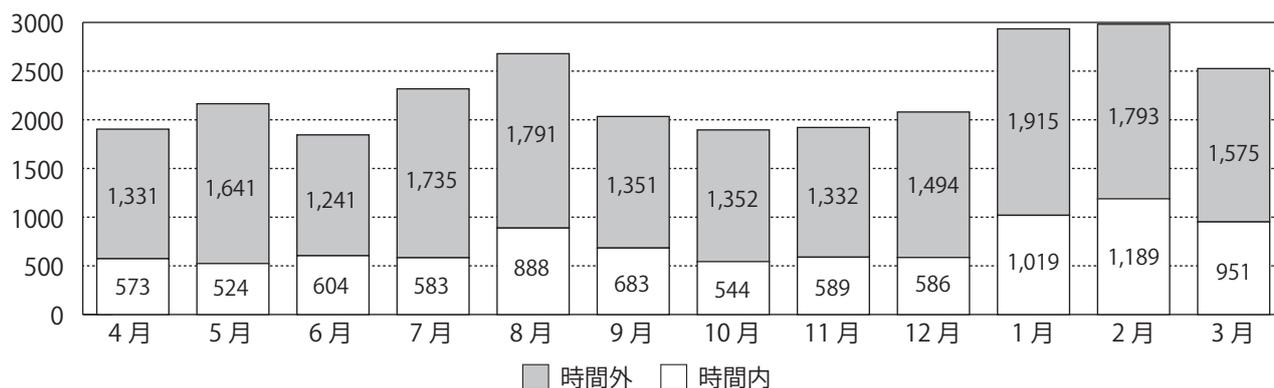
(単位：人)

診療科	時間内		時間外				時間外 合計	合計
	延患者数	入院 (再掲)	日直		当直			
			延患者数	入院	患者数	入院(再掲)		
内科	5,699	1,271	3,327	657	5,721	1,423	9,048	14,747
精神科	12	0	3	0	28	0	31	43
小児科	818	37	777	83	1,646	159	2,423	3,241
外科	265	147	177	88	472	303	649	914
整形外科	693	135	765	101	1,259	139	2,024	2,717
形成外科	126	0	196	4	432	2	628	754
脳神経外科	352	121	287	48	632	148	919	1,271
呼吸器外科	23	10	10	6	29	20	39	62
心臓外科	7	6	8	4	11	9	19	26
皮膚科	116	14	214	12	367	24	581	697
泌尿器科	229	45	231	34	593	76	824	1,053
産婦人科	73	10	90	13	142	31	232	305
眼科	19	1	56	0	108	1	164	183
耳鼻咽喉科	272	17	284	10	525	28	809	1,081
麻酔科	0	0	1	0	0	0	1	1
歯科口腔外科	29	1	49	1	111	2	160	189
合計	8,733	1,815	6,475	1,061	12,076	2,365	18,551	27,284
前年度	6,303	1,583	5,114	947	11,081	2,258	16,195	22,498
前年度対比	138.6%	114.7%	126.6%	112.0%	109.0%	104.7%	114.5%	121.3%

2. 月別患者数

(単位：人)

年月日	時間内		時間外				時間外 合計	合計	
	患者数	入院(再掲)	日直		当直				
			患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)			
R 3	4月	573	139	374	69	957	201	1,331	1,904
	5月	524	154	641	115	1,000	196	1,641	2,165
	6月	604	158	356	66	885	180	1,241	1,845
	7月	583	128	570	91	1,165	218	1,735	2,318
	8月	888	138	588	84	1,203	200	1,791	2,679
	9月	683	111	455	74	896	177	1,351	2,034
	10月	544	124	426	81	926	187	1,352	1,896
	11月	589	120	449	75	883	168	1,332	1,921
	12月	586	152	502	79	992	212	1,494	2,080
R 4	1月	1,019	184	808	129	1,107	218	1,915	2,934
	2月	1,189	218	746	117	1,047	214	1,793	2,982
	3月	951	189	560	81	1,015	194	1,575	2,526
合計	8,733	1,815	6,475	1,061	12,076	2,365	18,551	27,284	



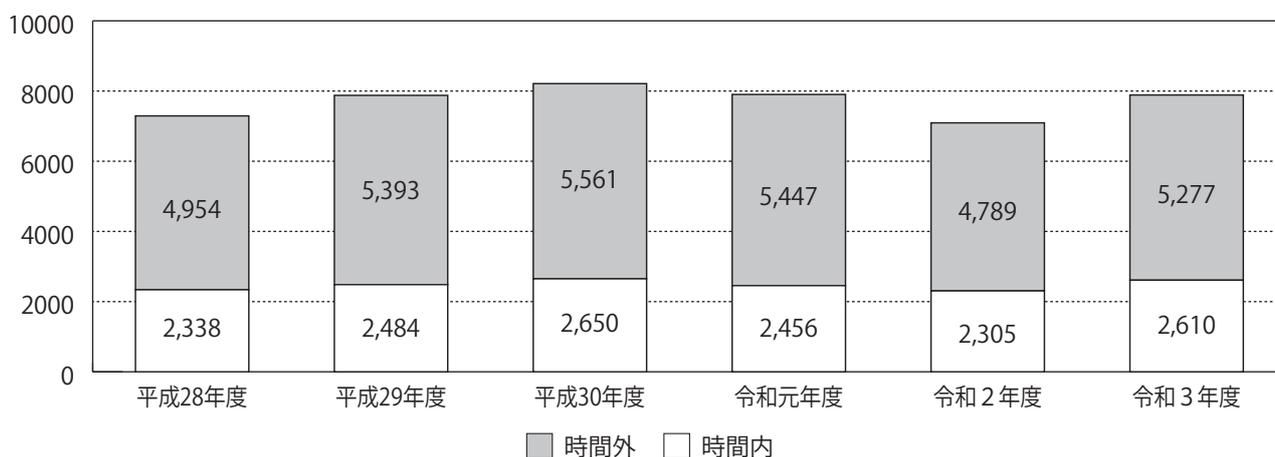


3. 救急車受入状況

①救急車受入人数推移

(単位：人)

	時間内	時間外	総数	前年比
平成27年度	2,290	4,912	7,202	96.6%
平成28年度	2,338	4,954	7,292	101.2%
平成29年度	2,484	5,393	7,877	108.0%
平成30年度	2,650	5,561	8,211	104.2%
令和元年度	2,456	5,447	7,903	96.2%
令和2年度	2,305	4,789	7,094	89.8%
令和3年度	2,610	5,277	7,887	111.2%



②診療科別救急車受入人数

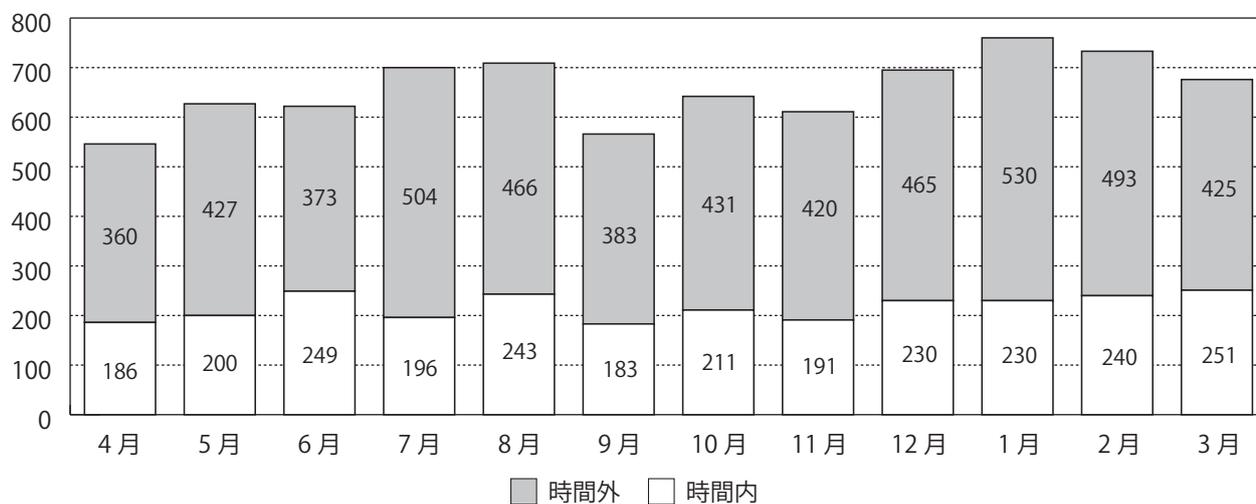
(単位：人)

診療科	時間内		時間外				時間外 合計	合計
	患者数	入院(再掲)	日直		当直			
			患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)		
内科	1,479	838	650	332	2,288	1,008	2,938	4,417
精神科	3	0	0	0	19	0	19	22
小児科	80	22	48	10	188	55	236	316
外科	120	100	40	34	185	147	225	345
整形外科	414	114	246	79	504	107	750	1,164
形成外科	24	0	35	2	74	0	109	133
脳神経外科	233	107	112	31	304	132	416	649
呼吸器外科	8	6	5	4	21	16	26	34
心臓外科	6	5	4	4	8	7	12	18
皮膚科	19	10	8	2	37	11	45	64
泌尿器科	96	36	42	14	168	46	210	306
産婦人科	17	4	6	3	30	12	36	53
眼科	2	0	0	0	5	1	5	7
耳鼻咽喉科	96	14	46	4	192	11	238	334
麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科口腔外科	13	0	2	0	10	1	12	25
合計	2,610	1,256	1,244	519	4,033	1,554	5,277	7,887
前年度	2,305	1,105	1,136	476	3,653	1,438	4,789	7,094
前年対比	113.2%	113.7%	109.5%	109.0%	110.4%	108.1%	110.2%	111.2%

③月別救急車受入数

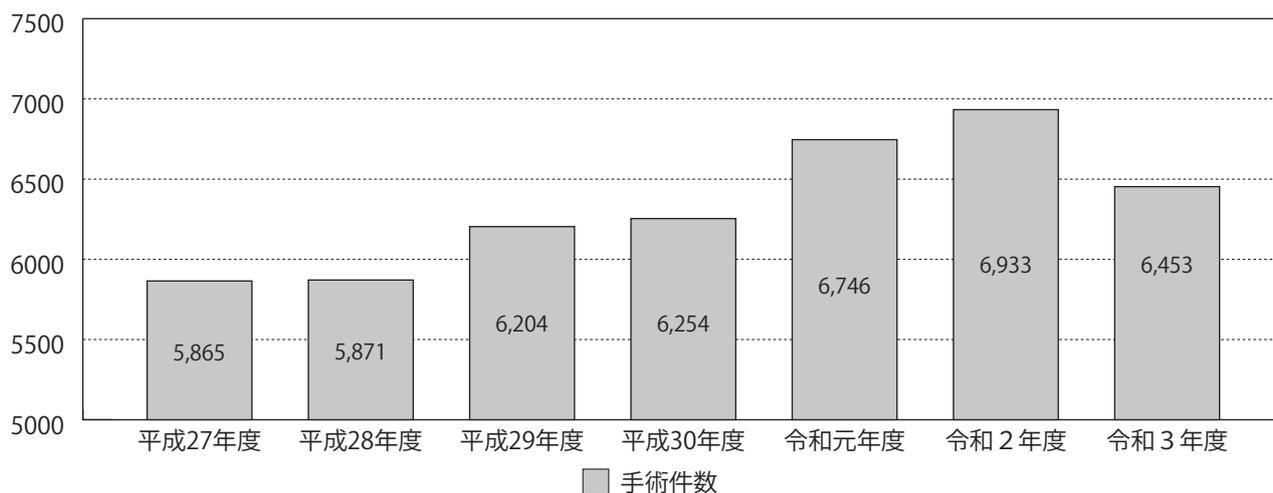
(単位：人)

年月日	時間内		時間外						合計
			日直		当直		時間外 合計		
	患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)	患者数	入院(再掲)			
R 3	4月	186	97	72	28	288	116	360	546
	5月	200	110	116	49	311	116	427	627
	6月	249	121	86	37	287	110	373	622
	7月	196	89	126	47	378	148	504	700
	8月	243	106	93	35	373	125	466	709
	9月	183	75	93	36	290	116	383	566
	10月	211	95	101	42	330	120	431	642
	11月	191	94	103	41	317	117	420	611
	12月	230	117	97	45	368	135	465	695
R 4	1月	230	113	155	72	375	159	530	760
	2月	240	119	114	52	379	158	493	733
	3月	251	120	88	35	337	134	425	676
合計	2,610	1,256	1,244	519	4,033	1,554	5,277	7,887	



5. 手術件数

	令和3年度		令和2年度	
	件数	緊急件数(再掲)	件数	緊急件数(再掲)
内科	96	3	100	9
外科	1,624	449	1,600	456
整形外科	1,231	299	1,388	297
形成外科	345	5	309	9
脳神経外科	251	140	225	134
呼吸器外科	167	0	197	1
心臓外科	113	20	116	13
皮膚科	21	0	21	0
泌尿器科	385	12	312	8
産婦人科	526	61	516	56
眼科	1,143	17	1,565	23
耳鼻咽喉科	328	17	354	10
歯科口腔外科	205	0	225	0
麻酔科	18	0	5	1
合計	6,453	1,023	6,933	1,017



6. 分娩数・死亡数・剖検数

(単位：人)

	令和3年度		令和2年度		
	当院	豊田市	当院	豊田市	
分 娩 数	245	2,863	261	3,080	
死 亡 数	悪 性 新 生 物	318	920	300	919
	心 疾 患	47	302	54	278
	肺炎及び気管支炎	49	156	34	126
	脳 血 管 疾 患	34	223	37	199
	老 衰	8	418	8	416
	不 慮 の 事 故	14	68	16	102
	腎 疾 患	10	61	12	52
	肝 疾 患	19	52	19	42
	自 殺	1	81	1	64
	高 血 圧 性 疾 患	0	9	1	10
	そ の 他	231	1,084	175	959
	合 計	731	3,374	657	3,167
剖 検 数	14		19		

- (注) 1) 当院の死亡数は、入院中に死亡した数
2) 豊田市の人数は、1月～12月の数字を計上

令和3年度 悪性新生物（発生臓器別内訳）

[当院]

順位	臓器別	件数
1	肺	75
2	胃	41
3	膵	39
4	結腸	23
5	肝	20

[豊田市]

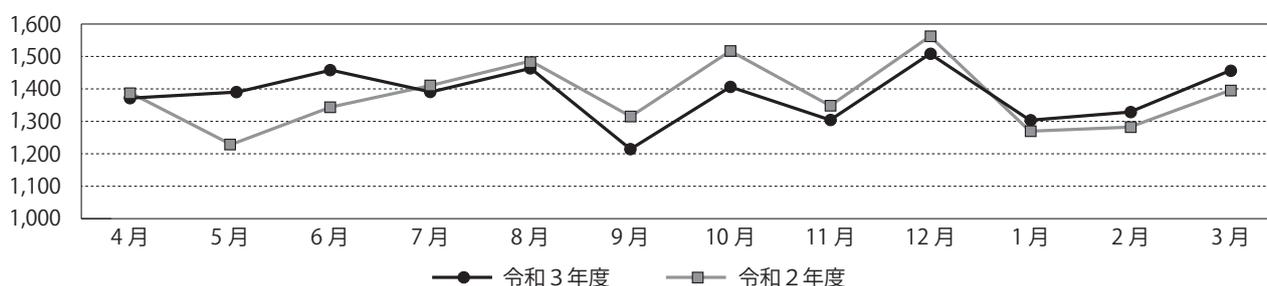
順位	臓器別	件数
1	肺	180
2	胃	111
3	膵	91
4	結腸	79
5	肝	63

7. 退院患者統計

集計の対象は入院年月日にかかわらず、令和3年年4月1日から令和4年3月31日までの退院患者とした。データは退院サマリおよび電子カルテ本文より抽出した。

1. 診療科別・月別退院患者数

	総数	比率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡
総数	16,569	100.0%	1,369	1,387	1,456	1,388	1,461	1,210	1,408	1,302	1,508	1,297	1,328	1,455	731
内科	3,421	20.6%	617	596	588	602	632	571	594	538	631	607	606	696	539
小児科	713	4.3%	53	75	97	102	66	42	52	59	57	46	35	29	0
外科	893	5.4%	177	153	156	155	175	133	166	170	202	138	168	161	88
整形外科	1,092	6.6%	120	127	113	112	111	88	112	91	136	97	118	122	4
形成外科	293	1.8%	15	21	29	14	29	15	26	27	32	28	21	36	0
脳神経外科	503	3.0%	38	46	55	37	50	25	37	44	52	31	42	46	38
呼吸器外科	243	1.5%	24	19	23	13	23	19	20	20	22	18	22	20	7
心臓血管外	118	0.7%	12	12	5	12	8	10	14	8	10	7	12	8	7
皮膚科	185	1.1%	15	13	18	14	18	23	20	14	13	17	7	13	0
泌尿器科	906	5.5%	69	81	77	77	83	65	84	80	83	68	63	76	29
産婦人科	1,009	6.1%	68	71	91	83	105	67	101	88	88	84	84	79	14
眼科	802	4.8%	71	85	108	63	46	53	69	79	68	56	56	48	0
耳鼻咽喉科	479	2.9%	34	42	41	44	45	35	42	30	44	41	39	42	2
麻酔科	18	0.1%	2	0	4	2	3	3	3	1	0	0	0	0	0
歯科口腔外	721	4.4%	54	46	51	58	67	61	68	53	70	59	55	79	3
令和元年度	16,529		1,387	1,228	1,341	1,408	1,484	1,312	1,517	1,344	1,563	1,265	1,283	1,397	



2. 診療科別・死亡退院患者数

診療科	総数	比率	剖検数	剖検率	平均在院日数	48時間以内死亡	粗死亡率	精死亡率
総数	731	100.0%	13	1.8%	19.6	106	4.4%	3.8%
内科	539	73.7%	12	2.2%	20.1	69	15.8%	13.7%
小児科	0	-	0	-	0	-	-	-
外科	88	12.0%	0	0.0%	18.8	16	9.9%	8.1%
整形外科	4	0.5%	0	0.0%	7	2	0.4%	0.2%
形成外科	0	0.0%	-	-	0	0	-	-
脳神経外科	38	5.2%	0	0.0%	11.5	12	7.6%	5.2%
呼吸器外科	7	1.0%	0	0.0%	19.7	0	2.9%	2.9%
心臓血管外	7	1.0%	1	14.3%	9.7	3	5.9%	3.4%
皮膚科	0	-	-	-	0	-	-	-
泌尿器科	29	4.0%	0	0.0%	23.4	3	3.2%	2.9%
産婦人科	14	1.9%	0	0.0%	17.9	1	1.4%	1.3%
眼科	0	-	-	-	0	-	-	-
耳鼻咽喉科	2	0.3%	0	0.0%	42	0	0.4%	0.4%
麻酔科	0	-	-	-	0	-	-	-
歯科口腔外	3	0.4%	0	0.0%	43.3	0	0.4%	0.4%

※精死亡率：(総死亡数 - 入院後48時間以内死亡数) / 退院患者数 × 100を表す

3. 地域別・年齢階層別退院患者数

地域	性別	総数	比率(%)	平均年齢	0~9歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	~89歳	90歳~
総数	計	16,569	100.0	62.50	810	477	722	759	1,146	1,695	2,327	4,739	3,118	776
	男	9,091	100.0	63.50	462	235	302	269	526	946	1,402	2,994	1,704	251
	女	7,478	100.0	61.40	348	242	420	490	620	749	925	1,745	1,414	525
井郷地区	計	802	4.8	64.90	31	15	32	30	62	60	101	266	172	33
	男	462	5.1	66.90	15	7	16	9	31	33	60	171	107	13
	女	340	4.5	62.20	16	8	16	21	31	27	41	95	65	20
猿投地区	計	476	2.9	64.20	13	21	9	12	33	59	84	148	75	22
	男	286	3.1	65.00	7	12	4	5	16	34	52	111	38	7
	女	190	2.5	63.10	6	9	5	7	17	25	32	37	37	15
猿投台地区	計	704	4.2	66.70	25	15	17	31	37	60	88	225	158	48
	男	385	4.2	67.50	14	6	6	15	18	19	58	156	81	12
	女	319	4.3	65.70	11	9	11	16	19	41	30	69	77	36
逢妻地区	計	1,236	7.5	63.80	50	26	46	50	90	141	169	372	229	63
	男	705	7.8	64.60	34	8	20	18	42	79	111	230	148	15
	女	531	7.1	62.80	16	18	26	32	48	62	58	142	81	48
朝日丘地区	計	713	4.3	62.70	35	19	23	34	62	84	86	204	133	33
	男	411	4.5	62.70	25	7	11	10	35	49	61	132	73	8
	女	302	4.0	62.70	10	12	12	24	27	35	25	72	60	25
崇化館地区	計	1,213	7.3	64.40	68	23	34	42	82	123	147	372	245	77
	男	669	7.4	65.20	38	10	10	18	40	62	103	233	129	26
	女	544	7.3	63.50	30	13	24	24	42	61	44	139	116	51
豊南地区	計	252	1.5	59.60	13	6	13	12	27	34	37	68	30	12
	男	130	1.4	63.60	7	3	2	3	9	16	18	47	20	5
	女	122	1.6	55.40	6	3	11	9	18	18	19	21	10	7
保見地区	計	869	5.2	62.50	50	17	37	47	49	77	134	261	172	25
	男	467	5.1	65.50	20	7	15	14	13	36	86	183	88	5
	女	402	5.4	58.90	30	10	22	33	36	41	48	78	84	20
梅坪台地区	計	571	3.4	60.70	19	21	33	27	48	86	89	125	103	20
	男	315	3.5	60.00	12	16	10	12	29	49	59	79	40	9
	女	256	3.4	61.50	7	5	23	15	19	37	30	46	63	11
浄水地区	計	703	4.2	55.30	62	42	40	55	60	51	86	200	85	22
	男	378	4.2	56.60	35	23	18	16	28	36	45	120	53	4
	女	325	4.3	53.80	27	19	22	39	32	15	41	80	32	18
益富地区	計	288	1.7	66.50	7	6	5	14	7	23	54	122	40	10
	男	176	1.9	68.40	3	3	4	3	4	13	39	72	30	5
	女	112	1.5	63.50	4	3	1	11	3	10	15	50	10	5
美里地区	計	608	3.7	66.30	17	9	15	24	43	68	74	201	133	24
	男	310	3.4	67.70	11	8	2	7	17	32	27	127	69	10
	女	298	4.0	64.90	6	1	13	17	26	36	47	74	64	14
高橋地区	計	716	4.3	66.90	24	10	25	15	48	77	94	200	177	46
	男	395	4.3	67.30	15	4	8	8	15	49	52	130	106	8
	女	321	4.3	66.40	9	6	17	7	33	28	42	70	71	38
石野地区	計	177	1.1	66.30	7	2	8	10	13	11	24	44	47	11
	男	83	0.9	67.00	5	1	5	3	1	4	7	25	30	2
	女	94	1.3	65.70	2	1	3	7	12	7	17	19	17	9
松平地区	計	136	0.8	66.00	5	5	7	1	8	13	17	34	32	14
	男	75	0.8	67.30	3	2	2	0	4	8	9	23	21	3
	女	61	0.8	64.60	2	3	5	1	4	5	8	11	11	11
前林地区	計	327	2.0	64.70	20	5	12	9	12	31	44	116	62	16
	男	197	2.2	65.30	12	5	6	3	5	18	22	81	40	5
	女	130	1.7	63.80	8	0	6	6	7	13	22	35	22	11
竜神地区	計	464	2.8	65.50	15	4	21	15	21	67	51	167	86	17
	男	252	2.8	64.60	9	1	11	11	7	41	29	102	36	5
	女	212	2.8	66.50	6	3	10	4	14	26	22	65	50	12
若園地区	計	137	0.8	65.80	2	3	7	6	8	13	19	44	28	7
	男	62	0.7	65.80	1	1	3	1	3	7	11	25	9	1
	女	75	1.0	65.90	1	2	4	5	5	6	8	19	19	6
高岡地区	計	236	1.4	63.10	12	6	6	12	17	26	28	70	51	8
	男	141	1.6	66.10	4	3	2	10	7	18	8	45	41	3
	女	95	1.3	58.70	8	3	4	2	10	8	20	25	10	5

地域	性別	総数	比率(%)	平均年齢	0~9歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	~89歳	90歳~
上郷地区	計	178	1.1	63.40	11	7	5	3	7	16	19	75	32	3
	男	114	1.3	63.60	8	6	0	1	4	11	10	54	19	1
	女	64	0.9	63.10	3	1	5	2	3	5	9	21	13	2
末野原地区	計	209	1.3	56.80	20	5	10	13	16	21	34	60	28	2
	男	98	1.1	55.30	13	2	2	5	7	14	13	33	9	0
	女	111	1.5	58.10	7	3	8	8	9	7	21	27	19	2
藤岡地区	計	448	2.7	66.90	6	12	18	11	27	52	69	113	108	32
	男	229	2.5	66.10	3	5	9	1	13	31	45	69	45	8
	女	219	2.9	67.80	3	7	9	10	14	21	24	44	63	24
藤岡南地区	計	482	2.9	58.80	33	14	19	29	26	53	118	130	54	6
	男	258	2.8	57.70	23	9	11	10	11	28	62	78	25	1
	女	224	3.0	60.00	10	5	8	19	15	25	56	52	29	5
小原地区	計	254	1.5	72.70	3	3	2	2	6	19	50	78	64	27
	男	141	1.6	71.50	2	1	1	0	5	10	31	47	35	9
	女	113	1.5	74.10	1	2	1	2	1	9	19	31	29	18
足助地区	計	367	2.2	71.20	5	5	4	8	8	25	72	123	90	27
	男	203	2.2	71.30	3	4	2	3	4	13	34	76	55	9
	女	164	2.2	71.10	2	1	2	5	4	12	38	47	35	18
下山地区	計	55	0.3	68.70	1	1	0	0	3	8	16	14	4	8
	男	37	0.4	68.10	1	1	0	0	3	1	14	9	3	5
	女	18	0.2	70.10	0	0	0	0	0	7	2	5	1	3
稲武地区	計	129	0.8	74.60	2	0	2	0	5	4	21	50	28	17
	男	69	0.8	73.90	1	0	0	0	2	3	17	26	13	7
	女	60	0.8	75.30	1	0	2	0	3	1	4	24	15	10
旭地区	計	162	1.0	73.60	1	1	1	5	2	10	33	42	51	16
	男	105	1.2	73.80	0	0	1	3	2	8	21	27	33	10
	女	57	0.8	73.10	1	1	0	2	0	2	12	15	18	6
みよし市	計	2,305	13.9	57.90	168	95	149	121	188	248	316	546	393	81
	男	1,243	13.7	58.90	90	47	71	44	87	142	196	327	207	32
	女	1,062	14.2	56.70	78	48	78	77	101	106	120	219	186	49
東郷町	計	314	1.9	60.40	23	7	20	11	32	26	31	85	67	12
	男	168	1.8	60.10	12	5	8	3	20	15	19	51	31	4
	女	146	2.0	60.80	11	2	12	8	12	11	12	34	36	8
日進市	計	265	1.6	56.50	30	7	18	23	19	16	26	61	50	15
	男	139	1.5	56.30	19	5	10	8	4	8	16	36	25	8
	女	126	1.7	56.70	11	2	8	15	15	8	10	25	25	7
岡崎市	計	137	0.8	53.70	2	10	14	11	11	19	31	30	8	1
	男	61	0.7	58.50	1	1	4	3	4	11	22	10	4	1
	女	76	1.0	49.80	1	9	10	8	7	8	9	20	4	0
刈谷市	計	31	0.2	39.90	0	8	6	4	3	0	6	2	1	1
	男	12	0.1	61.30	0	0	1	1	2	0	5	1	1	1
	女	19	0.3	26.40	0	8	5	3	1	0	1	1	0	0
名古屋市	計	163	1.0	53.50	10	4	19	23	19	19	12	24	26	7
	男	78	0.9	54.10	7	3	5	6	9	11	10	15	9	3
	女	85	1.1	53.00	3	1	14	17	10	8	2	9	17	4
安城市	計	23	0.1	36.00	3	6	4	0	3	1	0	5	1	0
	男	14	0.2	44.90	1	3	2	0	2	0	0	5	1	0
	女	9	0.1	22.00	2	3	2	0	1	1	0	0	0	0
知立市	計	40	0.2	50.60	1	1	4	7	7	8	4	3	3	2
	男	13	0.1	51.00	1	0	1	1	2	3	3	1	1	0
	女	27	0.4	50.40	0	1	3	6	5	5	1	2	2	2
瀬戸市	計	50	0.3	49.80	5	1	2	8	7	8	6	8	4	1
	男	28	0.3	52.80	2	0	2	3	3	6	4	7	1	0
	女	22	0.3	46.00	3	1	0	5	4	2	2	1	3	1
長久手市	計	24	0.1	57.30	1	0	3	3	2	2	2	6	3	2
	男	15	0.2	62.30	0	0	2	2	0	2	1	3	3	2
	女	9	0.1	48.90	1	0	1	1	2	0	1	3	0	0
その他市外	計	202	1.5	49.70	9	23	21	24	18	24	24	28	25	6
	男	112	1.5	52.63	5	9	11	8	11	17	14	19	15	3
	女	90	1.4	46.07	4	14	10	16	7	7	10	9	10	3
県外	計	103	0.6	54.40	1	12	11	7	10	12	11	17	20	2
	男	55	0.6	55.80	0	7	4	1	7	9	8	8	10	1
	女	48	0.6	52.80	1	5	7	6	3	3	3	9	10	1

4. 疾病別・診療科別退院患者数（大分類）

国際分類大項目分類		総 数	内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	形 成 外 科	脳 神 経 外 科	呼 吸 器 外 科	心 臓 血 管 外	皮 膚 科	泌 尿 器 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	麻 酔 科	歯 科 口 腔 外	死 亡 数	剖 検 数
総 数	計	16,569	7,278	713	1,954	1,347	293	503	243	118	185	906	1,009	802	479	18	721	731	13
	男	9,091	4,446	391	1,117	622	126	298	169	81	104	754	0	378	276	8	321	444	7
	女	7,478	2,832	322	837	725	167	205	74	37	81	152	1,009	424	203	10	400	287	6
I 感染症及び寄生虫症	計	304	139	91	10	1	0	0	2	0	34	8	5	0	10	4	0	16	1
	男	139	63	42	8	1	0	0	1	0	16	4	0	0	2	2	0	6	0
	女	165	76	49	2	0	0	0	1	0	18	4	5	0	8	2	0	10	1
II 新生物	計	3,149	1,188	0	651	12	61	53	128	0	26	318	526	0	148	1	37	301	3
	男	1,602	783	0	295	4	31	32	77	0	10	262	0	0	86	0	22	187	3
	女	1,547	405	0	356	8	30	21	51	0	16	56	526	0	62	1	15	114	0
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	91	65	9	9	0	1	0	1	0	1	2	3	0	0	0	0	5	1
	男	51	39	2	5	0	1	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	4	0
	女	40	26	7	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	377	291	28	12	2	1	1	2	0	0	1	0	4	35	0	0	4	0
	男	201	164	14	6	1	0	1	2	0	0	1	0	3	9	0	0	2	0
	女	176	127	14	6	1	1	0	0	0	0	0	0	1	26	0	0	2	0
V 精神及び行動の障害	計	16	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VI 神経系の疾患	計	312	222	17	0	35	1	23	0	0	0	0	0	0	11	3	0	9	1
	男	188	140	9	0	15	0	13	0	0	0	0	0	0	9	2	0	7	1
	女	124	82	8	0	20	1	10	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	0
VII 眼及び付属器の疾患	計	902	1	0	0	0	115	0	0	0	0	0	0	786	0	0	0	0	0
	男	408	1	0	0	0	38	0	0	0	0	0	0	369	0	0	0	0	0
	女	494	0	0	0	0	77	0	0	0	0	0	0	417	0	0	0	0	0
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	66	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0
	男	28	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0
	女	38	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0
IX 循環器系の疾患	計	2,514	2,032	1	148	0	1	216	0	115	0	0	1	0	0	0	0	119	2
	男	1,614	1,299	1	116	0	1	118	0	79	0	0	0	0	0	0	0	69	1
	女	900	733	0	32	0	0	98	0	36	0	0	1	0	0	0	0	50	1
X 呼吸器系の疾患	計	1,212	731	243	10	0	0	1	70	0	0	0	1	0	155	0	1	143	0
	男	779	469	131	6	0	0	1	62	0	0	0	0	0	109	0	1	98	0
	女	433	262	112	4	0	0	0	8	0	0	0	1	0	46	0	0	45	0
XI 消化器系の疾患	計	2,576	902	4	994	1	1	1	1	0	0	1	5	0	7	0	659	65	3
	男	1,414	503	4	612	0	1	1	0	0	0	0	0	0	6	0	287	37	1
	女	1,162	399	0	382	1	0	0	1	0	0	1	5	0	1	0	372	28	2
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	195	22	12	5	4	41	0	1	0	101	1	0	0	7	0	1	2	0
	男	118	15	8	2	3	22	0	0	0	63	1	0	0	4	0	0	0	0
	女	77	7	4	3	1	19	0	1	0	38	0	0	0	3	0	1	2	0
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	465	62	16	1	355	2	2	1	0	8	0	1	1	6	10	0	3	1
	男	208	25	11	1	153	2	2	1	0	7	0	0	0	2	4	0	2	1
	女	257	37	5	0	202	0	0	0	0	1	0	1	1	4	6	0	1	0
XIV 尿路性器系の疾患	計	1,025	461	25	15	0	1	0	0	0	1	379	142	0	1	0	0	29	1
	男	552	236	16	5	0	0	0	0	0	1	294	0	0	0	0	0	11	0
	女	473	225	9	10	0	1	0	0	0	0	85	142	0	1	0	0	18	1
XV 妊娠、分娩及び産じょく	計	307	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	307	0	0	0	0	0	0
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0
	女	307	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	307	0	0	0	0	0	0
XVI 周産期に発生した病態	計	49	0	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	24	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	25	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	64	14	1	4	11	5	2	4	1	0	2	1	0	19	0	0	0	0
	男	26	4	0	3	4	1	1	2	0	0	1	0	0	10	0	0	0	0
	女	38	10	1	1	7	4	1	2	1	0	1	1	0	9	0	0	0	0

国際分類大項目分類	総数	内科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	麻酔科	歯科口腔外	死亡数	剖検数	
Ⅲ 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	178	67	92	7	1	0	0	1	0	0	3	1	0	6	0	0	3	0
	男	96	30	53	7	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3	0	0	1	0
	女	82	37	39	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	0	2	0
Ⅸ 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	1,069	79	9	46	622	30	178	31	2	14	18	9	8	13	0	10	17	0
	男	565	41	5	26	294	19	113	21	2	6	17	0	3	11	0	7	7	0
	女	504	38	4	20	328	11	65	10	0	8	1	9	5	2	0	3	10	0
Ⅹ 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	1,329	621	106	42	303	33	26	1	0	0	173	7	3	1	0	13	1	0
	男	852	412	64	25	147	10	16	1	0	0	170	0	3	0	0	4	1	0
	女	477	209	42	17	156	23	10	0	0	0	3	7	0	1	0	9	0	0
Ⅺ 特殊目的用コード（新型コロナウイルス感染症を含む）	計	369	363	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0
	男	218	213	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0
	女	151	150	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0

※主病名に対する死亡数であるため、死因統計とは異なる

5. 診療科別・在院期間別退院患者数

		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
総数	計	16,569	9,445	3,404	1,657	949	942	136	33	3	0	0	11.3
	男	9,091	5,117	1,844	919	539	560	87	24	1	0	0	11.7
	女	7,478	4,328	1,560	738	410	382	49	9	2	0	0	10.8
内科	計	7,278	3,332	1,761	925	555	604	84	17	0	0	0	13.8
	男	4,446	2,129	1,043	532	323	355	51	13	0	0	0	13.5
	女	2,832	1,203	718	393	232	249	33	4	0	0	0	14.2
小児科	計	713	666	42	1	2	2	0	0	0	0	0	4.5
	男	391	367	22	0	0	2	0	0	0	0	0	4.4
	女	322	299	20	1	2	0	0	0	0	0	0	4.6
外科	計	1,954	982	513	194	126	114	19	6	0	0	0	12.5
	男	1,117	579	260	120	71	66	16	5	0	0	0	12.9
	女	837	403	253	74	55	48	3	1	0	0	0	12.0
整形外科	計	1,347	610	319	250	80	76	9	2	1	0	0	12.3
	男	622	317	140	87	34	39	4	1	0	0	0	11.5
	女	725	293	179	163	46	37	5	1	1	0	0	13.1
形成外科	計	293	250	17	16	2	4	3	1	0	0	0	5.7
	男	126	100	10	10	0	4	1	1	0	0	0	7.2
	女	167	150	7	6	2	0	2	0	0	0	0	4.5
脳神経外科	計	503	157	130	80	56	62	14	4	0	0	0	18.2
	男	298	91	78	45	33	39	10	2	0	0	0	18.8
	女	205	66	52	35	23	23	4	2	0	0	0	17.4
呼吸器外科	計	243	83	130	13	13	4	0	0	0	0	0	10.8
	男	169	64	80	11	11	3	0	0	0	0	0	11.0
	女	74	19	50	2	2	1	0	0	0	0	0	10.6
心臓血管外	計	118	7	4	41	42	21	1	1	1	0	0	28.3
	男	81	5	4	25	28	17	1	1	0	0	0	27.3
	女	37	2	0	16	14	4	0	0	1	0	0	30.6
皮膚科	計	185	122	30	19	10	4	0	0	0	0	0	9.4
	男	104	63	21	11	5	4	0	0	0	0	0	10.1
	女	81	59	9	8	5	0	0	0	0	0	0	8.4
泌尿器科	計	906	606	155	78	35	27	4	1	0	0	0	9.1
	男	754	519	123	61	25	22	4	0	0	0	0	8.7
	女	152	87	32	17	10	5	0	1	0	0	0	11.2
産婦人科	計	1,009	773	196	14	13	12	1	0	0	0	0	6.9
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	女	1,009	773	196	14	13	12	1	0	0	0	0	6.9

		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
眼 科	計	802	764	33	5	0	0	0	0	0	0	0	3.3
	男	378	358	18	2	0	0	0	0	0	0	0	3.3
	女	424	406	15	3	0	0	0	0	0	0	0	3.2
耳鼻咽喉科	計	479	399	59	7	8	5	0	0	1	0	0	8.0
	男	276	226	35	4	5	5	0	0	1	0	0	8.7
	女	203	173	24	3	3	0	0	0	0	0	0	7.0
麻 酔 科	計	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.2
	男	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.0
	女	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4.4
歯科口腔外	計	721	676	15	14	7	7	1	1	0	0	0	4.0
	男	321	291	10	11	4	4	0	1	0	0	0	4.7
	女	400	385	5	3	3	3	1	0	0	0	0	3.5

6. 疾病別・在院期間別退院患者数（大分類）

国際分類大項目分類		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
総 数	計	16,569	9,445	3,404	1,657	949	942	136	33	3	0	0	11.3
	男	9,091	5,117	1,844	919	539	560	87	24	1	0	0	11.7
	女	7,478	4,328	1,560	738	410	382	49	9	2	0	0	10.8
I 感染症及び寄生虫症	計	304	187	53	19	16	23	4	2	0	0	0	12.9
	男	139	82	27	9	5	13	2	1	0	0	0	13.6
	女	165	105	26	10	11	10	2	1	0	0	0	12.3
II 新生物	計	3,149	1,330	854	415	246	259	37	8	0	0	0	14.3
	男	1,602	544	455	270	149	150	28	6	0	0	0	16.4
	女	1,547	786	399	145	97	109	9	2	0	0	0	12.2
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	91	42	22	14	6	6	0	1	0	0	0	13.4
	男	51	22	13	9	4	2	0	1	0	0	0	14.0
	女	40	20	9	5	2	4	0	0	0	0	0	12.6
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	計	377	172	108	41	23	30	3	0	0	0	0	13.7
	男	201	97	61	18	10	14	1	0	0	0	0	12.8
	女	176	75	47	23	13	16	2	0	0	0	0	14.8
V 精神及び行動の障害	計	16	6	5	3	2	0	0	0	0	0	0	11.3
	男	8	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	8.0
	女	8	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	14.6
VI 神経系の疾患	計	312	174	52	30	21	26	8	1	0	0	0	13.3
	男	188	114	23	17	12	16	6	0	0	0	0	12.9
	女	124	60	29	13	9	10	2	1	0	0	0	13.8
VII 眼及び付属器の疾患	計	902	868	31	3	0	0	0	0	0	0	0	3.0
	男	408	389	17	2	0	0	0	0	0	0	0	3.2
	女	494	479	14	1	0	0	0	0	0	0	0	2.9
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	66	59	5	2	0	0	0	0	0	0	0	6.1
	男	28	23	4	1	0	0	0	0	0	0	0	6.0
	女	38	36	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6.1
IX 循環器系の疾患	計	2,514	1,173	557	356	222	180	18	7	1	0	0	13.4
	男	1,614	811	344	206	136	105	8	4	0	0	0	12.5
	女	900	362	213	150	86	75	10	3	1	0	0	15.0
X 呼吸器系の疾患	計	1,212	539	256	154	116	122	23	1	1	0	0	15.8
	男	779	349	155	97	76	84	16	1	1	0	0	16.4
	女	433	190	101	57	40	38	7	0	0	0	0	14.8
XI 消化器系の疾患	計	2,576	1,742	499	146	92	85	8	4	0	0	0	8.8
	男	1,414	948	281	83	41	52	5	4	0	0	0	9.1
	女	1,162	794	218	63	51	33	3	0	0	0	0	8.4

国際分類大項目分類		総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	1～2月	2～3月	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	195	107	30	28	13	10	6	1	0	0	0	13.7
	男	118	56	22	19	6	10	4	1	0	0	0	15.7
	女	77	51	8	9	7	0	2	0	0	0	0	10.8
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	465	83	186	122	38	28	6	2	0	0	0	16.5
	男	208	39	96	40	20	10	1	2	0	0	0	15.5
	女	257	44	90	82	18	18	5	0	0	0	0	17.3
XIV 尿路性器系の疾患	計	1,025	594	224	89	60	53	5	0	0	0	0	11.0
	男	552	322	113	44	34	35	4	0	0	0	0	11.6
	女	473	272	111	45	26	18	1	0	0	0	0	10.3
XV 妊娠, 分娩及び産じょく	計	307	205	93	4	1	4	0	0	0	0	0	7.9
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	307	205	93	4	1	4	0	0	0	0	0	7.9
XVI 周産期に発生した病態	計	49	43	6	0	0	0	0	0	0	0	0	7.0
	男	24	21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6.5
	女	25	22	3	0	0	0	0	0	0	0	0	7.4
XVII 先天奇形, 変形及び染色体異常	計	64	47	10	5	1	1	0	0	0	0	0	7.2
	男	26	22	2	1	1	0	0	0	0	0	0	6.3
	女	38	25	8	4	0	1	0	0	0	0	0	7.8
XVIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	178	129	20	11	5	11	2	0	0	0	0	9.1
	男	96	71	7	7	3	7	1	0	0	0	0	9.3
	女	82	58	13	4	2	4	1	0	0	0	0	8.8
XIX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	計	1,069	465	240	184	79	87	10	3	1	0	0	14.1
	男	565	272	119	78	36	52	6	2	0	0	0	13.7
	女	504	193	121	106	43	35	4	1	1	0	0	14.6
XX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	1,329	1,256	64	7	0	0	1	1	0	0	0	3.1
	男	852	813	36	1	0	0	1	1	0	0	0	3.0
	女	477	443	28	6	0	0	0	0	0	0	0	3.3
XXI 特殊目的用コード (新型コロナウイルス感染症を含む)	計	369	224	89	24	8	17	5	2	0	0	0	9.5
	男	218	118	63	16	6	10	4	1	0	0	0	10.6
	女	151	106	26	8	2	7	1	1	0	0	0	7.9

7. 疾病別・年齢階層別退院患者数 (大分類)

国際分類大項目分類		総数	0～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	90歳～	平均年齢
総数	計	16,569	810	477	722	759	1,146	1,695	2,327	4,739	3,118	776	62.50
	男	9,091	462	235	302	269	526	946	1,402	2,994	1,704	251	63.50
	女	7,478	348	242	420	490	620	749	925	1,745	1,414	525	61.40
I 感染症及び寄生虫症	計	304	78	16	15	12	12	16	26	60	58	11	48.40
	男	139	37	7	7	7	5	10	13	24	25	4	46.70
	女	165	41	9	8	5	7	6	13	36	33	7	49.70
II 新生物	計	3,149	4	22	28	73	283	366	598	1,150	540	85	68.00
	男	1,602	1	11	6	10	60	129	303	724	317	41	71.50
	女	1,547	3	11	22	63	223	237	295	426	223	44	64.50
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	91	9	0	3	4	8	8	17	17	20	5	61.50
	男	51	2	0	1	2	3	8	9	13	11	2	65.70
	女	40	7	0	2	2	5	0	8	4	9	3	56.10
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	計	377	25	4	8	16	59	61	56	81	46	21	59.10
	男	201	13	1	4	10	30	38	36	48	17	4	57.60
	女	176	12	3	4	6	29	23	20	33	29	17	60.80
V 精神及び行動の障害	計	16	0	0	2	3	2	5	1	2	0	1	50.50
	男	8	0	0	1	1	0	5	1	0	0	0	48.30
	女	8	0	0	1	2	2	0	0	2	0	1	52.80

国際分類大項目分類		総数	0～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	90歳～	平均年齢
VI 神経系の疾患	計	312	12	10	6	9	27	54	52	77	57	8	62.20
	男	188	8	2	3	9	17	30	33	54	31	1	62.10
	女	124	4	8	3	0	10	24	19	23	26	7	62.30
VII 眼及び付属器の疾患	計	902	1	3	6	9	31	80	141	406	208	17	71.50
	男	408	1	2	1	4	15	34	60	201	88	2	71.20
	女	494	0	1	5	5	16	46	81	205	120	15	71.80
VIII 耳及び乳様突起の疾患	計	66	8	6	1	7	3	12	12	14	3	0	49.40
	男	28	4	4	0	2	2	6	5	4	1	0	44.60
	女	38	4	2	1	5	1	6	7	10	2	0	52.90
IX 循環器系の疾患	計	2,514	2	7	16	29	98	252	396	891	658	165	72.70
	男	1,614	1	3	8	19	68	195	282	603	376	59	71.10
	女	900	1	4	8	10	30	57	114	288	282	106	75.40
X 呼吸器系の疾患	計	1,212	249	42	66	34	35	53	94	228	286	125	55.80
	男	779	138	29	53	28	25	31	75	167	188	45	55.70
	女	433	111	13	13	6	10	22	19	61	98	80	56.00
XI 消化器系の疾患	計	2,576	76	157	346	170	198	253	267	550	443	116	56.70
	男	1,414	47	73	140	76	108	147	186	371	239	27	58.30
	女	1,162	29	84	206	94	90	106	81	179	204	89	54.70
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	計	195	10	5	5	13	26	32	27	34	35	8	59.80
	男	118	6	3	4	9	14	22	15	22	20	3	58.80
	女	77	4	2	1	4	12	10	12	12	15	5	61.30
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	計	465	20	39	8	10	22	51	86	148	74	7	61.10
	男	208	13	10	0	7	11	27	45	65	27	3	60.90
	女	257	7	29	8	3	11	24	41	83	47	4	61.20
XIV 尿路性器系の疾患	計	1,025	24	20	29	68	100	101	153	265	203	62	64.40
	男	552	17	10	11	22	39	58	96	165	118	16	65.40
	女	473	7	10	18	46	61	43	57	100	85	46	63.10
XV 妊娠、分娩及び産じょく	計	307	0	5	84	190	28	0	0	0	0	0	32.50
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	307	0	5	84	190	28	0	0	0	0	0	32.50
XVI 周産期に発生した病態	計	49	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	男	24	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	25	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	計	64	7	15	8	5	11	4	4	8	2	0	36.20
	男	26	4	5	5	1	5	1	2	3	0	0	33.00
	女	38	3	10	3	4	6	3	2	5	2	0	38.40
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	178	89	3	3	6	5	4	9	19	27	13	36.10
	男	96	53	0	0	3	3	3	5	14	12	3	32.90
	女	82	36	3	3	3	2	1	4	5	15	10	39.90
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	1,069	40	70	47	46	69	89	100	252	247	109	63.80
	男	565	27	55	36	28	46	51	60	138	96	28	57.60
	女	504	13	15	11	18	23	38	40	114	151	81	70.80
XX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	1,329	102	53	34	33	91	177	221	448	165	5	59.20
	男	852	61	20	17	20	52	107	136	323	112	4	61.50
	女	477	41	33	17	13	39	70	85	125	53	1	55.10
XXI 特殊目的用コード(新型コロナウイルス感染症を含む)	計	369	5	0	7	22	38	77	67	89	46	18	63.20
	男	218	5	0	5	11	23	44	40	55	26	9	62.30
	女	151	0	0	2	11	15	33	27	34	20	9	64.50



8. 診療科別疾患順位（細分類）

細分類病名のままではわかりにくいものに関しては、一部修正を加え掲載

<内科>

順位	コード	病名	総数	平均在院 日数	在院日数 中央値	最高在院 日数	最低在院 日数
1	I500	うっ血性心不全	426	19.8	16	89	1
2	U071	新型コロナウイルス感染症	363	9.6	2	121	1
3	J690	誤嚥性肺炎	314	25.0	21	177	1
4	I208	労作性狭心症	285	4.0	4	42	2
5	Z136	心臓カテーテル検査入院	183	2.7	3	7	2
6	I480	発作性心房細動	169	4.3	4	21	2
7	I633	血栓性脳梗塞	167	16.7	15	70	3
8	N185	慢性腎臓病、ステージ5	152	14.9	10	69	3
9	Z122	肺生検入院	142	2.1	2	5	1
10	K803	総胆管結石性胆管炎	140	13.6	10	96	3

<小児科>

順位	コード	病名	総数	平均在院 日数	在院日数 中央値	最高在院 日数	最低在院 日数
1	R560	熱性けいれん	63	3.3	3.5	6	1
2	Z130	食物負荷試験	60	1	1	1	1
3	J450	小児気管支喘息	38	5.5	6	10	3
4	J210	RSウイルスによる急性細気管支炎	34	5.4	6	13	3
5	J209	急性気管支炎、その他	22	3.9	4	6	2
6	J189	急性肺炎	20	4.9	5.5	12	3
7	Z016	MRI検査入院	19	1.1	1.5	2	1
	J029	急性咽頭炎、その他	19	4.2	4.5	7	2
8	J205	RSウイルスによる急性気管支炎	18	4.6	5	7	3
	B348	RSウイルス感染症	18	4.8	5	10	2
9	E86	脱水症	17	3.3	4	8	2
	N390	尿路感染症、その他	17	7.8	7.5	14	3
	P071b	低出産体重(児)のうち、出産体重1500グラム - 2499グラムの児	17	9.2	10	15	6
10	A099	急性胃腸炎	16	3.6	4	6	2
	A090	感染性胃腸炎	16	3.8	4	9	2

<外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院 日数	在院日数 中央値	最高在院 日数	最低在院 日数
1	K409	片側鼠径ヘルニア	166	3.1	3	11	1
2	K801	慢性胆のう炎を伴う胆のう結石	110	6.8	6	24	4
3	K358	急性虫垂炎、その他	104	5.1	5	13	3
4	K800	急性胆のう炎を伴う胆のう結石	68	8.0	7	21	4
5	K913	術後腸閉塞	65	14.7	10	74	4
6	C504	乳房上外側4分の1の悪性新生物	64	9.4	8	50	4
7	C20	直腸の悪性新生物	55	18.7	17	46	3
8	K810	急性胆のう炎	49	9.6	7	75	4
	C162	胃体部の悪性新生物	48	18.9	15	67	2
	C163	胃幽門前庭部の悪性新生物	48	23.5	19	90	4
	K353	腹腔内膿瘍を伴う急性虫垂炎	48	7.8	7	18	4
10	C187	S状結腸の悪性新生物	35	19.8	17	53	7

<整形外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	Z138	脊髄腔造影検査入院	208	2.0	2	7	2
2	S7200	閉鎖性大腿骨頸部骨折	119	23.7	18	204	5
3	S7210	閉鎖性転子貫通骨折	113	19.1	17	108	2
4	Z470	術後抜釘入院	95	3.0	3	15	2
5	S5250	閉鎖性橈骨遠位端骨折	63	4.6	3	36	2
6	M4712	頸髄症性脊椎症	45	13.6	12	45	10
	M4806	脊柱管狭窄(症)	45	13.8	13	44	10
7	M170	両側性原発性膝関節症	39	20.1	19	42	2
8	G560	手根管症候群	21	2.0	2	2	2
	S4240	閉鎖性上腕骨遠位端骨折	21	5.5	3	20	1
9	M4316	腰椎すべり症	18	12.6	11	22	10
10	M161	原発性変形性股関節症	17	17.2	11	21	2

<形成外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	H024	眼瞼下垂	104	1.7	2.5	4	1
2	Z421	術後乳房再建	16	6.4	9	16	2
3	C443	顔面の皮膚悪性新生物	15	2.9	3.5	15	1
4	Z420	頭部及び頸部手術後の植皮入院	12	3.7	3	16	1
	D171	体幹の皮膚及び皮下腫瘍	12	2.8	3	6	1
5	H020	眼瞼内反症	11	1.7	2	3	1
	L905	癒痕拘縮	11	4.1	3	20	1

<脳神経外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	S0650	外傷性硬膜下出血	117	14	18.5	90	2
2	I610	脳内出血、皮質下出血	92	18.9	19	89	1
3	I652	頸動脈の閉塞及び狭窄	24	17.2	15.5	50	2
4	Z138	脳血管造影検査入院	22	2	2.5	3	2
5	G408	症候性てんかん	17	9.2	8.5	23	3
6	S0620	びまん性脳損傷	16	16.6	11	49	2
	S0660	外傷性くも膜下出血	16	12.6	12	44	2
7	D320	脳髄膜	14	26.2	17.5	103	10
8	S0600	脳振とう症	13	2.5	3.5	5	2
9	I614	小脳の脳内出血	12	27.3	19	114	9
	I633	血栓性脳梗塞	12	20.2	18	36	9
10	I609	くも膜下出血	11	15.7	16	34	1
	I600	内頸動脈瘤破裂によるくも膜下出血	11	40.1	32.5	98	18

<呼吸器外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	C341	上葉、気管支又は肺の悪性新生物	49	11.7	12.5	38	5
2	J931	自然気胸	36	9.1	10	29	4
	C343	下葉、気管支又は肺の悪性新生物	36	10.6	13	19	8
3	C780	肺の転移性悪性新生物	21	9.3	9.5	34	5
4	J938	続発性気胸	13	14.5	14	29	6
5	S2720	外傷性血気胸	11	12.5	10.5	40	3



<心臓血管外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	I200	不安定狭心症	19	33.6	31	75	19
2	I710	大動脈の解離	18	22.4	23	54	1
3	I340	僧帽弁閉鎖不全症	16	24.7	22	53	15
	I208	労作性狭心症	16	21	21.5	29	2
4	I209	狭心症3枝病変	11	27.5	26.5	50	23
5	I712	胸部大動脈瘤	6	45	28.5	125	19

<皮膚科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	L031	四肢の蜂窩織炎	68	12.3	16	40	3
2	T630	マムシ咬傷	12	3.1	3	5	1
3	B029	合併症を伴わない帯状疱疹	11	8.2	8.5	9	8
4	B027	播種性帯状疱疹	9	8.1	7.5	13	6
	C443	顔面の皮膚悪性新生物	9	2	2	2	2
5	L120	水疱性類天疱瘡	5	30	26	47	24
	B023	結膜炎を伴う帯状疱疹	5	9.2	11	14	8
	M8697	足骨髄炎	5	16.4	16	23	10

<泌尿器科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	Z125	前立腺生検入院	160	2	5.5	9	2
2	N201	尿管結石	111	6.4	14	51	3
3	N40	前立腺肥大症	79	7.4	9.5	17	3
4	C672	膀胱側壁の悪性新生物	60	10.2	12	89	3
5	C678	膀胱の境界部病巣の悪性新生物	57	14.4	20	64	5
6	C61	前立腺の悪性新生物	53	17	18.5	64	5
7	N136	膿腎症	39	16.1	14.5	64	3
8	N10	急性尿細管間質性腎炎	31	12.4	14	31	4
9	C64	腎盂を除く腎の悪性新生物	28	14.6	11	54	1
10	N200	腎結石	20	6.2	8	23	3

<産婦人科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	O800	自然頭位分娩	112	7.7	9	35	6
2	C56	卵巣の悪性新生物	106	8.1	13.5	51	4
3	C541	子宮内膜の悪性新生物	84	5.7	10.5	23	3
4	C539	子宮頸部の悪性新生物	72	7.2	10	78	1
5	D259	子宮平滑筋腫、その他	66	6.8	7	24	1
6	D27	卵巣の良性新生物	50	6.4	6	13	3
7	O342	既往帝王切開後妊娠	49	8.9	8.5	15	7
8	C482	腹膜の悪性新生物	38	9.3	18	50	3
9	D069	子宮頸部の良性新生物	32	3.3	4.5	6	3
10	N840	子宮体部ポリープ	30	2.7	2	3	1

<眼科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	H250	老人性初発白内障	418	2.5	4.5	12	2
2	H251	老人性核白内障	208	2.5	3	5	1
3	H353	黄斑及び後極の変性	40	6.5	7.5	15	3
4	H431	硝子体出血	29	6.3	6.5	14	3
5	H258	その他の老人性白内障	27	3	4	10	1

<耳鼻咽喉科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	J350	慢性扁桃炎	40	8.1	8.5	14	2
2	J36	扁桃周囲膿瘍	38	12.1	7.5	247	4
3	E049	線種様甲状腺腫	30	7.4	8.5	13	7
4	H912	突発性難聴(特発性)	28	8.4	8.5	17	5
5	C73	甲状腺の悪性新生物	23	10.1	8.5	61	3
6	J328	慢性副鼻腔炎	17	6.7	6	7	5
7	D110	耳下腺腫瘍	16	7	7	7	7
8	H813	末梢性めまい症	15	3.8	4	7	2
9	Q181	先天性耳瘻孔	14	2.6	3	4	2
10	J342	鼻中隔彎曲症	10	6.8	6.5	7	6

<麻酔科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	M4806	脊柱管狭窄症	6	5.2	5.5	6	5
2	B022	帯状疱疹後神経痛	4	5	5	5	5
3	M512	椎間板ヘルニア	2	2	2	2	2

<歯科口腔外科>

順位	コード	病名	総数	平均在院日数	在院日数中央値	最高在院日数	最低在院日数
1	K073	水平埋伏智歯	502	2.4	2.5	12	1
2	K011	埋伏歯<impacted teeth>	70	2.7	3.5	5	2
3	K090	発育性歯原性のう胞	21	5	5	11	2
4	K048	歯根のう胞	19	4.1	4.5	8	3
5	Z470	術後プレート抜去入院	13	5.4	6	9	5

8. 剖検数

年齢	性別	診療科	主臨床診断名
81	女	内科	汎血球減少症
71	女	心臓血管外科	人工血管移植後 急性大動脈解離 StanfordA 急性前壁中隔心筋梗塞
72	男	内科	非小細胞 LK
63	男	内科	Malg 胸膜中皮腫
46	男	内科	上部消化管出血 アルコール性肝硬変
68	男	内科	家族性アミロイドポリニューロパチー
90	男	内科	原発不明 Car
67	男	救急科	来院時心肺停止
78	男	内科	血栓性血小板減少性紫斑病
78	女	脳神経内科	クリプトコッカス性脳髄膜炎
83	女	腎臓内科	キャッスルマン病
73	男	内科	脳梗塞・急性期
80	女	消化器内科	糞便性イレウス
74	女	総合内科	たこつぼ型心筋症
73	男	脳神経内科	敗血症の疑い 脳症

9. 臨床研究

受託 No	依頼者	研究調査課題	科名	研究責任者名	症例数	期間
2021-ST01		若年造血器腫瘍患者の妊孕性の検討	血液内科	平賀 潤二	設定数なし	2021/4/12 ～ 2022/3/31
2021-ST02		血液学的悪性腫瘍の治療により惹起される心毒性、肺毒性の後方視的検討	血液内科	平賀 潤二	設定数なし	2021/4/12 ～ 2022/3/31
2021-ST03		頸椎人工椎間板置換術手術のデータベース構築に関する研究	整形外科	辻 太一	当院：全例	2021/4/12 ～2026/3/31 →2024/3/31
2021-ST04	名古屋市立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科	痙攣性発声障害患者レジストリ	耳鼻咽喉科	欄 真一郎	当院：全例 (全参加施設例数制限は設けず可能な限り登録。3年間で1000～2000例の登録を想定)	2021/4/19 ～ 2023/3/31
2021-ST05		関節リウマチ患者、原発性骨粗鬆症患者に対する抗スクレロチン抗体の治療効果と治療成績予測因子の検討	整形外科	金山 康秀	当院：原発性骨粗鬆症100例、関節リウマチ100例	2021/4/19 ～ 2030/3/31
2021-ST06	名古屋大学大学院医学研究科 消化器内科学	線維化進行C型慢性肝炎患者におけるインターフェロンフリー治療によるウイルス排除後の肝予備能改善に寄与する因子の検討—多施設共同研究	消化器内科	森田 清	当院：全例 (全参加施設1500例)	2021/4/26 ～ 2025/9/30
2021-ST07		心房細動に対する左肺静脈隔離の手技工夫が、僧帽弁峡部線状焼灼の成功率を上昇させるかどうかについての検討	循環器内科	堀 仁美	当院：600例	2021/4/26 ～ 2021/12/1
2021-ST08		慢性心房細動に対するCryo-Maze手術の早期遠隔期成績及び再発例に対するカテーテルアブレーションに関する検討	心臓外科	寺田 貴史	当院：全例	2021/6/21 ～ 2021/12/31
2021-ST09	名古屋大学医学部付属病院小児科	小児MRI検査における簡易プレパレーションと保護者付き添いの有用性の研究	小児科	梶田 光春	当院：10例 (全参加施設100例)	2021/6/7 ～ 2025/3/31



受託 No	申請 月日	承認 月日	依頼者	研究調査課題	科名	研究 責任者名	症例数	期間	終了 報告
2021-ST10	2021 6/7	2021 6/14	自治医科大学 血液科 皆方 大佑	日本における血液疾患患者を対象とする COVID-19 罹患状況、予後に関する横断研究 Characteristics and prognosis in COVID-19 patients with hematologic diseases in Japan:a cross-sectional study 研究計画書番号：JSH-COVID19-20	血液内科	平賀 潤二	当院：全例 (全参加施設 100 例以上)	2021/6/14 ～ 2023/4/30	
2021-ST11	2021 6/11	2021 6/14		大腸癌肝転移切除例の男女差についての臨床病理学的検討	外科	久留宮康浩	当院：60 例	2021/6/14 ～ 2021/8/31	■ 2021 11/15
2021-ST12	2021 6/11	2021 6/14		大腸癌肝転移、同時性と異時性の差についての臨床病理学的検討	外科	久留宮康浩	当院：60 例	2021/6/14 ～2021/8/31 ～2022/3/31	
2021-ST13	2021 7/13	2021 7/19		閉経後ホルモン感受性陽性乳癌に対する術前ホルモン療法についての検討	外科	久留宮康浩	当院：30 例	2021/7/13 ～ 2021/7/19	
2021-ST14	2021 7/1	2021 7/5		救急外来における低血糖症例の患者背景に関する検討【第二報】	薬剤師	松田 詩乃	目標症例数は特に定めない	2021/7/5 ～ 2021/12/31	■ 2022 2/24
2021-ST15	2021 7/16	2021 7/19		大腸癌卵巣転移症例の検討	外科	世古口 英	当院：全例	2021/7/19 ～ 2021/12/31	■ 2022 2/17
2021-ST16	2021 7/26	2021 8/2		初回人工膝関節置換術患者における足部アライメントと QOL を含む臨床成績の検討	整形外科	金山 康秀	当院：30 例	2021/8/2 ～ 2030/3/31	
2021-ST17	2021 7/26	2021 8/2	日本イーライリリー株式会社	観察研究実施計画書 I4V-JE-B024 日本人関節リウマチ患者を対象としたバリシチニブ投与時の治療継続率の評価：前向きコホート観察研究	整形外科	金山 康秀	当院：5 例 (全参加施設 340 例)	2021/8/2 ～ 2024/9/30	
2021-ST18	2021 8/3	2021 8/16		当院での術中脊髄モニタリングにおけるアラームポイントの検討	臨床検査室	高本 智史	当院：200 例	2021/8/16 ～ 2021/12/31	■ 2022 2/2

受託 No	申請 月日	承認 月日	依頼者	研究調査課題	科名	研究 責任者名	症例数	期間	終了 報告
2021 ST19	2021 8/26	2021 8/30	名古屋大学医学部附属病院	食道癌に対する根治(化学)放射線療法+/- Photodynamic Therapyにおける食道温生存率を明らかにする多施設前向き研究	消化器内科	松井 健一 →都築 智之	当院：10例 (全参加施設150例)	2021/8/30 ～ 2030/12/31	
2021 ST20	2021 9/9	2021 9/27		悪性リンパ腫患者におけるBMIの減少と予後に関する影響を調べる後方視的検討	血液内科	平賀 潤二	当院：特に定めない例	2021/9/27 ～ 2023/3/31	
2021 ST21	2021 9/14	2021 9/27		川崎病治療における免疫グロブリン5%製剤と10%製剤の比較に関する多施設共同後方視的観察研究	小児科	梶田 光春	当院：50例 (全参加施設600例)	2021/9/27 ～ 2025/3/31	
2021 ST22	2021 9/15	2021 10/4		当院における侵襲性 Campylobacter jejuni/coli 感染症の臨床的背景の検討	臨床検査室	加藤 雄大	当院：全例	2021/10/4 ～ 2026/3/31	
2021 ST22	2021 10/7	2021 10/11	名古屋大学大学院 医学系研究科 消化器内科学	免疫チェックポイント阻害薬投与による副作用である消化器関連合併症(肝機能障害や消化管炎症)の発症機序解明とその対策に関する研究	消化器内科	森田 清	当院5例 (全参加施設1500例)	2021/10/11 ～ 2024/12/31	
2021 ST23	2021 10/7	2021 10/11	名古屋大学大学院 医学系研究科 消化器内科学	非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)患者の肝関連、非肝関連イベントに関する予後の検討	消化器内科	森田 清	当院：5例 (全参加施設700例)	2021/10/11 ～ 2025/9/30	
2021 ST24	2021 9/27	2021 10/4		持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション後の再発率と術前の左心耳造影欠損との関連	消化器内科	山内 良太	当院：400例	2021/10/4 ～ 2023/12/31	
2021 ST25	2021 10/15	2021 10/25		外科医不足は解消できるか?～初期臨床研修医の外科系診療科への意識調査～	呼吸器外科	岡阪 敏樹	当院：70例 (全参加施設例)	2021/10/25 ～ 2026/3/31	<input type="checkbox"/> /
2021 ST26	2021 10/20	2021 10/25	名古屋大学医学部附属病院	新型コロナウイルス感染症の凝固異常の病態解明と重症化予測能に関する研究	呼吸器内科	中原 義夫	研究目的① 当院：-例 (全参加施設200例) 研究目的② 当院：-例 (全参加施設60例) 研究目的③ 当院：-例 (全参加施設100例)	2021/10/25 ～ 2025/12/31	<input type="checkbox"/> /



受託 No	申請 月日	承認 月日	依頼者	研究調査課題	科名	研究 責任者名	症例数	期間	終了 報告
2021 ST27	2021 10/22	2021 11/1		治療困難な心房細動に対する肺静脈隔離後のFAAM ablationの有用性について	内科	井関 彰太	当院：200例 (全参加施設例)	2021/11/1 ～ 2022/3/31	□ /
2021 ST28	2021 11/2	2021 11/8		子宮内避妊器具抜去における子宮鏡の活用	産婦人科	神谷知都世	目標症例数は 定めない	2021/11/8 ～ 2021/12/31	■ 2021 12/28
2021 ST29	2021 11/5	2021 11/8		高齢者における胃癌術後補助化学療法の現状と問題点	外科	世古口 英	当院：全例 (全参加施設例)	2021/11/8 ～ 2022/4/30	■ 2022 5/24
2021 ST30	2021 11/5	2021 11/8	京都大学	予定帝王切開における重篤な産後出血に対する臨床予測モデルの開発：後方視コホート研究	麻酔科	上原 博和	当院：700例 (全参加施設 3700例)	2021/11/8 ～ 2023/12/31	□ /
2021 ST31	2021 11/9	2021 11/18	ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	Imaging 所見観察後におけるデバイス選択基準の傾向を観察する研究	循環器内科	窪田 龍二	当院：10 <全参加施設 最大1,000例 (目標： Rotablator300、 Wolverine700) >	2021/11/9 ～ 2022/6/30	
2021 ST32	2021 11/18	2021 11/22	主管 長崎大学	新型コロナウイルス感染症におけるワクチン効果の疫学研究	救急科	伊藤 貴康 →畑田 剛	継続的に症例登録を行うため、定めない	2021/11/22 ～ 2024/3/31	■ 2022 6/29
2021 ST33	2021 11/30	2021 11/22	名古屋大学医学部附属病院 手の外科	四肢外傷に関する実態調査研究	整形外科	金山 康秀	当院 5例 全参加施設 1500例	2021/12/6 ～ 2025/3/31	□ /
2021 ST34	2021 12/1	2021 12/6	主管 順天堂大学	日本人骨髄増殖性腫瘍患者における二次がんとしてリンパ球系腫瘍の発症に関する全国調査	血液内科	平賀 潤二	当院 1例 全参加施設 50 例⇒100？	2021/12/6 ～ 2025/3/31	□ /
2021 ST35	2021 12/21	2021 12/29	一般社団法人 日本不整脈心電学会	カテーテルアブレーション全国症例登録研究 [J-AB 2022]	循環器内科	金子 鎮二	全例 全参加施設 40万例	2021/12/29 ～ 2030/3/31	□ /
2021 ST36	2021 12/21	2021 12/29	代表者 三重大学 先進血液腫瘍学講座	新世代治療導入後の未治療NK/T細胞リンパ腫における治療実態とその推移および予後に関する国内多機関共同調査研究 (NKEA-Next project) 研究	血液内科	平賀 潤二	当院：6例 (全参加施設 658例)	2021/12/29 ～ 2024/3/31	□ /
2021 ST37	2022 1/6	2022 1/19	埼玉医科大学 国際医療センター 造血器腫瘍科	「前方視的観察研究に登録された治療関連急性前骨髄球性白血病における長期予後と治療実態調査(観察研究)」	血液内科	平賀 潤二	全参加施設 670例	2022/1/19 ～ 2024/3/31	□ /

受託 No	申請 月日	承認 月日	依頼者	研究調査課題	科名	研究 責任者名	症例数	期間	終了 報告
2021 ST38	2022 2/1	2022 2/7		血液疾患に対する輸血の検討	血液内科	平賀 潤二	当院：－例 (全参加施設例)	2022/2/7 ～ 2023/3/31	<input type="checkbox"/> /
2021 ST39	2022 2/9	2022 2/14	名古屋市立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科	第Ⅶ・Ⅷ脳神経障害におけるウイルス関与の検討	耳鼻咽喉科	欄 真一郎	当院：15例： 3疾患×5例 (全参加施設 90例：3疾患 ×30例)	2022/2/14 ～ 2024/3/31	<input type="checkbox"/> /
2021 ST40	2022 2/10	2022 2/14	名古屋市立大学医薬学総合研究院(医学) 血液・腫瘍内科学	日本における骨髄腫関連疾患の予後に関する大規模多施設前向き観察研究 II：JSH-MM-20	血液内科	平賀 潤二	当院：－例 (全参加施設 1200例)	2022/2/14 ～ 2029/12/31	<input type="checkbox"/> /
2021 ST41	2022 2/24	2022 2/28		アブレーションにおけるFOV変更での線量比較：DRLs2020と比較して	診療放射線室	黒瀬 颯太	当院：700例	2022/2/28 ～ 2022/9/1	<input type="checkbox"/> /
2021 ST42	2022 3/9	2022 3/14	公益財団法人がん集学的治療研究財団	JFMC-DB2020-01 大腸がん T1/T2, N (+) 症例における術後補助化学療法の有用性	外科	久留宮康浩	当院：－例 (全参加施設－例)	2022/3/14 ～ 2022/12/31	<input type="checkbox"/> /
2021 ST43	2022 3/9	2022 3/14	公益財団法人がん集学的治療研究財団	JFMC-DB2020-02 腎機能障害患者における大腸癌補助化学療法の検証	外科	久留宮康浩	当院：－例 (全参加施設－例)	2022/3/14 ～ 2022/12/31	<input type="checkbox"/> /
2021 ST44	2022 3/9	2022 3/14	公益財団法人がん集学的治療研究財団	JFMC-DB2020-03 大腸癌術後合併症と術後補助化学療法施行及び予後への影響	外科	久留宮康浩	当院：－例 (全参加施設－例)	2022/3/14 ～ 2022/12/31	<input type="checkbox"/> /
2021 ST45	2022 3/4	2022 3/28		うっ血性心不全の患者へのトルバプタン使用における腎機能増悪の影響について	循環器内科	長井 伸	当院：500例	2022/3/28 ～ 2022/3/31	<input type="checkbox"/> /
2021 ST46	2022 3/23	2022 3/28		ナルデメジン導入後の下痢発現とオピオイド投与量の関連	薬剤部	西村 栄輝	当院：200例	2022/3/28 ～ 2022/12/31	<input type="checkbox"/> /
2022 ST47	2022 3/25	2022 4/10		血液培養検査における簡易CPDXスクリーニング検査の有用性	臨床検査室	永田 悠起	当院：全例	2022/4/10 ～ 2024/3/31	<input type="checkbox"/> /

Ⅱ 部署別業務実績

1. 診療放射線室

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 高額医療機器等の導入及び更新

→ハイブリッド手術室の稼働（血管撮影装置更新）、一般撮影装置/ポータブル撮影装置（ワイヤレスFPD化）更新、X線透視装置更新、乳房専用撮影装置更新、手術室O-arm撮影装置新規導入

2. 被ばく線量管理室システム導入

→医療放射線被ばく線量管理の実施

3. 地域医療連携枠の拡充（CT・MRI時間外枠）

→時間外CT、MRI各4枠拡充

4. 臨地実習生の受け入れ

→岐阜医療科学大学 学生2年生、3年生、4年生の実習指導

5. CT共同研究の継続

→フジフィルムヘルスケアと共同研究

2. 令和3年度実績

1. 診療放射線室取扱件数

	令和3年度	令和2年度	前年度比 (%)
一般撮影	119,038	116,114	102.5
X線テレビ	12,600	12,264	102.7
血管撮影	2,409	2,877	83.7
C T	39,631	37,852	104.7
M R I	15,757	15,065	104.6
骨塩定量	1,866	1,967	94.9
R I	2,602	2,685	96.9
放射線治療	4,465	6,447	69.3
合計	198,368	195,271	101.6

2. MRI検査件数

	令和3年度	令和2年度	前年度比 (%)
内科	4,174	4,401	94.8
心療精神科	59	48	122.9
小児科	176	144	122.2
外科	542	520	104.2
整形外科	2,181	2,226	98.0
脳神経外科	3,608	3,348	107.8
皮膚科	94	74	127.0
泌尿器科	503	460	109.3
産婦人科	617	542	113.8
眼科	60	53	113.2
耳鼻咽喉科	372	337	110.4
放射線科	470	387	121.4
麻酔科	40	43	93.0
歯科口腔外科	78	74	105.4
形成外科	121	88	137.5
心臓外科	92	89	103.4
呼吸器外科	72	56	128.6
健診センター	1,170	920	127.2
救急科	1,328	1,255	105.8
合計	15,757	15,065	104.6

3. 血管撮影件数

	令和3年度	令和2年度	前年度比 (%)
内 科	1,875	1,911	98.1
外 科	167	155	107.7
整 形 外 科	0	21	0.0
脳 神 経 外 科	104	81	128.4
呼 吸 器 外 科	3	20	15.0
産 婦 人 科	4	2	200.0
合 計	2,153	2,190	98.3

4. X線CT検査件数

	令和3年度	令和2年度	前年度比 (%)
内 科	13,944	13,419	103.9
心 療 精 神 科	8	7	114.3
小 児 科	61	37	164.9
外 科	4,946	4,632	106.8
整 形 外 科	2,030	2,005	101.2
脳 神 経 外 科	2,397	2,137	112.2
皮 膚 科	201	146	137.7
泌 尿 器 科	2,061	2,127	96.9
産 婦 人 科	534	494	108.1
眼 科	36	24	150.0
耳 鼻 咽 喉 科	1,396	1,319	105.8
放 射 線 科	749	671	111.6
麻 酔 科	13	22	59.1
歯 科 口 腔 外 科	608	627	97.0
形 成 外 科	128	148	86.5
心 臓 外 科	441	363	121.5
呼 吸 器 外 科	886	835	106.1
健 診 セ ン タ ー	264	302	87.4
救 急 科	8,928	8,537	104.6
合 計	39,631	37,852	104.7

5. アイソトープ検査件数

	令和3年度	令和2年度	前年度比 (%)
脳 血 流	350	325	107.7
甲 状 腺	15	15	100.0
副 甲 状 腺	6	1	600.0
肺 血 流	30	26	115.4
心 筋 負 荷	916	899	101.9
心 筋 無 負 荷	220	233	94.4
心 プ ー ル	0	0	0.0
肝	0	1	0.0
腎	2	77	2.6
副 腎	15	1	1500.0
メ ッ ケ ル	1	3	33.3
消 化 管	1	2	50.0
骨	205	204	100.5
ガ リ ウ ム	9	9	100.0
P E T	654	734	89.1
そ の 他	178	155	114.8
合 計	2,602	2,685	96.9

その他：その他：131全身4件、肺換気29件、センチネルリンパ89件、
リンパ管シンチ2件、DATシンチ51件、ソフトスタチン3件

6. 放射線科使用装置の定格（豊田厚生病院）

令和4年4月現在

設置場所	装置（メーカー）		定格（kV、mA）		購入年月
第1撮影室	RADspeed Pro	島津	150/80	320/630	R03. 6
第2撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	R03. 3
第3撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H26.9 H20.1*1
第4撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H26. 9
第5撮影室	アミュレット イノバリティ	フジ	49/35	102/200	H28. 4
第6撮影室	AutoAZ3000CMR	アサヒ	100	15	H20. 1
第7撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H20. 1 *2
第8撮影室	Prodigy	G E	76	3	H24. 7
救急外来撮影室	UD150L-40	島津	150/80	320/630	H20. 1
	モバイルアートMUX-100HJ	島津	125	(200mAs)	H14. 1
泌尿器科撮影室	ウロスコープアクセス	シーメンス	150/81	630/800	H20. 1
結石破砕室	Delta II	ドルニエ	110	4	H20. 1
第1透視室	Sonialvision Safire	島津	150/80	500/1000	H20. 1
第2透視室	VersiFlex VISTA	フジ	150/63	320/800	R03. 9
第3透視室	KXO-80Z/MFX-8000A	東芝	150/100	500/800	H23. 3
血管撮影室	アズリオン	Philips	125/720	10/28.8	R03. 1
循環器撮影室1	トリニアスB8インチ	島津	125/100	800/1000	R01. 8
循環器撮影室2	トリニアスB12インチ	島津	125/100	800/1000	R01. 8
第1CT室	SCENARIO VIEW	日立	120/140	140/510	R02.12
第2CT室	SCENARIO	日立	120/140	140/510	H24.10
第3CT室	SCENARIO	日立	120/140	140/510	H24.12
第1MRI室	SKYRA	シーメンス	3.0テスラ		H28.11
第2MRI室	Area	シーメンス	1.5テスラ		H30.12
第3MRI室	Achieva R2	フィリップス	1.5テスラ		H22. 8
ガンマカメラ室	Infinia 3	G E横河			H20. 1
PET-CT室	Discovery ST Elite	G E横河	140/120	380/440	H20. 1
	Clinac iX	バリアン	15MeV		H20. 1
リニアック室	OBI	バリアン	125	80/20	H20. 1
	Light Speed RT	G E横河	140/120	380/440	H20. 1
シミュレータCT室 外科用イメージ	CiosSelect	シーメンス	110	(200mAs)	R01. 8
	WHA-200	島津	110	200/9	H23. 5
	OECBrivo Essential	G E	110	20	H25.10
	O-arm	Medtronic	140	100	R03. 1
手術室ポータブル	Tiara	フジ	130/40	320/200	R03. 3
2Fポータブル庫	モバイルアートEvolution	島津	125	(200mAs)	H29.10
3Fポータブル庫	Tiara	フジ	130/40	320/200	R03. 3
4Fポータブル庫	モバイルアートMUX-100HJ	島津	125	(200mAs)	H20. 1
感染病棟診察室	Tiara	フジ	130/40	320/200	R03. 3
健診胸部撮影室	RADspeed Pro	島津	150/80	320/630	R03. 6
健診マンモ撮影室	アミュレット イノバリティ	フジ	49/35	102/200	R04. 3
健診透視室1 I. I	DBA-2400A (KXO-50XM)	東芝	150/80	320/630	H18. 7
健診透視室2 I. I	DBX-6000A (KXO-50XM)	東芝	150/80	320/630	H17. 3
健診透視室3 F P D	FLEXAVISION	島津	150/80	320/630	H29. 4
歯科口腔外科	AZ3000	アサヒ	90	12	H11. 1
X線撮影室	GX-70	アサヒ	70	10	H11. 1

2. 臨床検査室

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 診療機能への貢献

- ・新型コロナウイルス感染症検査の抗原定性および抗原定量、遺伝子検査を計15,076件実施。
- ・新型コロナウイルス感染症検査の術前スクリーニング検査を4,754件実施。
- ・新型コロナウイルス感染症検査の検体採取は救急外来を除き概ね検査室スタッフが実施。
- ・自己血採取の中央化と自己血採血室の運用を確立し、年間368件の自己血採取を実施。
- ・病理・生理レポートについて未読既読管理、既読依頼を各診療科に実施。
- ・新型コロナウイルス検査繁忙期の土日の救急外来検体採取支援を実施。
- ・職員の出勤前コロナ検査（7:30～）に対応

2. 業務改善と効率化

- ・試薬・材料・消耗品の価格見直しを継続し、年間約300万円の削減。
- ・働き方改革による超過勤務削減を実施し、昨年度比18%（826時間）削減。
（令和2年度：4792時間→令和3年度：3966時間）
- ・献血アルブミン使用量削減に向けた啓発活動を行い、前年度比で使用量37%減。
（アルブミン製剤使用金額：608万円削減）

3. チーム医療および医療安全

- ・健康管理センターにおける土曜日稼働への支援体制を継続。
（エコー件数：平均28.3／日、検体件数：平均270.3本／日）
- ・ハイブリットOPE室でのTAVI実施に向けた担当者の育成。
- ・血管外科専用下肢血管エコーの予約枠を4枠／週 新設し医療提供体制を強化。
- ・システム更新に伴い、未読管理システムを構築し、病理・生理レポートの大幅な未読率低減を実現。
（病理未読率：0%、超音波検査未読率：0.1%）

4. 人材育成と施設認証

- ・術中脳脊髄モニタリングの件数増加に伴う対応技師を1名育成（4名→5名）。
- ・経食道エコーの対応技師を1名育成（4名→5名）。
- ・学会・研修会（WEB開催）にて7演題の発表及び7種10名が認定資格を取得。
（認定：日本神経生理学会専門技師（神経分野1名、脳波分野2名）、緊急臨床検査士2名、がんゲノムコーディネーター研修終了1名、認定心電図技師1名、超音波検査士2名、認定病理検査技師1名）
- ・ISO15189臨床検査室認定の更新審査（サーベイランス2）にて認定（認定番号：RML02250）。
- ・タスクシフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 実技講習カリキュラム17名修了。



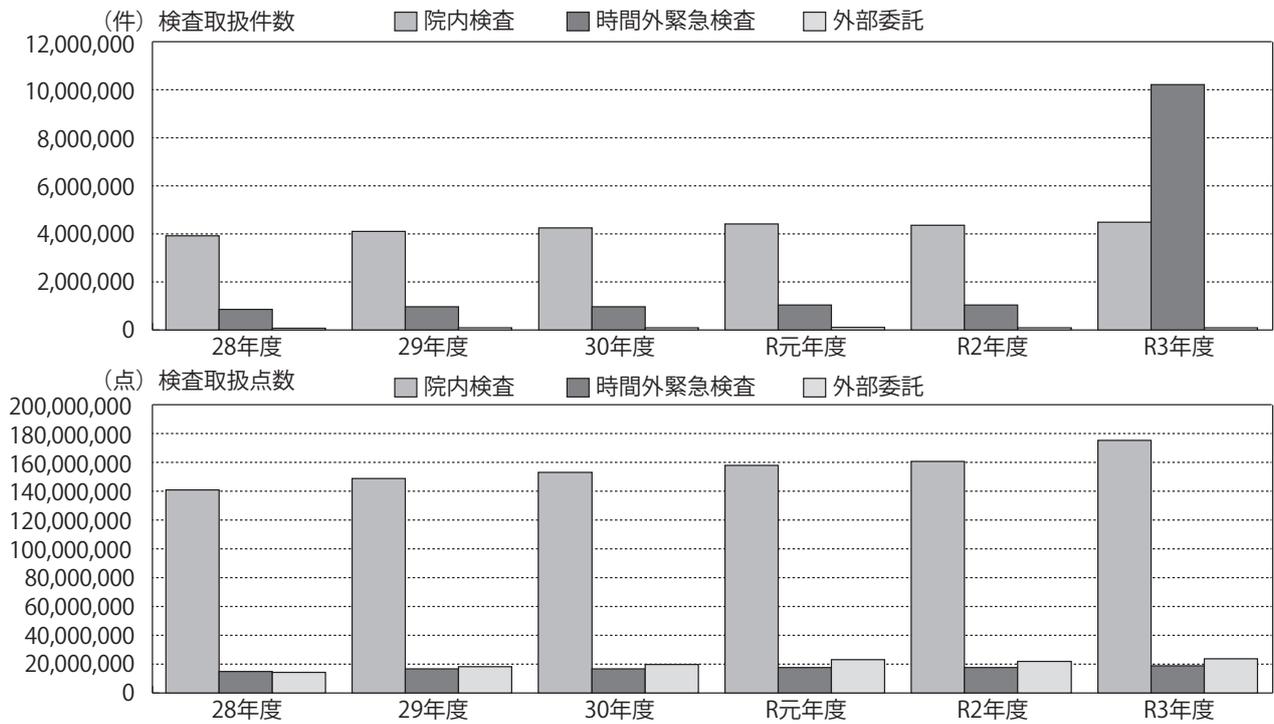
2. 令和3年度実績

1. 整備機器（高額医療機器および固定資産機器）

部署	機器名	機種名	メーカー	数量
輸血検査	血小板保存システム	PCSS-100-Pro PF15-Pro	フタバメディカル	1
血液一般検査	造血幹細胞数測定装置	BD FACSLyric	ベクトン・ディッキンソン	1
生化学免疫検査	血液ガス分析装置	ラピッドポイント500e	シーメンス	2
微生物遺伝子検査	リアルタイム濁度測定装置	Loopamp EXIA	栄研化学	1
病理細胞検査	パラフィン包埋装置	HistoCoreARCADIA	ライカ	1
病理細胞検査	臓器標本用真空包装機	HV-400	TOSEI	1
生理検査	汎用超音波診断装置	Aplio i800	キャノンメディカルシステムズ	1
生理検査	呼吸機能検査装置	CHESTAC 8900	CHEST	1
生理検査	心電図関連機器及びファイリングシステム	MBF-1000	フクダ電子	1

2. 検査取扱件数・点数

検査大項目	検査小項目	令和3年度件数	令和3年度点数
一般検査	尿	150,985	4,413,051
	便	25,645	1,050,354
	体液	3,519	72,994
血液検査	血液	463,549	10,527,194
輸血検査	輸血	58,026	2,900,942
臨床化学	化学Ⅰ	2,979,659	36,300,088
	化学Ⅱ	115,314	15,355,025
	血液ガス	34,951	4,858,189
	負荷試験	184	35,600
免疫検査	免疫	295,139	20,268,536
微生物検査	一般細菌	78,894	10,308,270
	核酸検査	8,320	9,442,470
	その他	2,993	0
病理検査	病理組織	11,876	11,908,910
	細胞診	12,172	2,278,224
生理検査	肺機能	15,702	1,530,300
	心電図	52,765	12,708,680
	超音波	38,468	23,181,080
	脳波	2,945	2,368,260
	その他	27,093	2,622,211
その他	採血・検体採取	120,630	3,727,980
	病理解剖	15	375,000
	検査外業務	772	0
院内合計		4,501,989	176,233,358
外部委託		95,419	23,919,267
総合計		4,597,408	200,152,625
時間外緊急検査		10,250,890	18,949,920



3. 外注検査依頼状況

S R L		令和3年度
保険収載分	件数	62,658
	点数	15,644,578
薬物濃度	件数	1,303
	点数	612,410
保険未収載	件数	1,317
	支払金額	4,035,073
B M L		令和3年度
保険収載分	件数	24,923
	点数	5,824,259
ファルコ		令和3年度
保険収載分	件数	5,188
	点数	1,790,020

* 外注の保険収載・薬物分は稼働点数、未収載は支払い金額を計上

4. 加算件数・点数

項目	令和3年度	
	件数	点数
時間外加算	7,413	1,482,600
入院初回加算	603	12,060
検体管理加算 I	104,112	4,164,480
検体管理加算 IV	1,121	560,500
外来迅速加算	70,621	3,189,170
病理診断料(加算Ⅱ含)	24,765	7,920,360
輸血管理料・適正加算 I	4,514	745,540
骨髄診断加算	231	55,440
国際標準検査管理加算	12,128	485,120
合計	225,508	18,615,270

5. 検査判断件数・点数

項目	令和3年度	
	件数	点数
尿	32,484	1,104,456
血液検査	86,762	10,845,250
臨床化学Ⅰ	87,713	12,630,672
臨床化学Ⅱ	30,653	4,414,032
免疫血清	63,987	9,214,128
微生物検査	15,133	2,269,950
遺伝子・染色体	701	70,100
病理細胞検査	1,431	214,650
生理検査	5,295	842,300
合計	324,159	41,605,538

6. 外部精度管理調査結果

調査年度	外部精度管理種類	評点
令和3年度	日本医師会	96.0点 D:0
令和3年度	日本臨床衛生検査技師会	A+B:251/255 C:0 D:4
令和3年度	愛知県臨床検査技師会	A+B:196/196 C:3 D:0

7. 臨床検査室認証・認定

認証・認定団体	令和3年度
日臨技精度保証施設認証	認証
日本臨床細胞学会施設認定	認定
日本臨床細胞学会教育研修施設認定	認定
日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度認証施設 (I&A)	認定
日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設	認定
ISO15189施設認定 (RML02250)	認定

8. 学会認定資格者

学会認定資格	令和3年度
超音波検査士	14名
細胞検査士	4名
輸血認定技師	2名
細胞治療認定管理師	1名
第1種衛生管理士	7名
衛生工学衛生管理者	1名
認定臨床化学者	1名
認定血液検査技師	3名
認定心電検査技師	1名
認定病理検査技師	2名
認定一般検査技師	1名
救急検査認定技師	3名
緊急臨床検査士	13名
二級臨床検査士 (病理学)	2名
二級臨床検査士 (微生物学)	4名
二級臨床検査士 (血液学)	3名
二級臨床検査士 (呼吸生理)	1名
血管診療技師	1名
術中脳脊髄モニタリング認定技術師	3名
専門技術師 (筋電図・神経伝導分野)	1名
専門技術師 (脳波分野)	2名
JHRS認定心電図専門士	6名
精度管理責任者	3名
認定サイトメトリー技術者	1名
医用質量分析認定士	2名
分析機器・試薬アナリスト	1名
リウマチ学会登録ソノグラファー	6名
ピンクリボンアドバイザー (中級)	1名
特化物及び四アルキル鉛等作業主任者	4名
睡眠健康指導士 (初級)	1名
検査説明・相談ができる臨床検査技師	5名

3. リハビリテーション室

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 教育活動として、臨床実習生の受け入れの取り組み

- ・リハビリ学生：8校11名 ・他職種の臨地実習協力：16名

2. 地域の支援活動

- ・介護認定審査会協力 【人数】1名派遣【期間】通年【頻度】2回／1か月
- ・JAあいち豊田報誌「グリーンボイス」健康の話へ投稿

3. 職員の資質向上

- ・部署内勉強会（全体会：4回／年、職種別勉強会：理学2回／年、言語6回／年、作業6回／年）
- ・他職種勉強会・研修会への講師派遣（院内）0回（院外）5回
- ・学会発表 1題（ST：0題、PT：1題、OT：0題）
- ・臨床実習指導者講習会修了者 PT：1名、OT：1名

4. 診療機能の充実

- ・特定集中治療室早期離床・リハビリテーション加算への参加協力の維持。
- ・脊椎手術、人工股・膝関節置換術の術前評価・指導に対して外来から関わりの継続。
- ・職員の増員（言語聴覚士1名）を図り、摂食嚥下リハビリテーションを充実。

2. 令和3年度実績

1. 部門別件数・単位数

			理学療法		作業療法		言語聴覚療法		
			外来	入院	外来	入院	外来	入院	
個 別 療 法	脳血管疾患等 リハ料	患者数	420	9,684	477	10,223	86	4,780	
		単位数	722	12,106	960	14,501	152	6,898	
	廃用症候群 リハ料	患者数	0	4,686	0	79	0	0	
		単位数	0	5,442	0	98	0	0	
	運動器リハ料	患者数	1,374	18,751	3,114	2,831			
		単位数	2,473	24,208	5,688	3,758			
	呼吸器リハ料	患者数	14	11,598	0	2,380	0	4,406	
		単位数	31	14,346	0	2,917	0	7,311	
	心大血管疾患 リハ料	患者数	559	7,213	0	55			
		単位数	1,116	9,147	0	57			
	がん患者 リハ料	患者数		714		0		0	
		単位数		884		0		0	
	早期加算				47,368		16,401		12,529
	退院前訪問リハ指導				0		0		0
退院時リハビリ指導				1,451		440		6	
リハビリ総合計画評価			363	2,962	374	544	16	41	
摂食機能療法								1,619	
件数合計			2,367	52,646	3,591	15,568	86	9,186	
単位数合計			4,342	66,133	6,648	21,331	152	14,209	
診療点数			977,980	17,307,885	1,399,680	6,071,895	41,920	4,098,595	

- ・心肺運動負荷試験 年間27件
- ・精密知覚機能検査 年間3件
- ・義肢装具採寸法・治療装具採型法 年間4件

2. 科別件数

	理学療法		作業療法		言語聴覚療法	
	外来	入院	外来	入院	外来	入院
内科	103	8,940	62	2,177	21	2,237
精神科						
脳神経内科	112	3,831	66	4,335	50	2523
呼吸器内科		3,719		844		514
消化器内科		2,594		318		324
循環器内科	156	6,406		268		511
小児科	1					1
外科	22	4,973	4	37		56
整形外科	1,406	7,623	3,301	1,214		172
形成外科	31	247	79	11		
脳神経外科		3,367	52	4,103	3	1,532
呼吸器外科		1,010		35		42
心臓外科	355	1,561		91		77
小児外科						
皮膚科		343		53		
泌尿器科		583		41		23
血管外科		205		35		6
乳腺科		77		28		31
産婦人科		268		6		7
眼科		11		6		
耳鼻咽喉科	61	193		45	12	101
放射線科						
麻酔科						
アレルギー科						
リウマチ科						
リハビリ科						
感染症科						
歯科口腔外科		27				70
消化器外科		1,949		95		49
内分泌代謝科		559		301		181
腎臓内科		781		359		293
膠原病内科						
血液内科		740		128		117
総合内科		1,196		507		179
健診科						
緩和ケア科						
肝臓内科		121		6		
脊椎外科	120	1,094	27	345		40
新生児科						
救急科		228		180		100
合計	2,367	52,646	3,591	15,568	86	9,186

4. 臨床工学室

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 特定医療機器における安全教育及び医療機器研修会の実施

- ・WEBを活用しYouTubeにて新規導入機器などの研修を行った。QRコード及びURLを利用することで自宅でも受講が可能となり受講者の増加に繋がった。また、アンケート結果から受講率、習熟度の確認が可能となった。

2. 血液浄化センターにおける災害対策

- ・近隣の透析クリニックと災害時における双方の患者受け入れ手順の共有と、地域連携を含んだ災害対策マニュアルを作成した。

3. 当室単独業務における患者認証システムへの取り組み

- ・CART（腹水濾過濃縮再静注法）における原腹水・濾過濃縮後腹水の受け渡し及び静注時における患者認証システムを構築した。

4. 資格取得及び学会発表・論文投稿の推進

- ・資格取得／体外循環認定士、集中治療認定臨床工学技士 各1名
- ・学会発表／発表6演題 パネリスト1回

5. 厚生連教育プログラムの作成

- ・血液浄化療法業務における厚生連教育プログラムの構築に取り組んだ。

6. ペースメーカー外来におけるチェック体制を臨床工学技士のみの対応に切り換えた。

7. Covid-19重症患者2名にECMOを施行し救命に貢献した。

8. タスクシフト・シェア

- ・内視鏡センターに臨床工学技士1名の常駐体制を確立した。

9. 増収に向けた業務運用への取り組み

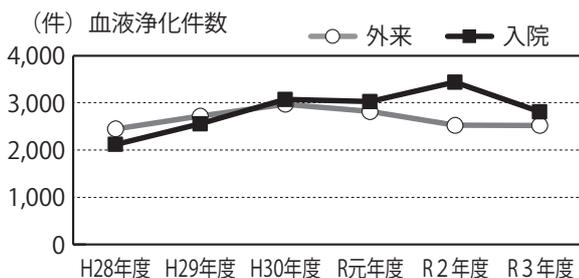
- ・高気圧酸素療法を、内・外科会にアピールすることで新たな対象患者を増やすことに繋がった。年間1,447件と過去最高であった昨年度から更に223件の増加となった。

2. 令和3年度実績

1. 血液浄化

件数

	件数
外来	2,512
入院	2,796
計	5,308
末梢血幹細胞	12
腹水濾過濃縮	24
シャントエコー	12,299



浄化法別分類

	件数
血液透析 HD	3,365
血液濾過透析 I-HDF	1,767
ECUM	82
血漿交換 PE	35
血液吸着 DHP	1
持続血液浄化療法	60

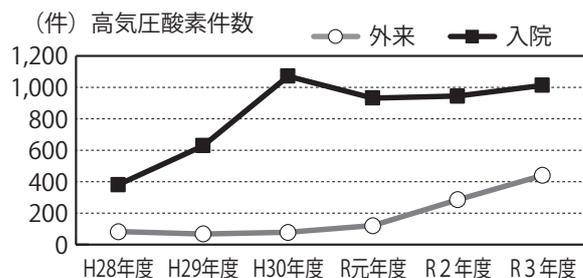
患者動向分類

	件数
新規導入	97
急性浄化	23
他院転入	292
転出	351
死亡 慢性	19
死亡 急性	8

2. 高気圧酸素

件数

	件数
外来	438
入院	1,008
計	1,446



科別分類

	件数
内科	212
外科	237
整形外科	19
耳鼻科	563
口腔外科	15
泌尿器科	183
皮膚科	54
形成外科	81
その他	81
計	1,446

疾患別分類

	件数
突発性難聴	548
急性末梢血管障害	37
骨髄炎	90
一酸化炭素中毒	25
腸閉塞	195
空気塞栓	7
難治性潰瘍	122
放射性膀胱炎	170
脊髄神経疾患	126
放射線壊死	15
抹消循環障害	37
その他	104
計	1,446

3. 心臓カテーテル

件数

	件数
緊急症例	276
予定症例	941
計	1,217

心カテ分類

	件 数
PCI	385
CAG	807
アブレーション	396
3D mapping	396
ペースメーカー交換	22
ICD 新規	3
ICD 交換	6
CRTP 新規	3
CRTP 交換	0
CRTD 新規	2
CRTD 交換	1
体外式ペースメーカー	450
IABP	908
PCPS	21
ペースメーカーチェック	5,816

4. 自己血回収術件数

科別分類

	件 数
心臓外科	108
血管外科	20
整形外科	149
その他	6
計	283

5. 心臓血管外科

緊急・非緊急

	件 数
緊急症例	15
予定症例	91
計	106

症例分類

	件 数
虚血性心疾患	48
弁膜症	41
大動脈疾患	21
その他	7
計	117

6. 脳神経外科・耳鼻科・整形外科 Navigation

科別分類

	件 数
脳外科	42
耳鼻科	22
整形外科	166
計	230

症例分類

	件 数
腫瘍	39
クリッピング	1
FESS	20
頸椎固定	166
その他	4
計	230

7. 集中治療補助

件数

	件 数
診療支援業務	3,197

分類

	件 数
人工呼吸器管理	2,811
血液浄化	187
補助循環管理	114
超音波検査	85
計	3,197

8. 機器管理

修理件数

	件 数
院内修理	844
委託修理	31
計	875

修理機器分類

	件 数
心電図モニター	164
人工呼吸器	5
輸液ポンプ	155
血圧計	84
パルスオキシメーター	58
血液浄化関連装置	143
その他	266
計	876

機器点検件数

	件 数
点検件数	43,231

5. 栄養管理室

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 医療提供体制の充実

- ・新型コロナウイルス感染防止に基づく食事提供、栄養食事指導体制の継続
- ・ICUにおける早期栄養介入管理体制づくりのための準備
- ・市民公開講座の開催（新型コロナウイルス感染拡大により中止）

2. 医療安全の充実

- ・HACCP制度化に向けた衛生管理の実施

3. 人材育成

- ・厚生連栄養士会相互啓発研修会における新人教育プログラムの活用研修会への参加
- ・部署内勉強会（管理栄養士：9回／年）
- ・学会・研究会発表9題（管理栄養士）
- ・藤田医科大学病院共同研究参加（参加施設9医療機関）
「生活習慣病を伴う複数疾患を有する高齢者に対する栄養療法支援アプリ作成に関する研究」

4. 地域の支援活動

- ・JA機関紙への投稿
- ・JA料理教室への講師派遣（新型コロナウイルスの感染拡大により中止）

2. 令和3年度実績

1. 令和3年度 食事提供数

①患者食

	食数(食)	比率
常食	145,387	34.0%
軟食	75,161	17.6%
流動食	1,364	0.3%
特別食 A	135,137	31.6%
特別食 B	70,653	16.5%
合計	427,702	100.0%

②賄食

	食数(食)
職員食	85,718
付添食	0
合計	85,718

2. 令和3年度 疾患別栄養食事指導件数

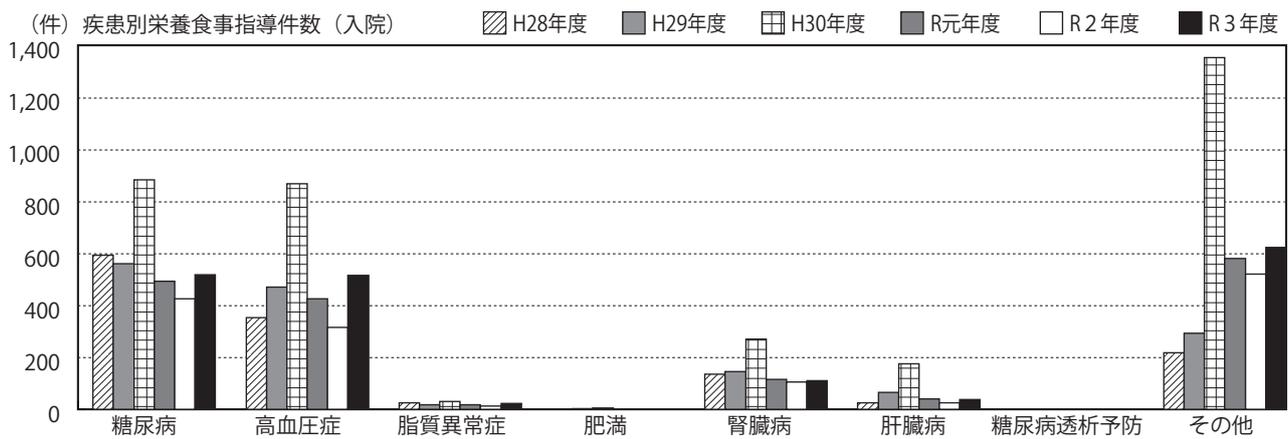
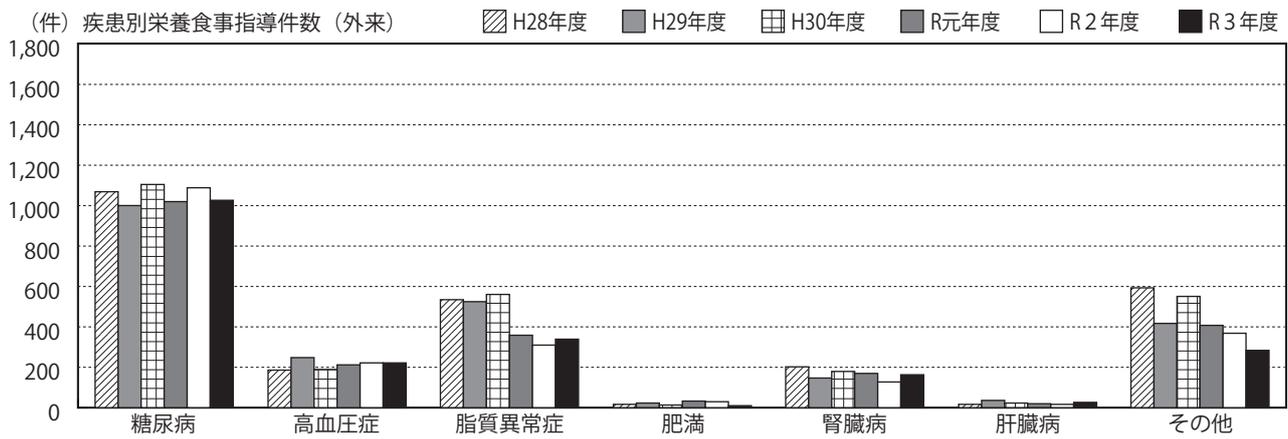
①個人栄養食事指導

	外来(人)	入院(人)
糖尿病	1,023	553
心臓・高血圧症	218	550
脂質異常症	337	22
肥満	9	0
腎臓病	162	116
肝臓病	25	38
糖尿病透析予防	282	0
その他	74	666
合計	2,130	1,945

②集団栄養食事指導

	(人)
糖尿病	45
腎臓病	0
ワンポイント講座	0
市民講座	0
合計	45

市民公開講座およびワンポイント講座：
新型コロナウイルスの感染拡大により中止



3. 令和3年度 院外活動

①JAあいち豊田料理教室

	(回数)	(人)
松平教室	7	36
保見教室	16	117
高橋教室	24	201
三好教室	12	77
合計	59	431

4～7月は新型コロナウイルスの感染拡大により中止。

8～10月は新型コロナウイルスの感染拡大によりレシピのみ提供（講師派遣中止）。

4. 認定資格者

認定資格	令和3年度
NST専門療法士	2名
臨床栄養代謝専門療法士	1名
日本糖尿病療養指導士	5名
病態栄養専門管理栄養士	4名
在宅訪問管理栄養士	2名
在宅栄養専門管理栄養士	1名
給食用特殊料理専門調理師	1名
病院調理師	3名

6. 薬剤部

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 診療機能の充実

- ・通院治療センターにおける服薬指導の充実
 - 患者指導件数は1,439件行い、うちがん患者指導管理料は277件算定した
連携充実加算は248件算定した。
- ・入退院支援センター業務体制の整備
 - (入退院支援センター全介入患者の持参薬報告書作成、入退院支援センターにおける薬剤師の業務手順の確立、薬剤部面談場所の一元化、持参薬外来開設への取り組み)
 - 令和3年11月に一部診療科に対象を限定して持参薬外来を開設、各科と協議のうえ診療科毎のプロトコルを作成した。令和4年2月には対象を全診療科に拡大した。令和3年4月時点で予定入院の入院前持参薬報告書作成率は63.9%であった。

2. 治験業務の充実

- ・院内治験コーディネーターを利用した治験受託件数の増加（4件/年）
 - 新型コロナウイルス感染症の流行の影響もあり、治験受託件数は0件であった。

3. 医療情報システム更新の実施

- ・電子カルテ更新における追加機能の確認と選定
 - 電子カルテのパッケージ更新であったため、そこまで大きな追加機能はなかった。薬剤アレルギー登録を標準コードの上7桁で行うよう設定し、抗菌薬使用届を電子カルテシステム内で制御するようにした。
 - 病院の承認を得て、カスタマイズにより、一般名処方マスタがある薬剤について、全例算定が可能となるシステムを導入した。
- ・部門システムメーカー移行における現行機能維持と円滑な新規機能導入
 - 部門システムメーカーは株式会社ユヤマに決定した。既存の有用なシステムは可能な範囲で残しつつ、調剤過誤防止システムをはじめとした機能追加を行った。切替当初、一部混乱はあったが、及第点であったと考える。

4. Quality Indicator

- ・退院指導実施率（退院指導患者数/入院実患者数）の推進（目標実施率50%）
 - システム更新のあった9月を除く月では実施率50%を達成。（通年の退院指導実施率は48.7%）

5. 病棟薬剤業務の充実および薬物治療管理の推進

- ・PBPM（プロトコルに基づく薬物治療管理）の推進と拡充
 - 令和2年度の病棟業務におけるPBPM件数3,049件に対し、令和3年度は5,126件と大幅に増加することが出来た。
- ・ポリファーマシー対策の推進と拡充
 - 薬剤総合調整加算（5.67件/月）、薬剤調整加算（3.33件）と目標を達成した。
- ・病棟薬剤業務における医薬品情報室との連携強化
- ・PMDAへの副作用報告（5件以上/月）
 - 1年間で36件PMDAへ副作用報告を行った。
- ・プレアボイド報告（20件以上/月）

- 1年間で247件プレアボイド報告を行った。
- ・手術室/ICUにおける薬剤師常駐化への準備
 - 手術室/ICU担当者の教育の一環として、病棟担当者及び手術室担当者間でのミーティングを実施した。

6. 認定・専門資格取得の推進および教育体制の整備

- ・各種専門・認定薬剤師の資格取得への指導・教育
 - 各種専門・認定薬剤師資格取得のため、講習会および学会等に参加した。
 - 日本医療薬学会医療薬学指導薬剤師 1名合格
 - 日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師 1名合格
 - 日本臨床腫瘍薬学会外来がん治療認定薬剤師 2名合格
 - 日本循環器学会心不全療養指導士 1名合格
 - 日本アンチ・ドーピング機構公認スポーツファーマシスト 1名合格
 - 日本糖尿病療養指導士 2名合格
 - 日病薬病院薬学認定薬剤師 1名合格
- ・認定実務実習指導薬剤師の育成（実務実習生受け入れ）
 - 近隣大学より計7名の実習生を受け入れ、病院での薬剤師業務と関係職種との連携について教育を行った。実習受け入れ病棟を拡充し、学生を指導できる薬剤師の養成に努めた。
- ・厚生連薬剤師会教育担当者部会における新人教育資料の作成
 - 「検査値とバイタルサインの見方」「医療用麻薬と疼痛コントロール」の章を担当し作成した。

7. 病院薬剤師連携および薬 - 薬連携の強化

- ・患者情報の提供及び共有化の拡充と推進
 - 退院指導とともに、年45件の退院時薬剤情報連携加算の算定を行った。
- ・地域薬学ケア専門薬剤師制度における連携研修の運用確立
 - 今年度は連携研修初年度であった。始めに院内関係部署への周知を行い、研修要件となっている月3回の実地研修を業務に支障を来たすことなく実施できた。

8. DPCに向けた取り組み

- ・機能評価係数I 後発医薬品指数の維持（後発医薬品使用割合80%以上）
 - 後発医薬品使用割合については令和3年4月で82.0%から令和4年3月で83.6%となっており、後発医薬品使用体制加算2（80%以上）の算定を継続して達成している。

9. 供給室（SPD）の管理体制の充実

- ・誤接続防止コネクタに係わる国際規格の導入
 - 来年度の切り替えに向け、切り替えに向け問題点などの情報収集と現在採用している製品の代替候補の洗い出しを行った
- ・医薬品の管理強化（規制医薬品、高額医薬品等）
 - キュービックスを利用し、高額冷所医薬品の管理を行った。規制医薬品に関しては、卸しと協力し早期の在庫確保に努めた。また一時的な供給停止の薬品に関しては、在庫状況に応じて医薬品情報室と協力し使用制限等対応を行った。
- ・医療材料の在庫管理強化（消耗品材料のコスト削減、定数見直し等）
 - 償還価改定が無く償還材料の値下げは小幅なものとなった。コロナ禍で大幅な値上げとなったPPEについて、価格交渉を進め元の価格に戻りつつある。また、国からの衛生材料支給品を有効活用することで費用の抑制を行うことが出来た。
- ・不動薬品および不動材料の整理及び削除

- 不動薬品として2品目を採用中止。
- 期限切れ材料は原則定数を削除し、3ヶ月の材料の払い出し歴から定数の減少を担当看護師に提案した。
- ・物流システム活用の充実
 - 9月に物流システムを更新した。更新前6件、更新後16件のシステム修正を行った。不具合の修正と機能の充実によって無駄を省き、効率的に業務を行うことが出来るようになった。

2 令和3年度実績

薬剤部は医薬品および医療材料の安定供給、適正な在庫管理とともに安全かつ適正に使用するために下記の事項に取り組んだ。

1. 医薬品情報提供

例年同様、院内医薬品情報誌「DI-Newsくすりの時間」と医薬品情報一元化システム「JUS-DI」の充実に努めた。適時院内メールや電子カルテTodo機能を用いて、速やかに必要な情報提供を行った。薬事委員会の事務局業務も行い、審議資料作成から議事進行補助まで鋭意実施している。昨年に引き続き、医薬品の安定供給に非常に問題のあった1年ではあったが、その影響が最小となるよう、迅速な対応に努めた。

2. 病棟業務

服薬指導件数として21,093件/年行った。積極的に処方提案等を行いPBPM件数5,126件とプロトコールに基づく薬物治療管理の拡充することが出来た。また、プレアボイド報告も月平均20件を達成することができた。

2月より、緊急入院の持参薬報告を病棟にて作成する運用を開始し、初回面談等を効率的に行うことが可能となった。

3. 調剤業務

調剤時にバーコード認証を導入し調剤過誤防止に努めた。また、当直帯の1人調剤時はバーコード認証に加え重量チェックを導入し、薬品間違いと数量間違いの防止に努めた。

向精神薬について追跡調査を実施し薬品の適正管理に努めた。

供給不安定となった薬品に関しては、各部門および卸業者と連携を図り在庫の確保及び代替薬の確保に努めた。

4. 持参薬管理および入退院支援

入退院支援センター（17番・20番）での常駐を開始し、担当スタッフとの連携強化に努めた。入退院支援センターの介入対象診療科の拡大および持参薬外来の開設により、入院前の介入件数が増加した（入院前面談件数：令和3年4月482件→令和4年3月547件）。それにより、入院時の持参薬報告書作成に係る時間の短縮を図ることができた（持参薬報告業務時間：令和3年4月137.5時間→令和4年3月96.3時間）。

また、令和4年2月より予定外入院患者の持参薬報告書を病棟で担当者が作成することで病棟担当者が持参薬をより把握できるように運用変更した。（令和3年3月 予定外入院持参薬報告書の病棟作成率85.6%）

5. 注射調剤

部門システムを利用し調剤・監査の正確性と効率性の向上に努めた。不動在庫の有効利用により経済面での効果向上に努めた。注射薬の個人別セット業務を通して適正な注射薬品の使用推進に努めた。後発薬品が使用できない場合の先発薬品への処方変更や手技・用法の修正等のPBPMに取り組んだ。供給不安定となった薬品に関しては、各部門および卸業者と連携を図り在庫の確保及び代替薬の確保に努めた。

6. 薬品・医療材料の管理

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う、個人防護具の供給不足に対して、現時点での確保状況を共有フォルダで公開し、毎日更新を行った。卸業者の協力および政府からの供給資材を有効に活用することで、致命的な供給不足を回避することができた。また、新型コロナウイルスワクチンの接種に関して、コミナティ、スパイクバックス、小児用コミナティの納入・保管・調製を適切に行い、円滑に接種をすすめることができた。

7. 化学療法業務

連携充実加算を全がん種の患者に対して算定可能な体制とし、院外の薬局へ抗がん剤治療に関する情報提供をできるように努めた。年間248件算定した。

アブラキサンやパクリタキセルなど供給不安定な薬品が生じたが、医薬品情報室・薬品管理室・化学療法委員会と連携して、適正に薬剤を使用できるように努めた。

8. ICT（感染対策チーム）・AST（抗菌薬適正使用支援チーム）への参加

病棟薬剤師との情報共有をもとに抗菌薬ラウンドや血液培養ラウンドに参加し抗菌薬適性使用の評価も行った。加えて、感染防止対策加算、感染防止対策地域連携加算の対象となるカンファレンスに参加した。これら定期的に開催されるカンファレンスなどだけでなく、ICT・ASTの一員として感染対策室、微生物検査室等と随時連絡を取り合い院内の感染対策および抗菌薬適正使用に関与した。

9. 治験管理室業務

■GCP、各種倫理指針に則り、適正かつ効率的な治験、臨床研究等の実施に取り組んだ。

＜治験＞新規受託治験0件

＜臨床研究等＞新規医学系研究実施審査47件

特定臨床研究5件

症例報告審査4件

■その他

- ・厚生労働省の臨床研究倫理審査委員会報告システムに当院の治験倫理審査委員会の委員名簿、会議の記録の概要、手順書等を更新した。
- ・がん診療連携拠点病院等の整備に伴い病院ホームページを企画室と連携して作成・更新した。

10. 実務実習

長期実務実習3～4期（各11週間）、計7名の実習生を受け入れ指導にあたった。

	2期(5/24～8/8)	3期(8/23～11/7)	4期(11/22～2/13)
名古屋市立大学			1
名城大学		3	2
愛知学院大学		1	



11. 教育

新型コロナウイルス感染症のため薬剤師勉強会はWebを利用し5回開催した。

開催月	参加者	講 師	対 象
4月	72名	腎臓病薬物療法専門薬剤師	院内外薬剤師
7月	46名	スポーツファーマシスト（吉田整形外科病院）	院内外薬剤師
10月	50名	内分泌・代謝内科病棟部長	院内外薬剤師
12月	42名	脳神経内科外来部長	院内外薬剤師
2月	50名	がん専門薬剤師	院内外薬剤師

7. 看護部

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 看護の質向上へ向けた取り組み

1) 信頼される看護サービスの提供

長期目標：急性期医療に対応できる看護師による質の高い看護の提供
根拠あるアセスメント（判断）を基に看護実践できる

(1) 新人教育体制の構築

①新人看護師ローテーション勤務の導入

②新人教育の視点に沿ったOJTの実施

ローテーション勤務を3か月施行

新人アンケートの結果ではローテーションで「自分の希望する部署を見つけることができた」は77%であり、92%が第3希望までで配属できた。「報告・相談しやすい状況だった」は90%以上であり、「スタッフから積極的に声かけしてくれる」も100%であった。指導者側のアンケートでもそう思う、とても思うが90%以上の回答であり、ローテーション期間の環境は良かった。

早期離職はなく、10月に1名3月に1名の2名退職であり。離職率は3%であった。しかし、ローテーション勤務を行うことで、夜勤導入が遅れた。

(2) 実践者を育てる部署内教育の構築

①事例を通して看護力を育てる体制づくり

- ・全体像を把握し患者のニーズをとらえる
- ・カンファレンスを活用し、受け持ち患者の計画立案・修正・実践と評価
- ・パートナーと協働

教育委員会小チームの取り組みとしてラダーⅢ保有者のラダーⅢ受審者への支援のために係長が動機付けを行い、看護実践の振り返りや倫理カンファレンスの実施を促した。

②院内認定コースの定着

膀胱留置カテーテルの合格者257名。看護部全体では4割の取得。1年間で尿道損傷のアクシデントはなかった。

③各部署での専門性に応じた看護（スキル）の獲得

全部署で1～2項目テーマを決め学習会・シミュレーションなどの取り組みを実施した。（24部署、29項目）評価としてスタッフより「自信につながる」「不明な点が理解できた」などプラスの意見が聞かれた。

(3) 看護の質の向上

①不必要な身体拘束をなくす

身体拘束実施までの正しい手順の認知率は3～4割、身体拘束を行わないためのケア（三つの原則）については1割以下であったため、全スタッフに周知。その結果、全スタッフが各部署での身体拘束を行わなくてよくなるためのケアを考え記述することができた。

スタッフが考えたケアを実施。各部署1～3項目の取り組みを実施できた。結果、コロナ前の2019年度との比較で、重症度、医療・看護必要度の基準Ⅱ越え率は37%→40.3%に上昇しているにも関わらず、身体拘束率は15.8%→13.6%に低下した。退院時ADL低下率も7.27%→5.4%に低下。取り組み当初、転倒・転落事故発生のリスク増加を心配したが、転倒転落率は2.23%→1.99%と低下した。転倒転落率が上昇しなかったのは、そのリスクを意識し、身体拘束実施の有無のアセスメント力が向上したと評価できる。



2. 労働条件・業務改善に向けた取り組み

1) 働きやすさを実感できる職場環境

長期的目標：夜間看護配置12対1（一般床4人夜勤）、看護補助加算25対1の取得

(1) 看護職員の確保と定着

①夜間看護配置12対1の取得

新人の見習い夜勤者数の調整や患者数の傾向を考え、一旦12対1取得に踏み切ったが、患者数が増加したため要件を満たせなくなった。

②看護助手・クラークの増員と定着

7月看護助手の承認会を実施、高校訪問、看護助手のパンフレットを作成し募集活動に活用した。高卒新卒3名の採用ができた。

(2) 時間外労働の改善

①効率的な情報収集

効率的な情報収集ができるように看護記録の書き方のルール化と周知を行った。

②日勤業務に合わせたマンパワーの活用

セル看護方式を参考に、効率よく必要な看護を提供するためにムダを無くす改善を行った。

(2020年度から継続中)

③動線のムダ

受け持ち看護師の割振りの工夫や、必要物品のセッティング（電子カルテの屋台化）を係長会を中心に施行。結果、スタッフの主観では身体的な負担の軽減化が図れた。また歩数調査を5月、令和4年2月に実施。病床利用率が86.7%→92.2%に上昇するが、歩数は5月926歩/時/人→2月942歩/時/人と増加は見られず。積極的に取り組みを進めいた部署では最大で151歩/時/人の減少ができた。

④看護スタッフの配置のムダ

業務量やリスクの高低に合わせ、委員会の開催時間や休憩時間の調整、フリー業務を見直しスタッフ一人当たりの受け持ち患者数を少なくするなどを実施した。結果、休憩時間の調整は病棟100%実施、食事中のアクシデント事例はなくなった。スタッフ一人当たりの受け持ち患者数は7月最小値5.4人、最大値7.8人→11月最小値4.4人、最大値6.5人に減少した。

その結果、スタッフ一人当たりの月平均超過勤務時間を比較すると2019年度は5:12に対し取り組み開始以降の2020年度3:46、2021年度は3:57と減少している。新型コロナウイルスの対応状況にも変化があるため単純比較が難しい状況であるが故、取り組み個々の成果の積み重ねを重視し継続する。

(3) コロナ対策の整備

①感染症病棟の運用整備

②コロナ対応に関連した業務の整備

2年間を通し、他部門も含め運用が定まった点を組み込んだ運用をもとに感染症病棟運用マニュアルを整備している。引き続き評価修正を行う。

③コロナ対応に関連した勤務体制の整備

8月より課長・係長から一般スタッフへの勤務を開始した。これにより課長の勤務は解除となり、係長は重症度に合わせた増員要員として運用した。コロナ入院病棟の重症度が高くなった際は、3人目として各部署の係長を加えて、呼吸器管理ができる人材を感染症病棟に配置する等柔軟な対応ができた。各部署で感染症病棟勤務経験者が増えたことで勤務表を部署固定に戻し、同部署複数名での対応を可能とし夜勤回数の問題をある程度解消することができた。試行錯誤しながら感染症病棟・4C病棟の患者数と重症度に対応した柔軟な勤務による人の配置ができた。

2. 令和3年度実績

1. 合同就職説明会

日程	名称	参加人数
7月10日	マイナビ	66人
2月12日	マイナビ就職	87人
12月9日	マイナビセミナー撮影	
合計		153人

2. 学内説明会

日程	名称	参加人数
4月23日	豊田地域看護専門学校	30人
12月18日	日本福祉大学	32人
12月11日	学芸大学（リモート）	80人
12月21日	愛知県立大学（リモート）	26人
12月24日	人間環境大学（リモート）	25人
1月29日	椋山女学園大学（リモート）	17人
1月末	修文大学（リモート）	不明
3月5日	豊橋創造大学（リモート）	23人
合計		233人

3. 就職説明会・施設見学会

日程	参加人数
7月31日	3人
8月7日	7人
8月21日	10人
8月28日（リモート）	15人
11月23日 愛北看護専門学校	18人
1月22日（リモート）	7人
2月26日（リモート）	9人
3月12日	23人
3月26日	24人
合計	116人

4. インターンシップ

日程	参加人数
8月	59人
3月	68人
合計	127人

5. 学生・実習生受け入れ状況

①中学生体験

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

②高校生体験

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

高校名	参加人数
三好高校	1人
松平高校	9人
足助高校	29人
豊田東高校	18人
豊野高校	7人
合計	64人

③看護学生

学校名	日程	人数(延人数)
加茂看護専門学校	1年生	3日間 41人(123)
	2年生	31日間 40人(1,240)
	2年生 訪問看護	11日間 9人(99)
	3年生	104日間 43人(4,472)
豊田地域看護専門学校	3年生 訪問看護	71日間 31人(2,201)
	2年生 小児	9日間 10人(90)
	内科	18日間 13人(252)
	3年生 小児	43日間 24人(1,001)
日本赤十字豊田看護大学	内科	48日間 25人(1,196)
	2年生 基礎	4日間 30人(120)
日本赤十字豊田看護大学	4年生 成人	13日間 35人(455)
日本赤十字豊田看護大学	4年生 統合	3日間 4人(12)
日本福祉大学看護学部	3年生 小児	16日間 21人(336)
日本福祉大学看護学部	3年生 母性	10日間 10人(100)
日本赤十字豊田看護学部	訪問看護ステーション	17日間 8人(136)
人間環境大学	4年生 国際看護	5日間 4人(20)
名古屋学芸大学		7日間 15人(105)
穂の香看護専門学校		60日間 2人(120)

6. 看護職員採用状況

(令和4年4月1日採用者)

新卒看護師	既卒看護師	合計
71名	5名	76名

7. 看護職員退職状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日退職者)

平均看護師数	退職者数	離職率
634	69	10.88%
新人看護師数	退職者数	新人離職率
65	2	3.07%

8. 医療安全管理部

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. インシデントレポート集計・分析

インシデントレポート件数は総数5,128件、臨床検査室は325件で41件増加、栄養管理室は150件で87件増加してはいるが、全体数で見ると昨年度より390件減少した。（主に診療部302件で41件、看護部3628件で351件減少、事務部38件で41件減少）3bレベルは16件で昨年度より10件減少（詳細薬剤1件、治療・処置4件、医療機器1件、検査1件、療養上の世話9件）。療養上の世話は主に転倒転落によることが多く看護師が関係する。医療安全看護部会が転倒転落の予防対策についての取り組みを継続していくことは必要である。また、各部署のインシデントを分析・対策を検討し情報をフィードバック（お便り・セーフティニュース）していることが結果としてアクシデントを減少させたと考える。コロナ禍での対応で忙しい中、インシデントレポートの減少は見られたがアクシデント報告が減っていることは医療安全文化が醸成されつつあるのではないかと考える。

2. 医療安全対策地域連携加算ラウンド

新型コロナウイルスを鑑み令和3年度の医療安全対策地域連携加算ラウンドはWeb開催となった。

ラウンドが実施できない為、各施設で取り組んだ対策の内容及び自病院のラウンド結果を報告した。

日時は11月18日（木）16:00～17:00

参加施設は、トヨタ記念病院、豊田西病院、豊田厚生病院

3. M&Mカンファレンス開催

7回／年 開催。各部門から参加していただいた。

死亡診断書の内容誤り事例が2事例あり、診療録委員会と今後の改善策の検討、患者対応困難事例3事例から病院としての対応の振り返り・検討が必要な事例もあった。また、セーフティニュースを活用した周知活動は継続していく必要があると考える。

4. 啓発活動の実施

令和2年度に新型コロナウイルス感染防止に鑑み研修方法を変更せざるを得ない状況となり、今年度も全体研修はe-ラーニング研修とした。参加率は99%、受講者はスムーズに実施することができ感想も前向きなものが多かった。

内容については法律に関することであった為、実践と照らし合わせながら興味深く受講できたのではないかとと思われる。今後希望する研修については、外部講師の研修も受けてみたいとの意見もあり、感染動向を踏まえ外部講師の全体研修や医療事故ワークショップの内容を検討していきたい。そのような中で医療安全フォーラムは、患者誤認防止対策の強化を目的とし事前に患者誤認防止についての活動に取り組んでいただくようアナウンスしたことで、取り組んだ内容が各部署で起こり得ることであり共有しやすかったと思われる。患者誤認防止対策についてはマニュアルが周知されておらず正しい行動が取られていない現状が把握できた。このことから医療安全管理室で再度正しい患者確認行動について周知していく必要があると判断した。

専任会議ではインシデントレポートから情報を共有しパトロールを実施。その結果を各部門へフィードバックし対策を講じた。主な活動として患者誤認防止パトロールの監査用紙の見直し周知活動、産婦人科外来診察室と放射線治療室の診察室に手すりを設置することができた。また、クレームにつながった外来の掲示板の現状調査から、各担当部署に改善対応をしていただいたなどが挙げられる。

5. 医療事故対応（事例検討会）の実施

7回事例検討を実施



6. 医療事故調査制度にともなう死亡患者の確認

医療事故調査制度の対象事例はなし。

7. マニュアルの整備

第1章・2章・5章・6章 組織図変更に伴う修正

第6章 行動制限ガイドライン・転倒転落ガイドライン追加・修正

第7章 医療安全対策 各部門編 追加・修正

第11章 医療安全対策 診療部編 追加・修正

2. 令和3年度実績

1. インシデント報告件数（令和3年度）

所属部署別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
診療部	38	24	41	26	24	29	22	25	20	17	18	18	302
臨床研修部	16	24	19	33	24	19	15	17	12	16	52	70	317
放射線技術科	4	2	5	6	5	4	6	5	10	8	5	5	65
臨床検査技術科	18	39	45	34	29	20	25	25	25	26	23	16	325
リハビリテーション技術科	1	8	5	6	3	2	4	4	9	4	3	4	53
臨床工学技術科	3	2	1	1	2	1	5	4	1	2	2	1	25
栄養科	20	5	9	12	14	15	17	13	18	12	7	8	150
薬剤科	12	9	9	11	6	13	4	3	7	9	4	9	96
看護部	298	258	401	345	303	301	303	261	302	358	246	252	3,628
事務部	5	2	5	5	3	4	2	1	3	0	2	6	38
地域医療福祉連携部	8	3	3	9	10	8	5	2	5	9	6	5	73
保険事業部	2	4	3	4	1	1	1	4	4	0	1	2	27
その他	0	2	2	8	0	2	0	0	1	5	7	2	29
合計	425	382	548	500	424	419	409	364	417	466	376	398	5,128

内容分類別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
薬剤	132	98	205	168	124	150	149	111	130	155	113	130	1,665
輸血	3	11	4	9	7	5	4	4	1	2	3	3	56
治療・処置	6	49	51	52	56	48	30	36	44	37	57	49	569
医療機器等	14	12	16	7	7	7	13	10	13	21	10	11	141
ドレーン・チューブ	27	37	46	46	47	33	23	37	38	37	36	40	447
検査	57	79	102	83	70	52	72	71	62	78	50	50	826
療養上の世話 (転倒転落)	70 (28)	56 (27)	73 (33)	86 (40)	73 (33)	68 (35)	69 (35)	62 (36)	69 (28)	82 (40)	75 (36)	64 (33)	847 (400)
その他	文書・書類	26	15	21	23	15	18	18	11	22	19	13	220
	情報管理	33	22	20	24	21	34	30	16	32	32	17	306
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	意見・クレーム・暴言暴力等	2	3	10	2	4	4	1	6	6	3	2	6
合計	425	382	548	500	424	419	409	364	417	466	376	398	5,128

2. M&Mカンファレンス開催件数・参加人数

月・日	参加人数	月・日	参加人数
4月28日	18名	9月29日	18名
5月26日	15名	10月20日	15名
7月28日	15名	3月23日	18名
8月25日	26名		

3. 教育活動内容

1. 研修企画：実践

4月5日	新入職者研修	9月1日	薬剤部研修
4月8日	看護部新人研修	10月1日	中途採用職員研修
4月12日	研修医研修	12月6日	薬剤部研修
6月24日	ラダーⅠ研修	12月9日	ラダーⅢ研修
7月8日	ラダーⅡ研修	1月25日	看護補助者研修

2. 第32回全体研修開催 上半期 全体研修会

内容：セーフマスター（インシデントレポート）のeラーニングを活用

医療と法 第1章 医療と法	第5章 医師・看護師・医業
第2章 安全管理の重要性	第6章 薬剤と法
第3章 医療と責任	第7章 説明義務
第4章 医療従事者に関する法律	第8章 個人情報保護法

期間：令和3年7月12日（月）～令和3年8月13日（金）

参加：1,535名（参加率99.0%）

3. 医療事故ワークショップ

新型コロナウイルス感染防止に鑑み中止

4. 第13回 医療安全フォーラム

目標：各部署が自部署事例の分析を行い、対策を見出し、改善に取り組むことが出来る

発表：取り組みは全部署であるが、発表は令和3年度担当部署

方法：発表内容の冊子配布・電子カルテTOP画面掲載

期間：令和4年1月11日（火）～令和4年2月11日（金）

参加：1,477名（参加率99.5%）

※興味をひいた取り組み内容の部署

1位	救命救急センター	コロナに振り回されない!! ～患者誤認防止への取り組み～	425票
2位	臨床検査室	患者誤認防止に向けた取り組み	354票
3位	3C病棟	体幹抑制のすり抜けをなくす取り組み	333票

5. 院内パトロール実施

6月18日	時刻確認パトロール
9月17日	リストバンド装着確認パトロール
11月15日	患者確認パトロール

6. 医療安全推進週間（11月25日～12月1日）

全職員の名札に黄色リボンを付け医療安全推進週間の意識付けを行う

目的：「患者の安全を守るための共同行動（PSA）」の一環として、医療機関や医療関係団体等における取り組みの推進を図り、またこれらの取り組みについて国民の理解や認識を深めていただくことを目的としている（厚生省ホームページより抜粋）

対象：全患者、全職員

内容：患者向け⇒患者相談窓口・診療放射線室・臨床検査室・医療安全管理室からパネル出展
1階外来通路（医療安全推進週間期間中）

職員向け⇒11月30日、12月1日 展示

○認定看護師

認知症看護認定看護師 認知症と転倒転落について
 緩和ケア認定看護師 ACP 人生会議について
 特定行為看護師 ご存知ですか？特定行為

○各部署

診療放射線室 MRI検査を受ける時の注意事項
 臨床工学室 ①小型シリンジポンプ インシデント事例&解説 ②New人工呼吸器紹介
 感染制御部 新型コロナウイルス感染症 ～これまでの当院の取り組み～
 企画室 コロナワクチン接種報告
 患者相談窓口 コロナが招いた医療・看護の質の低下
 医療安全管理室 改善報告キラリ☆多

参加：819名（参加率53.9%）

7. 専任者ラウンド

4月15日 感染ごみ分別確認
 7月15日 院内にある掛け時計の時刻確認 現状把握
 11月2日 医療安全相互ラウンド 自病院チェック（HCU病棟・5B病棟）
 1月20日 外来における（転倒につながる）危険個所確認
 2月3日 外来掲示板の現状把握

掲示物発行：医療安全情報（医療事故情報収集等事業） セーフティニュース、看護部お便り1回／月

9. 感染制御部

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 新型コロナウイルス感染症対応

①感染症病棟・一般病床COVID-19エリア

流行当初より行政の要請を受け、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応病床を設置している。病床数は愛知県のフェーズに合わせて対応、感染症病棟と一般病棟のCOVID-19エリアを確保している。病床数の増加に伴い、COVID-19対応をする職員も増えたため、ゾーニングの徹底、個人防護具の適切な着用、物品の管理などが確実に実施できるよう介入を行った。

②発熱者等対応外来

救命救急センターの一角に発熱者等対応外来を設置し、COVID-19が疑われる患者の対応を実施している。ゾーニングの徹底、関係スタッフへの個人防護具の適切な使用、環境の整備、屋外検査場の設置など、院内で感染拡大が起きないように取り組んだ。

③感染対策の徹底

全職員に対し、手指衛生の徹底や個人防護具の着脱手順などが確実に実践できるよう、手順書などの整備、介入を行った。

④院内感染防止の取り組み

看護部門・診療協同部門・事務部門など、各部門と連携を図り、院内感染が起きないよう院内の環境を整備した。

⑤院内クラスターへの介入

接触者調査を実施し、濃厚接触者の把握、ゾーニングの実施、PCR等の検査を積極的に実施することで、早期に収束できるよう介入を行った。

⑥管轄保健所との連携

管轄保健所からの受診要請を受け入れるため、帰国者接触者外来を設置している。帰国者接触者外来では管轄保健所と連携を図りながら、COVID-19の診療がスムーズにできるよう対応した。また、COVID-19入院患者の状況報告も毎日実施した。

⑦地域医療機関との連携

クラスター発生した介護施設への訪問、感染対策（ゾーニング、個人防護具など）について実践指導介入、支援を行った。

2. リンクナース活動の充実

リンクナースの感染対策に関する知識の充足を図るため、勉強会を開催（6月、9月）し、それぞれの部署で伝達講習を実施した。参加率はほぼ100%を達成できた。また、院内パトロールチーム、標準予防策チーム、血液体液曝露チームに分かれ、グループ活動を展開した。擦式アルコール製剤の消費量調査、手指衛生の直接観察法も継続して実施、令和2年度はコロナ禍で擦式アルコール製剤の消費量が増加したが、令和3年度は前年度より減少した。今後も継続して取り組んでいく。

看護部新人研修では、リンクナースが中心となって教育活動を展開した。手指衛生の手技、個人防護具の着脱方法、廃棄物の処理方法などを実践指導し、新人看護師が現場に配属された後すぐに感染対策を実践できるような研修内容となった。

2. 令和3年度実績

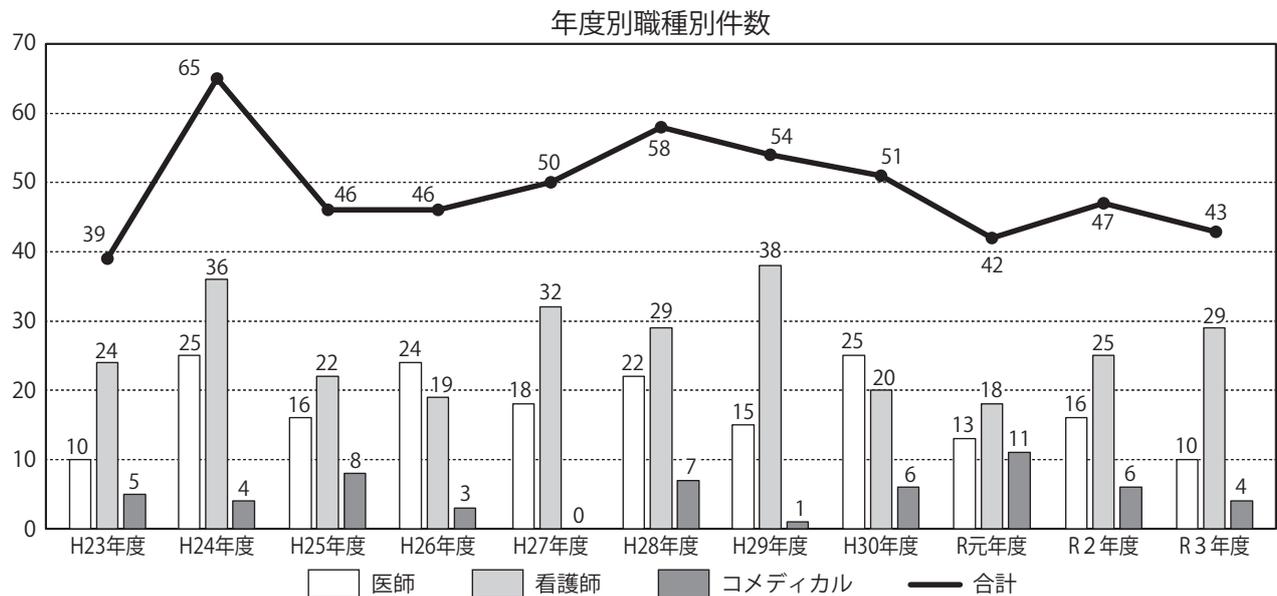
1. 教育活動

開催月日	研修会名
令和3年4月5日	新入職員研修（全職種対象）「院内感染対策の実際」

4月9日	新入職員研修(看護師対象)「感染対策の概要」「針刺し、血液・体液曝露防止対策の実施と事故後の対応」他
4月12日	研修医研修「針刺し・粘膜曝露について」
令和3年5月6日	新人薬剤師研修「無菌調製～感染対策の観点から～」
令和3年6月9日	リンクナース会「リンクナースの役割」
令和3年7月9日 7月17日他	眼科外来(医師・視能訓練士対象)「院内感染対策の基本(手指衛生)」 臨床検査技師研修(外部)「COVID-19に係るワクチン接種のための筋肉内注射実技研修」
令和3年9月8日 9月6日 ～9月24日	リンクナース会「環境整備を考えよう」 第23回院内全体講演会(全職員対象) 「デルタ株の脅威と感染対策」(オンライン開催)
令和3年10月1日 10月19日 10月26日	中途採用者研修(全職種対象)「院内感染対策の実際」 クラーク研修会「クラーク業務に潜む感染リスクと対策」 看護助手研修会「看護助手業務に潜む感染リスクと対策」
令和3年11月4日	看護部ラダーⅡ研修「デバイス関連感染・手術部位感染」
令和3年12月6日	看護部ラダーⅠ研修「標準予防策・感染経路別予防策」
令和4年2月16日 ～3月9日	第13回豊田感染症フォーラム(全職員対象) 「新型コロナ時代の感染対策と抗菌薬適正使用支援」(オンライン開催)

2. 針刺し・切創・粘膜曝露対策

針刺し・切創・粘膜曝露についてのデータ収集を前年度より継続して実施した。令和3年度は、43件/年(100稼働病床あたりの針刺し件数7.0)の事例が発生し、前年度(47件/年)よりやや減少したものの、全国平均(100稼働病床あたりの針刺し件数6.7)を上回った。針刺し・切創曝露率が高い職種に対し、勉強会を実施し介入した。



3. 地域連携

＜感染防止対策加算Ⅰ・Ⅱカンファレンス＞

開催月日	内 容	主 催
令和3年4月21日	錯塩殿感染症の総括と今年度の活動について	トヨタ記念・豊田厚生共同開催 (Teams会議)
6月16日	新型コロナウイルス感染症の現状整理と予防接種のおさらい	トヨタ記念病院 (Teams会議)
8月18日	新型コロナウイルス感染症COVID-19に関する現状整理と予防接種のおさらい	トヨタ記念病院 (Teams会議)

10月20日	J-SIPHEのご紹介 参加施設の活動報告「SSIサーベイランス結果報告」 新型コロナウイルス感染症～当院のこれまでの取り組み～ 新型コロナウイルスの最近の動向と対策	豊田厚生病院（Zoom会議）
12月15日	参加施設の活動報告「プレパンデミックワクチンについて考える」 抗菌薬・消毒薬の使用状況報告	豊田厚生病院（Zoom会議）
令和4年2月16日	耐性菌の検出状況について	トヨタ記念・豊田厚生共同開催 （Zoom会議）

〈感染防止対策加算 I × I ラウンド〉

新型コロナウイルス感染症流行のため、令和3年度は実施なし。

4. ICTラウンド（毎週金曜日）

毎回テーマを絞って、病棟・外来系のラウンドを実施。

- 4月…環境整備（ミキシング台の環境、滅菌物の管理等）
- 5月…環境整備（ゾーニング、嘔吐物の処理等）
- 6月…手指衛生（アルコール手指衛生）
- 7月…手指衛生（流水と石けんでの手洗い）
- 8月…个人防护具（防護具着脱手順）
- 9月…手指衛生（医師・薬剤師のアルコール手指衛生）
- 10月…血流感染（刺入部の観察、側管注射の手技）
- 11月…デバイス関連感染（尿道留置カテーテルの管理、吸引時の防護具）
- 12月…環境整備（滅菌物の管理、ミキシング台の環境）
- 1月…環境整備（ゴミの分別、ゾーニング）
- 2月…手指衛生（アルコール手指衛生、流水と石けん手洗い）
- 3月…手指衛生（医師・看護助手のアルコール手指衛生）

5. 血液培養ラウンド（毎週水曜日）・抗菌薬ラウンド（毎週木曜日）

・血液培養ラウンド

血液培養陽性：1,106例に介入　うち血流感染：39例

・抗菌薬ラウンド

107症例に介入



10. 地域医療連携課（地域医療連携係）

急性期病院として期待される要望事項の把握に努め、地域医療機関との交流を密にし、地域医療連携がスムーズに行えるように受け入れ体制を充実させる。

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 地域医療機関との連携強化

①地域医療機関への表敬訪問の実施（93件）

- ・新たな地域連携パスの運用開始、また、当院独自の「脊椎圧迫骨折術後の骨粗鬆症地域連携パス」「心不全地域連携パス」の運用開始に伴い、副院長、各代表部長と医療機関への訪問を行った。また、紹介患者数が少ない診療科が関わる医療機関へ紹介依頼も行った。

②連携医療機関の当院広報誌への情報掲載

- ・年間4回4医療機関ごと登録医、連携医合わせ計16医療機関を掲載した。

③6大がん地域連携パス受け入れ医療機関拡大

- ・開業医訪問の際、新規届出および追加届出依頼を行うとともに、届出未医療機関との連携パスを希望する患者が発生した場合、新規届出依頼及びパス説明の訪問を行った。（令和3年度実績345件で愛知県内の医療機関で2年連続第1位）

2. 勉強会・交流会の開催等

① 地域連携勉強会の開催

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

② 豊田厚生病院地域医療支援病院運営委員会開催・令和3年4月21日（水）（令和3年度第1回）WEBおよび書面開催

- ・令和3年7月21日（水）（令和3年度第2回）WEBおよび書面開催
- ・令和3年10月20日（水）（令和3年度第3回）WEBおよび書面開催
- ・令和4年1月19日（水）（令和3年度第4回）WEBおよび書面開催

③ 令和3年5月 第24回 豊田厚生地域医療連携交流会開催

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

④ 令和3年10月 令和3年度 豊田加茂地域医療連携交流会

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑤ 令和3年度 豊田加茂医師会・豊田厚生病院合同CPC

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

⑥ 乳腺勉強会

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2. 令和3年度実績（地域医療支援病院運営委員会資料より抜粋）

①登録医数・登録医療機関数（令和3年度末）

	登録医数	登録医療機関数
医 科	271	209
歯 科	166	151
合 計	437	360

②紹介関連実績

	地域医療連携係 取扱件数	紹介率※
医 科	29,068	73.9%
歯 科	2,461	

※地域医療支援病院紹介率

③逆紹介関連実績

	当院文書作成件数	紹介率※
医 科	24,034	96.4%
歯 科	1,958	

※地域医療支援病院紹介率

④紹介の地域医療連携課経由の有無

連 携 課 経 由	24,670
連 携 課 経 由 外	6,859
延 紹 介 患 者 数	31,529
経 由 割 合	78.2%

⑤診察紹介患者の入院実績

診 察 紹 介	29,265
入 院（再 掲）	6,662
入 院 割 合	22.8%

⑥科別紹介関連実績

診 療 科	計	内 訳	
		外 来	入 院
内 科	7,279	5,675	1,604
脳神経内科	971	863	108
呼吸器内科	752	542	210
消化器内科	1,499	1,162	337
肝臓内科	126	106	20
循環器内科	1,879	1,461	418
内分泌代謝内科	403	350	53
腎臓内科	353	286	67
膠原病内科	57	57	0
血液内科	169	138	31
総合内科	184	140	44
精神科	243	241	2
小児科	1,108	793	315
外科	2,557	1,991	566
血管外科	141	110	31
乳腺外科	244	204	40
小児外科	1	0	1
整形外科	2,125	1,670	455
脊椎外科	275	192	83
形成外科	710	587	123
脳神経外科	595	440	155
呼吸器外科	529	493	36
心臓外科	240	225	15
皮膚科	1,043	914	129
泌尿器科	1,275	965	310
産婦人科	1,045	728	317
眼 科	772	469	303
耳鼻咽喉科	1,505	1,284	221
放射線科	869	868	1
麻 酔 科	47	45	2
歯科口腔外科	2,461	1,840	621
合 計	31,529	24,867	6,662

⑦科別逆紹介関連実績

診療科	計	内 訳		
		紹介元へ	紹介元以外へ	当院患者を紹介
内 科	6,992	5,052	259	1,681
脳神経内科	1,157	863	36	258
呼吸器内科	412	180	3	229
消化器内科	1,389	1,137	80	172
肝臓内科	91	75	6	10
循環器内科	2,722	2,231	53	438
内分泌代謝内科	1,142	70	862	210
腎臓内科	442	261	19	162
膠原病内科	36	3	0	33
血液内科	220	113	0	107
総合内科	293	149	3	3
精神科	213	59	37	37
小児科	379	188	3	188
外 科	2,574	2,357	49	168
血管外科	140	121	4	15
乳腺外科	73	47	4	22
消化器外科	86	45	2	39
整形外科	2,029	320	57	1,652
脊椎外科	165	86	10	69
形成外科	463	359	12	92
脳神経外科	424	166	10	248
呼吸器外科	15	4	3	8
心臓外科	371	307	8	56
皮膚科	511	314	40	157
泌尿器科	361	96	17	248
産婦人科	235	45	4	186
眼 科	550	309	40	201
耳鼻咽喉科	740	718	3	19
放射線科	903	896	3	4
麻酔科	15	6	0	9
歯科口腔外科	1,905	1819	2	84
合 計	27,048	18,396	1,629	7,023

⑧地域別紹介件数

豊 田 市	23,102
みよし市	3,800
二次検診	982
そ の 他	3,645
合 計	31,529

⑨インターネット予約システム利用状況

地域医療連携課経由	22,450
インターネット予約（再掲）	7,885
インターネット予約割合	35.1%

⑩高度医療機器利用実績

内容	計	内 訳	件 数
放射線関係	1,353	CT	772
		MRI	487
		RI	9
		PET-CT	4
		骨密度	79
		上部消化管透視	0
		下部消化管透視	2
内視鏡・生理検査関係	1,269	上部内視鏡	132
		下部内視鏡	212
		腹部超音波	203
		心臓超音波	320
		甲状腺超音波	104
		頸動脈超音波	78
		その他超音波	26
		脳波	4
合 計			2,622

※その他の超音波は下肢血管

※その他はホルター心電図・トレッドミル・神経伝導検査・肺機能検査など

⑪開放病床(25床)利用実績

紹介患者延利用日数	1,652
利 用 率	18.1%

⑫地域連携勉強会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止となった。



11. 地域医療連携課（在宅支援コーディネーター係）

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 部署内の協力・応援体制の強化に関する取り組みと成果

①専任・専従の業務内容を理解する

- ・専従看護師は病棟専任業務を1日研修し、退院支援カンファレンスの準備及びファシリテーターを習得、担当専任の休日時に代役が行えるように体制を整えた
- ・病棟専任看護師は専従看護師に依頼した事例を通して退院支援の調整方法を学び得た
- ・お互いの業務を理解、習得することで、業務継続計画（BCP）の一步を踏み出した

②専任・専従の業務を見える化する

- ・病棟専任特殊マニュアルの見直し・修正
- ・専従業務マニュアルの作成（以下12項目の退院調整方法について新たに作成）訪問診察、訪問看護、訪問薬剤師、経管栄養、在宅酸素、自己導尿、持続陽圧呼吸療法、在宅人工呼吸器、ケアマネジャー・介護タクシー、人工肛門・人工膀胱、褥瘡・吸引・HPN、腹膜透析
- ・病棟専任・専従看護師のスケジュールにおいてホワイトボードを用いて見える化し応援体制の強化を図った
- ・応援体制・協力体制の評価

2. 退院支援の質向上に関する取り組みと成果

①在宅移行カンファレンス用紙の統一

- ・患者・家族の希望を中心に据えた多職種カンファレンスが標準化して行えるような様式を作成した。さらに電子カルテに取り込んだことで、多職種が患者の希望を把握して上での専門的視点による情報入力や閲覧が可能になった。

②退院時共同指導料・多機関共同指導加算の見える化

- ・退院時共同指導料・多機関共同指導加算の見える化及び診療報酬算定要件の勉強会を実施したことにより、退院時共同指導料、多機関共同指導加算ともに収益の増収に繋がった。

③新規訪問看護への依頼を見える化する

- ・スタッフが患者の希望や病状に合わせた訪問看護ステーションへの調整を意識して意思決定支援を行うようになり、豊田厚生訪問看護ステーションの機能強化型1の取得の貢献に繋がった。

④パートナーと協働し退院支援を実践する

- ・PNSを取り入れ、専従と専任のペアで年間パートナーを決定した。退院支援のプロセスの勉強会を開催し知識を得た上で、パートナーと実践した事例を振り返り、部署で事例発表会を開催した。事例実践・発表後の学びとして、専任から専従へと協働して退院支援を行っていることを実感でき、退院支援プロセスにおける多角的視点でアセスメントができ、より良い他院支援に繋がったとスタッフの評価を得た。

3. 地域の関係機関との連携強化

【豊田市市役所】

- ・豊田市訪問看護育成センターの講師 2回/年

4. 地域クリニカルパス推進

【脳卒中地域連携パス運用会議】年3回開催

- 令和3年8月26日 「2021年度地域連携診療計画の評価と見直しについて」Web開催
- 令和3年11月18日 「地域連携診療計画の評価と見直しについて」Web開催
- 令和3年3月18日 「2020年度急性期病院実績報告」Web開催

【大腿骨頸部骨折地域連携パス運用会議】年3回開催

- 令和3年6月24日 「新規参加病院承認と会議名称変更について」Web開催
- 令和3年10月14日 「コロナ禍における各施設の対応」Web開催
- 令和3年3月4日 「急性期病院実績報告」Web開催

5. 在宅支援コーディネーターとしての質向上とキャリアアップ

- 「令和3年度介護報酬改定における退院支援の活用」勉強会 12名参加
- 「豊田訪問看護師育成センタースキルアップ研修 新型コロナウイルス自宅待機者への対応」 2名参加
- 「高齢者福祉研究会2021年Zoom開催」 1名参加
- 「退院支援3段階プロセス」勉強会 12名参加
- 「一緒に学ぼう在宅看取りの第一歩Zoom開催」 3名参加
- 「第11回日本在宅看護学会学術集会Zoom開催」 1名参加
- 「第1回地域包括ケア推進看護連携検討会研修Zoom開催」 1名参加
- 「ケアマネ交流会Zoom開催」 発表者1名・参加者2名
- 令和3年度愛知県介護支援専門員更新研修 1名
- 令和3年度訪問看護職員養成講習会 講師
加茂看護専門学校 授業講師
- 第7回豊田厚生病院がん看護基礎研修会講師
- 看護技術研修会 講師
- 心不全療養指導士取得 1名
- 「日本地域看護学会第25回学術集会Zoom開催」 1名参加

2. 令和3年度の実績

看護師4名、MSW1名で、新規870件（前年度比114.0%）の退院調整を行った。

疾患分類でみると悪性新生物が403件で依頼の46.3%を占め、がん患者の在宅療養の調整件数が増えている。

さらに、医療処置を抱えての在宅療養を希望される件数が増えており、多職種との在宅移行カンファレンスを開催することで、患者・家族の希望を中心に据えた退院支援の質の向上の取り組みの成果として、多機関共同指導加算は75件（前年度比197.3%）と増えている。

病棟専任看護師7名が、8,131件（前年度比105.3%）の退院支援計画書を作成し、患者の退院支援を行った結果として、入退院支援加算1の算定の増加に繋がった。また、ケアマネジャーとの連携における退院支援の質の向上の成果として197件（前年度比102%）介護支援等連携算定件数が増加した。

退院支援カンファレンスは病棟専任看護師が中心となり、定期的な開催と必要に応じた臨時開催ができる体制づくりの継続ができています。また、コロナ禍であり、専従看護師が病棟専任業務を習得し、休日時の代役を行う応援体制の取り組みは、業務継続計画（BCP）の一步を踏み出した。

①退院調整対応件数

	R3年度
新規件数	870件
継続延べ件数	255件
合計	1,125件

②疾患分類

	R 3 年度
新 生 物	403件
神 経 系	76件
循 環 器 系	110件
呼 吸 器 系	83件
消 化 器 系	56件
そ の 他	142件

③退院時転帰先

	R 3 年度
在 宅	490件
転 院	75件
施 設	14件
死 亡	75件
合 計	654件

※外来患者の対応件数を除く

④退院支援計画書・介護支援連携

	R 3 年度
入退院支援加算 1	8,131件
地域連携診療計画加算	302件
介護支援等連携	197件
多機関共同指導加算	75件

⑤地域連携パス件数

	R 3 年度
大腿骨頸部骨折	108件
脳 卒 中	194件
胃 が ん	50件
胃 が ん (E S D)	6件
大 腸 が ん	117件
乳 が ん	107件
肝 臓 が ん	1件
肺 が ん	44件
前 立 腺 が ん	20件
在 宅 緩 和 ケ ア	20件
認 知 症	34件
BKP術後骨粗しょう症	4件
C K D	1件
心 不 全	13件
脳 卒 中 2 次 パ ス	3件
合 計	722件

12. 医療福祉相談課（兼がん相談支援センター）

令和3年度は、相談件数が飛躍的に増加した年であった。

対前年比に見る相談件数は実人数で111.5%、総対応件数では122.3%と過去最大とあってよいほどの伸び率であった。新規依頼件数では112.7%（2,670件）と令和2年度より300件程度増えている。病院利用者数はそれほど増えていないが、ソーシャルワーカーの介入を必要とする患者が増えている。令和2年度から増えている身寄り無し患者など、患者を取り巻く社会背景が複雑化していることで入院から退院までに支援が必要な事柄が増えている影響と考えられる。

社会のニーズに合わせた形で取り組み始めた就労と治療の両立支援では、予想よりもニーズが少なく、対象疾患の拡大や運用する診療科の見直しなどの課題も残っている。

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 後方病院や在宅関係機関との連携強化

- ・後方医療機関や施設とは定期的に話し合いを行い、よりスムーズな転院や施設入所ができるように運用の見直しを行っている。DPCⅡ期を明記することで、DPCⅡ期の最期の日程くらいでの転院にも努めている。ただ、そもそも依頼のあった時点でDPCⅡ期に余裕がない時は、期間内での転院は難しい事例も多かった。状況確認をすると、そもそも病態が不安定で特別にMSWの依頼が遅いというわけでもなかった。
- ・コロナ蔓延による転院延期については、情報交換を密にしていたため、隔離解除後はかなりスムーズに転院できている。
- ・行政関係の会議では、豊田市の地域包括ケアシステムの基盤整備として成年後見支援センターの運用見直しや市民後見人の養成などへの継続的な協力は行っている。また、会議の中で身寄りのない単身者問題についても言及し、同じ会議の部会として取り上げていただけたこととなった。

2. キャリアアップへの取り組み

- ・ケアマネジャーの受験、両立支援コーディネーターの取得、がん相談支援センター相談員基礎研修会など、スタッフの状況に合わせて一步上の資格等の取得に取り組んだ。ケアマネジャーに関しては、研修に高雅な自費負担が発生するため、試験までで実務研修は受けさせていない。がん相談支援センター相談員基礎研修会は、選考漏れとなってしまった。
- ・両立支援コーディネーターは受講が出来たため、両立支援の算定を取るための基盤整備に繋がっている。

3. 部署内の体制整備

- ・BCPを意識した体制作りとして、急な休みが発生しても業務継続が出来るような話し合いを行っている。担当者個人が対応している患者の進捗を毎日書いて保存。誰が見てもわかるように一人一人が担当者票を作成した。コロナ罹患による休職を想定していたが、体調不良が原因で休む職員もいたため、日常の運用での活用も出来ている。
- ・ただ、ここ数年は依頼件数が増加傾向であり、昨年度は依頼件数が特に大幅増加しており、休みが重なると人員的に即日での対応が出来ない案件も多く見られた。従来の業務に対しての人員の確保も急務になってきている。

4. 地域医療福祉部門内への協力

- ・一昨年度に訪問看護ステーションが期限ぎりぎりまで加算要件を満たせずにいたこともあり、退院支援部門会を通じて居宅介護支援事業所と訪問看護ステーションの加算状況について報告と意識付けを行っている。その結果、早期の加算要件の達成をすることが出来た。
- ・退院支援加算Ⅰの件数確保のため、在宅支援コーディネーター係とは退院支援部門会で話し合いを継続

し、効率的な運用の見直しは常に行っている。数字で見れば、前年度と同様の数字となっているが、患者にお渡ししている退院支援計画書の中身については少しずつ充実できるように努めている。

5. 両立支援算定への取り組み

- ・医事課、入退院支援センター、医療福祉相談課でプロジェクトを組んで運用を検討。運用開始にあたり、医師の協力が得やすく、件数もいきなり多くなりすぎないように婦人科を選んで協力を依頼。年度内に2件の対応依頼があり、そのうち1件は算定に結び付いた。その後の件数が増えていないため、状況を確認すると高齢者が多く、そもそもの対象者に繋がりにくいことがわかり、次年度に対応診療科を増やす方向で進めることとした。

2. 令和3年度実績

1. 援助内容別対応件数

援助内容	R3年度		R2年度	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
1. 心理・社会的処遇	388	1.2%	221	0.9%
2. 治療と療養生活	585	2.0%	523	2.1%
3. 家族関係・在宅生活	329	1.1%	286	1.2%
4. 受診・入院	617	2.1%	450	1.8%
5. 退院・転院	24,972	83.3%	20,206	82.5%
6. 医療費・生活費・経済	1,177	3.9%	1,093	4.5%
7. 手続き・診断書・保険	1,726	5.8%	1,603	6.5%
8. 職業等社会生活	11	0.04%	21	0.1%
9. その他	152	0.5%	86	0.3%
合計	29,957	100.0%	24,489	100.0%

2. がん相談支援センター 援助内容別対応件数

援助内容	R3年度		R2年度	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
1. 治療・療養生活等	2,869	77.5%	2,049	73.9%
2. セカンドオピニオン	17	0.5%	11	0.4%
3. 治療実績・受診・入院・退院・医療機関紹介	517	14.0%	452	16.3%
4. 医療費・生活費・社会保障制度	192	5.2%	196	7.1%
5. 不安・精神的苦痛・告知・コミュニケーション	47	1.3%	39	1.4%
6. その他	59	1.6%	27	1.0%
合計	3,701	100.0%	2,774	100.0%

3. 関係機関との会議等への参加状況

豊田市要保護児童・DV対策協議会、愛知県児童虐待対応医療機関連絡会、豊田加茂児童虐待等関係機関連絡調整会議、地域連携パス会議（脳卒中・大腿骨骨折・在宅緩和ケア）、豊田市地域密着型包括支援ネットワーク会議【書面開催】、豊田市成年後見・法福連携推進会議、豊田市身寄り無し独居者検討部会、難病ネットワーク三河ブロック連絡員会議【Zoom開催】、愛知県難病医療協議会・連絡員合同会議、難病対策協議会（豊田保健所）【書面開催】、保健所・難病医療ネットワーク連携会議、認知症医療連携協議会、豊田市母子医療保健福祉ネットワーク会議、豊田市精神障がい者地域支援協議会、EM-PASS情報交換会、救急隊と医療・福祉合同研修、愛知県がん診療連携協議会相談支援部会、みよし市包括支援センター交流会等

4. 地域貢献

- ・愛知県医療通訳派遣システム 講師派遣
- ・名古屋刑務所視察委員会 委員派遣
- ・豊田市成年後見センター市民後見人養成講座 講師派遣
- ・豊田市訪問看護育成センター 講師派遣
- ・愛知県医療ソーシャルワーカー協会新任者養成委員会 委員派遣
- ・愛知県医療ソーシャルワーカー協会学生研修委員会 委員派遣
- ・実習生対応（他職種含む） 等

5. 患者会開催状況（事務局を医療福祉相談課が対応しているもの）

- ①オストミー友の会（人工膀胱・人工肛門患者会）—事務局 医療福祉相談課
 - ・第37回 オストミー友の会
 - コロナウィルスの流行により、開催中止
 - 代替として会員に日常生活の工夫のパンフレットを送付
- ②ひまわり会（在宅酸素療法患者会）—事務局 医療福祉相談課
 - ・第44回 ひまわり会
 - コロナウィルスの流行により、開催中止
 - 代替として会員に日常生活の工夫のパンフレットを送付



13. 豊田厚生訪問看護ステーション

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

- (1) 豊田市、愛知県の在宅医療・福祉連携推進計画への協力及び参加を通し、ステーションの普及啓発、人材育成、多職種連携の強化の取り組み継続。
 - ① 豊田加茂訪問看護ステーション協議会参加

隔月1回の部会はZoomで開催。感染対策時の対応や物資の供給窓口など、情報共有や検討議案等の協議を実施。市内の小集団活動員として多職種連携チームの活動における意見交換会に参加。
 - ② 豊田訪問看護師育成センタースキルアップ研修「2021年介護報酬改定及び活用方法を学ぼう」
「新型コロナウイルス自宅待機者への対応」愛知県訪問看護ステーション協議会主催「利用者の思いをつなげるACPの推進」「診療報酬改定研修会」豊田加茂医師会「多職種合同ブロック研修会、みんなで繋ぐ地域包括ケアシステム～事例検討を通じて顔の見える関係づくり～」等、愛知県及び豊田市の地域での研修会へ参加。
 - ③ 愛知県訪問看護ステーション協議会主催「訪問看護管理者研修」アドバイザー

管理者研修参加者に対して、GAP分析から自部署での取り組み対策の作成までの年間フォローを実施。事業所での1日実習受け入れとアドバイス、自部署での取り組み対策立案まで年間を通しサポート実施。
- (2) 訪問看護の質向上に向けた取り組み
 - ① PNSを活用した、カンファレンスの実施

「新規利用者」「状態変化時のケアカンファレンス」「ターミナルケアカンファレンス」などパートナーと実施した。「デスクンファ」「インシデントカンファレンス」は全体で実施し今後の課題や対策等の検討を行った。利用者への個別対応や統一した看護ケアの提供などに役立てることに繋がった。インシデント対策は、全体のシステムや個人対応時の注意事項として意識できた。
 - ② パートナー勉強会の開催

必要な学習会の洗い出し後に、年間計画作成し以下の6テーマの学習会を開催した。
「糖尿病認定看護師によるフットケア」「在宅人工呼吸器の管理と在宅での急変時対応」「褥瘡予防マットの種類と特徴・利用者への説明のロールプレイ」「在宅領域におけるACP～もしバナカードを使って～」「学生指導～プロセスレコードで振り返る～」「ターミナルケア加算に必要な要件について～訪問看護記録に必要な事項～」
デモンストレーション・ロールプレイ等の工夫ができ参加型の勉強会が実施できた。
 - ③ 記録用紙の改善によるケアアセスメント力の向上

訪問看護記録用紙にSOAP形式を取り入れ、ターミナルケアだけでなく病状アセスメントと予防ケアを意識できる為の記録用紙を作成。実際の記録を使い現場でのアセスメントと予防ケアに繋がった事例を共有する学習会を実施した。

全体の取り組みに対して、「訪問看護師に必要な行動変容評価を定期実施した。全体の平均は開始時3.76点から12月最終で4.25点に上昇し全体で12%上昇する結果が得られ、ターミナルケア及び記録の学習、カンファレンス実施の影響がある項目の点数が上昇した。

- (3) 働きやすさを実感できる職場環境と労働条件・業務改善に向けた取り組み

安全な看護ケアの提供のため、新規利用者の医療処置に対しては、ナーシングスキル視聴、PSNによる応援機能の強化、看護記録用紙改善、タブレット端末導入準備を実施。

ナーシングスキルは全9項目視聴、皮下埋め込み型中心静脈ポートの刺入と固定、BVMの使用は技術チェックを実施した。

タブレット端末導入は訪問看護ソフトの更新のタイミングで、ソフトの変更と導入が決定した。

計画的有休の公平な取得として、有休5日間の計画的消化、緊急電話当番後の時間休消化、バースデー有休計画の継続等に取り組み、職務満足度調査の結果は上昇した。

(4) 機能強化型訪問看護療養費Ⅰ、その他加算の維持及び収益の安定維持への取り組み

訪問件数の増加を目指し昨年度から1チーム制を導入し、地域を分けずに新規利用者の確保を継続して実施。効率的な訪問スケジュールのための計画は、チームリーダーが中心となりチームで取り組むことができた。院内在宅支援コーディネーターへ、新規利用者、在宅看取り目的の退院など積極的に連携し新規依頼を受けた。紹介率は42%から64%に上昇、ターミナルケア加算算定に繋がった件数は71%から75%へ上昇した。

また、スタッフ1人当たりの訪問件数1人3.2件/日を目標とし、訪問スケジュール1日5件の予定表導入、空き枠には重症者や介護度の高い利用者の臨時的訪問を積極的に行い、訪問件数を確保した。

各種加算の算定では、訪問先で訪問診療医と同行し算定できる緊急訪問カンファレンス加算、医師の指示による緊急訪問加算、在宅移行カンファレンス参加や退院時共同指導加算などの算定に繋がる項目に対し、積極的に取り組んだ。

2. 令和3年度実績

1. 訪問看護利用者数は年間でプラス33人、前年度比102%、延べ訪問件数はプラス193件で、前年度比102%であった。1人1日当たり平均訪問件数は年間平均3.2件で目標は達成した。スタッフの体調不良による休養や長期研修や院内の認定活動等のため、実稼働数は100%ではなかったが訪問件数は昨年より増加。訪問看護収益でみるとプラス2,397千円で、前年度比103%であった。利用者月単価は、介護-2847円/月、医療+3634円/月、介護保険では加算算定できるものが少なく件数も下がったためマイナスとなったが、機能強化型訪問看護療養費Ⅰの基本料アップ及び各種加算算定により医療保険での単価は+3,634円となり年間1,915,118円のプラス。しかし介護保険の月単価マイナスとなっており特別管理加算算定数や件数の確保が課題となっている。

ターミナルケア加算算定数は、在宅看取り26件、入院後24時間以内の死亡4名、計30件算定でき、機能強化型訪問看護療養費Ⅰの算定要件である20件を10件上回った。昨年度、院内の在宅支援コーディネーターからの紹介率が低下した為、連携強化を実施した結果、紹介率が上昇しターミナルケア加算算定数増加に大きく影響したと考える。また、院外クリニックから直接の在宅看取り新規利用者の紹介依頼もあり、今後も院内外との連携強化に尽力したい。以上により、訪問件数、収益維持、機能強化型訪問看護療養費Ⅰの算定継続の目標は達成できた。

訪問看護利用者のコロナ感染においては、年間を通して利用者本人の感染が2名、濃厚接触者3名あったが、訪問キャンセル又は電話での体調確認等で対応できた。職員の感染はなし。

(1) 訪問実績

	年間利用者数 (延べ人数)	年間訪問件数 (延べ件数)	訪問看護【収益】 (千円)	ターミナルケア 加算算定数
医療保険	527	3,059	40,902	22
介護保険	993	5,142	52,158	8
計	1,520	8,201	93,060	30

(2) 利用者月単価

	介護保険	医療保険	全体
R3年度	51,721	79,164	61,197
R2年度	54,568	75,530	61,078
計	1,520	93,060	30

(3) 新規依頼の紹介元

紹介元		介護	医療	計
院内	在宅支援コーディネーター	8	48	56
	居宅介護支援事業所	0	0	0
	地域包括支援センター	1	2	3
	医療福祉相談課	2	1	3
	医師	0	0	0
	小計	11	51	62
院外	他施設より（他病院・診療所等）	2	5	7
	居宅介護支援事業所	6	3	9
	地域包括支援センター	7	3	10
	小計	15	11	26
合計		26	62	88

(4) 自宅にて他界した件数とターミナルケア加算算定割合

	自宅にて他界した件数	自宅他界のうちターミナルケア加算算定件数	算定割合
R3年度	36	26	72%
R2年度	21	18	86%

※ターミナルケア加算算定不可

	件数	理由
R3年度	10	訪問日数不足(9) 要支援(1)
R2年度	3	訪問日数不足

◎自宅にて他界した件数のうち当院在宅支援コーディネーターからの紹介件数

R3年度	27
R2年度	15

(5) 学生・実習生受け入れ状況

学校名	人数
加茂看護専門学校	10クール 46名
日本赤十字豊田看護大学	2クール 8名
愛知県看護協会管理者研修	1名1日

14. 居宅介護支援事業所（豊田厚生介護保険センター）

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 自立支援と重症化予防のポイントを念頭に置いたケアマネジメントができる

- (1) 学習会の企画と実施
 - ・援助関係を形成する技法「バイステックの7原則」について自部署内にて学習会開催
 - ・一般財団法人日本介護支援専門員協会が作成した自己評価ツール96項目内容の共有
- (2) 他者評価できる体制づくり
 - ・手順書作成
 - ・週1回のケアマネ会議にて、問題解決したい事例などスタッフ1人ずつ選出
 - ・一般財団法人日本介護支援専門員協会が作成した自己評価ツールを活用して自己評価
- (3) 問題解決したいケースのケアマネジメントをスタッフと協働
 - ・問題解決したい事例を同行訪問
 - ・自部署内でアセスメントツールを用いて問題分析・対応方法を検討
 - ・モニタリング
 - ・一般財団法人日本介護支援専門員協会が作成した自己評価ツールを活用して他者評価（1事例に対して2名で他者評価）
 - ・他者評価後、振り返りを行い、不足点を補った
 - ・12月から問題ケースは管理者が同行するように強化
 - ・ケースの状況により、同行訪問4事例・在宅移行カンファレンス2事例・サービス担当者会議1事例・コア会議1事例・記録物のみの振り返りを1事例実施（予定より3倍のケース協働）

2. 居宅介護支援事業所の特定事業所医療介護連携加算の算定が維持できる

- ・令和3年3月1日～令和4年2月28日までのがん末期ターミナルケアマネジメント加算件数6件算定（令和3年介護保険法改正あり、特定事業所加算Ⅳが特定事業所医療介護連携加算として名称変更、要件は同じ、がん末期ターミナルケアマネジメント加算5件以上必要、令和4年度も算定可能となった。他の要件も満たしている）
- ・退院退所加算76回算定（要件は、35回以上）
- ・週1回ケアマネ会議を開催し、新規ケースや問題ケースなどの情報を共有
- ・時間外携帯当番を365日対応
- ・運営基準減算に該当しないように適正にケアマネジメント業務を実施
- ・短時間で終了するケースや状態悪化にてプラン発生につながらないケースが多いため、今後も新規ケースの継続対応が必要
- ・特定事業所加算基準の遵守状況に関する所定の記録を毎月末まで作成し、5年間保存
- ・豊田市集団指導・講習会の情報を適宜スタッフと共有

3. ケアマネ実務研修実習指導

- ・コロナ感染対策しながら1名実習受入れ対応（特定事業所加算Ⅲの要件の1つである）



2. 令和3年度実績

1. ケアプラン作成

令和3年度	
件数	収益
1,359	24,691,139

- ① 特定事業所加算Ⅲ（300単位）・特定事業所医療介護連携加算（125単位）算定継続中
- ② 活動実績は、ケアプラン件数は前年度比106%、収益は前年度比109%
- ③ 急性期病院の中にある居宅介護支援事業所のため、主に医療依存度の高いケースやがん末期のケースが安心して自宅療養できるように受け持ち対応している。医療依存度の高い場合やがん末期ケースの場合、状態変化しやすいケースが多く、急変にて、相談対応は行ってもプランにならないケースが68名、死亡者41名、介護負担などから施設入所など中止（終了）者20名あった
- ④ がん末期ケースでターミナルケアマネジメント加算算定件数6件（加算要件として5件以上必要）
- ⑤ 入院時医療連携加算3日以内60件、7日以内3件算定
- ⑥ 退院退所加算 76回分算定（カンファなし連携1～2回、カンファ有り連携1～3回含む）（加算要件として35件以上必要）

2. 要介護別件数

要介護度別	令和3年度
要介護1	425
要介護2	365
要介護3	214
要介護4	148
要介護5	132
計	1,284

3. その他

① 新規・終了など

	令和3年度件数
新規利用契約者	79
中止者（入所等）	20
死亡者	36
利用者（電話相談・訪問対応以外）	1,782
他事業所へのケース紹介（再掲）	0

② 院外ケアマネから主治医連絡・入院時情報提供書対応件数（地域医療連携課事務担当）

主治医連絡票（平成21年度から対応開始）対応件数	406
介護保険医療連携用情報提供書対応件数	674

- ③ 令和3年12月～地域総合支援室事務員2人兼務体制とし、令和4年度に居宅介護支援事業所として受け持ち利用者数を拡大できるように試行開始した

15. 豊田厚生地域包括支援センター

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

*活動目標は3年ごとに“3年後を見据えた長期的な目標”を立案。令和3年度は3年のうちの初年度であった。

【活動目標】

- ・地域の理解や協力により、認知症の方が地域で活躍できる場を増やすことができる。
- ・生きがいを見つけ、自身の健康に目を向ける高齢者が増える。
- ・多様な機関や地域支援者が連携して、複合課題を抱える世帯や支援が必要な高齢者を支える地域支援ネットワークの構築ができる。

1. 地域の認知症に対する理解を深めるとともに、認知症の方の強みを活かし、地域とつなげる橋渡しを行う。

(重点事項)

- ① ささえあいネット登録機関向けの認知症サポーター養成講座を開催
- ② 認知症サポーターステップアップ講座を開催
- ③ すべてのささえあいネット登録機関を訪問
- ④ まごころフェスタにおいて全世代に啓発、情報発信を行う
- ⑤ 季刊誌を活用し、地域に向けて認知症についての啓発を行う
- ⑥ 若年性認知症本人家族会「スマイル」の継続支援
- ⑦ 認知症カフェ「スイカフェ」を共催

(成果) すべて予定通り実施

- ① 2月22日にオンラインで認知症サポーター養成講座、ワンアクション研修を開催。ささえあいネット登録機関の2事業所に参加いただいた。
- ② 9月14日に民生委員向けに認知症サポーターステップアップ講座を開催し、認知症の支援が必要な方の早期発見、相談窓口の案内や認知症の一人暮らしの方の見守りなど民生委員の活動強化につながった。
- ③ 夏、冬の年2回ささえあいネット登録機関を訪問し、認知症サポーター養成講座の受講勧奨をした。
- ④ コロナ禍のため、お祭りのイベントとしては開催ができなかったが、認知症啓発の掲示を行った。
- ⑤ 夏号で認知症について啓発を行った。
- ⑥ 本人の「みんなで出かけたい」という想いを引き出し、紅葉散策を実現することができた。また、本人と家族に分かれて交流を深め、会の終わりには本人の活動を共有し、本人の「できること」を家族に知ってもらうことができた。
- ⑦ 感染拡大時には中止となったものの、開催中止の際には、参加者に認知症予防のレシピや運動などのお手紙を郵送した。

2. 地域の高齢者の実態把握を行う、必要な支援につなげるとともに、将来に向けて自身の健康に目をむける高齢者が増えるよう働きかける。

(重点事項)

- ① 民生委員の「ひまわり活動」に同行する等、一人暮らし登録者の生活状況の把握を行う
- ② 自治区長や民生委員等が「支援が必要」と考える高齢者を確認し実態把握を行う
- ③ 高齢者クラブ、サロンを訪問し、気になる高齢者を確認し実態把握を行う
- ④ 介護者のつどいで緩和ケア認定看護師によるACPに関する講演を行う
- ⑤ 多職種と協同して、健康増進、介護予防に関する講座を企画、開催

- ⑥ 介護予防ケアマネジメントを実施している一人暮らしの方を対象に「わたしのノート」を配布（成果）④以外すべて予定通り実施
- ① 民生委員の「ひまわり活動」に同行、電話等での実態把握を全件実施し、困り事の聴き取り、必要な支援へつなげるなどの対応ができた。
- ② 自治区長や民生委員に「気になる高齢者に気づく視点（地域包括支援センター運営マニュアル）」を配布し、支援が必要な方の情報提供の機会が増えた。また、民生委員から、気になる高齢者に「相談したいこと」「近況」などを書いていただけるハガキを渡していただき、数名の返信があった。
- ③ 高齢者クラブやサロンの代表者や参加者より、参加できていない方の情報提供をいただき、実態把握を行った。
- ④ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催中止。次年度に同内容で開催を予定。
- ⑤ 豊田厚生病院リハビリテーション科監修の介護予防の体操を地域向けの講座でご紹介した。
- ⑥ 「わたしのノート（スタート編）」を配布し、5名に書き方の見本を見ながら作成支援を行った。自身の健康管理を振り返るとともに将来のことを考えるきっかけができた。

3. 医療・福祉の専門書奥谷関係機関、地域支援者が連携して、複合課題を抱える世帯や支援が必要な高齢者を支える地域支援ネットワークの構築に向け、意識づけを行う。

（重点事項）

- ① 民生委員向けに勉強会を開催
- ② ケアマネ意見交換会を病院と共催
- ③ 地区内の居宅へ聴き取りをし、事例検討会の開催を検討する
- ④ 地区内の居宅へ困難事例の聴き取り、助言を行う
- ⑤ 「多職種で自立支援を考える会」に参加し、地域課題を明らかにする

（成果）すべて予定通り実施

- ① 介護保険制度について、制度の細かい部分を掘り下げて説明したことで、民生委員が実際の相談現場で活用できるようになった。
- ② 12月17日（金）に医療福祉相談課との共催でオンラインによる意見交換会を実施。在宅支援コーディネーターに講演を依頼した。
- ③ 地区内の居宅へ聴き取りし、事例検討会開催の必要性を確認、次年度で開催を予定。
- ④ 地区内の居宅を訪問し、顔の見える関係づくりを継続的に実施。新規相談や居宅へ移行した徘徊や虐待ケースの報告など随時連絡が入るようになっている。
- ⑤ ケースを通じ、オートロックの解除ができない高齢者への訪問や呼び寄せ高齢者の閉じこもりなどの地域課題が明らかになった。

2. 令和3年度実績

1. 相談に対する対応件数（件） ※ほのぼの（地域包括支援センター支援システム）実績

電話	訪問	来所	その他	合計(件)
5,114	1,153	454	300	7,021

2. 介護予防支援実績

件数(件)	収入(円)	前年度比
770	3,534,242	124.4%

3. 介護予防ケアマネジメント実績

件数(件)	収入(円)	前年度比
528	2,454,842	113.6%

4. 会議・研修等参加実績 合計111回

会議・研修名等(一部)・回数	
会議・研修名等(一部)・回数	
民生委員児童委員地区協議会	10回
サービス連絡調整会議	11回
地域包括支援センター連絡会議	11回
ケース検討会議(スクリーニング会議、コア会議含む)	1回
認知症初期集中支援チーム員会議	3回

5. 人材育成等計画の実績

事業区分	実施の有無
①センター職員の資質向上のための研修機会の確保	○
②センター職員と法人担当者との業務上の意見交換	○
③包括的支援事業に専念できる環境の整備	○
④3職種確保のための対応策	○
⑤そのほか法人独自の取組(任意)	○

16. 健康管理室

1. 令和3年度に実施した重点事項とその成果

1. 健診受診者減少の対応

コロナ禍による受診者減少の対応として、①人間ドック・企業毎の独自コースの見直し、②ロッカー1日使用数を10個増加、③当日キャンセル防止（必要な物のチェックを行うシート作成）、④広報活動強化（カモメイトに健診・がん検診、PET/CT、がん検診特集を掲載、院内インフォメーションで健診内容放映、ワクチン会場で健診PR掲示）の対策を行いました。これにより、当日キャンセルの減少や受診者増による収入アップに繋ぐ事ができました。

2. 病院土曜日休診時の健診業務実施

厚生連が完全週休二日制のなか土曜日健診のニーズがあり、今年度も第1・第3土曜日健診稼働（胃内視鏡検査・子宮がん検診は中止）を開始しました。今年度はニーズの少ない4月第1土曜日と3月第3土曜日と、さらに電子カルテ導入の9月第3土曜日を健診中止としました。今年度の平均で受診者54名 収入1,394千円となりました。

3. 予約電話増設

毎年3月末から6月は、予約電話が殺到し繋がりにくい状況に対する対策として、昨年度より、健診システム・電子カルテ端末・PHSを増設して計5名体制と来院して予約を取られる方の対応を行いました。その結果、苦情件数もほとんど無くなりました。

2. 令和3年度の実績

令和3年度の受診者総数は19,808名（職員健診含む）、総収入553,104千円、予算は570,033千円に対して予算対比 16,929千円減 97.0%と予算を下回った。令和3年度の稼働日は263日で1日当たり平均の受診者数は75.3名（職員健診含む）、また一日当たりの平均収入は2,103千円で、令和3年度の一人当たりの平均単価が27,923円であった。各種健診別の受診者の増加率はドック118.1%、企業健診等99.4%、全国協会健保106.4%、豊田市国保特定健診111.2%、豊田市がん検診108.3%でした。コロナウイルス蔓延による健診を控える風潮とコロナ禍第4～6波によるキャンセル等がありましたが、コロナウイルス蔓延前の水準まで後少しのところまで回復してきました。

1. 令和2年度のがん検診の精査率

令和4年4月1日現在

	総受診者数	要精検者数	要精検率	精検受診数	精検受診率	がん発見数	がん発見率
胃がん	9,344	647	6.9%	447	69.1%	13	0.14%
肺がん	15,897	336	2.1%	211	62.7%	4	0.03%
大腸がん	11,309	748	6.6%	493	65.9%	14	0.12%
前立腺がん	1,982	123	6.2%	55	44.7%	4	0.20%
子宮がん	4,264	76	1.8%	42	55.3%	0	0.00%
乳がん	5,117	178	3.5%	155	87.1%	11	0.21%

※胃がん検診にて、食物残渣多量、描出不良、撮影不可等の理由にて検査未実施者は総数に含まず

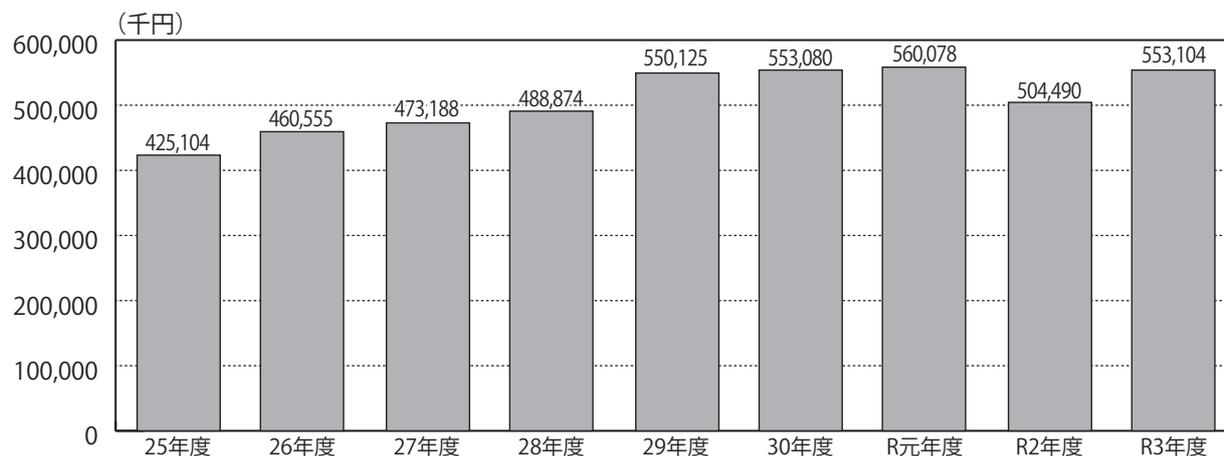
※各精検受診者数については、上記日までに当センターに報告されたもののみとする

※精査率は1年遅れで集計

2. 健康管理室利用者数

	令和3年度
人間ドック	3,700
JA組合員人間ドック	70
脳ドック	1,144
PET検診	96
肺ドック	263
レディースドック	56
甲状腺ドック	72
もの忘れドック	0
豊田市国保特定健診	4,335
特定健診（集合契約A）	520
保健指導（動機付け）協会健保含む	258
保健指導（積極的）協会健保含む	209
全国協会健保 一般	1,961
〃 付加・差額	355
〃 乳・子宮がん	643
〃 肝炎	1
企業健診・身体検査	3,236
被爆健診	76
職員健診	2,826
保健指導（動機付け）	27
保健指導（積極的）	12
豊田市がん検診 胃がん	3,440
〃 大腸がん	4,726
〃 肺がん	3,729
〃 子宮がん	1,152
〃 乳がん	1,787
〃 前立腺がん	857
〃 肝炎	352
〃 総合健診	261
〃 乳がん検診（無料券）	71
〃 子宮がん検診（無料券）	16
受診者数（職員健診含む）	19,808
収益（円）	553,104,879

3. 健康管理室収益推移



Ⅲ 職員活動

1. 研究業績

呼吸器内科

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	BCG感染症の経過中に急性呼吸器不全を呈したものの救命を得た一例	○岩本和馬、指尾豊和、林かずみ 中原義夫、青山昌広、谷川吉政 宇佐美雅之	第120回日本呼吸器学会東海地方会	2021.11.13

循環器内科

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	右冠動脈の高度屈曲石灰化病変にOASを用いた1例	○長井 伸、窪田龍二、白井義憲 伊藤亮太、堀 仁美、羽賀智明 豊 陽祐、藤田雅也、大橋大器 金子鎮二、篠田政典	第44回日本心血管インターベンション治療学会 第44回東海北陸地方会	2021.5.14
2	「Distal radial approachエコーガイド穿刺からシースレスPCIまで」 「若手Operatorが考えるOASの使い方」	○羽賀智明	第44回日本心血管インターベンション治療学会 東海北陸地方会	2021.5.15
3	Prognosis after ablation in Ventricular Tachycardia patients with organic heart disease	○井関彰太、金子鎮二、藤田雅也 窪田龍二、大橋大器、豊 陽祐 羽賀智明、足立健太郎、堀 仁美 伊藤亮太、白井義憲、岩田恵輔 篠田政典	第67回 日本不整脈心電学会	2021.7.1
4	Ablation for persistent Atrial Fibrillation can was further improved heart failure even in HFpEF patients with politic rate control	○山内良太	第67回 日本不整脈心電学会	2021.7.2
5	Study on Recurrence after Cryoablation for paroxysmal atrial fibrillation	○岩田恵輔、金子鎮二、長井 伸 堀 仁美、近藤喜代太、山内良太 羽賀智明、豊 陽祐、藤田雅也 大橋大器、窪田龍二、篠田政典	第67回 日本不整脈心電学会	2021.7.3
6	High Density Mapping by HD Grid is recommended for Low Voltage Zone ablation of Non-paroxysmal Atrial Fibrillation	○堀 仁美、近藤喜代太、山内良太 羽賀智明、豊 陽祐、藤田雅也 大橋大器、窪田龍二、金子鎮二 篠田政典	第67回 日本不整脈心電学会	2021.7.3
7	再燃を繰り返す若年者の急性心膜炎の一例	○岩田恵輔、堀 仁美、長井 伸 近藤喜代太、山内良太、羽賀智明 豊 陽祐、藤田雅也、大橋大器 窪田龍二、金子鎮二、篠田政典	第157回 日本循環器学会 東海地方会	2021.7.10
8	診断に苦慮した心アミロイドーシスの一例	○井関彰太、金子鎮二、藤田雅也 窪田龍二、大橋大器、豊 陽祐 羽賀智明、足立健太郎、堀 仁美 伊藤亮太、白井義憲、岩田恵輔 篠田政典	第157回 日本循環器学会 東海地方会	2021.7.10
9	A relationship between characteristics of patients and NT-pro BNP response to sacubitril/valsartan	○窪田龍二	第25回日本心不全学会	2021.10.2
10	A short term effect of Sacubitril/Valsartan for non-HFpEF	○窪田龍二	第25回日本心不全学会	2021.10.2

11	異なるイメージングモダリティで debulking の治療方針を決定した一例	○長井 伸、羽賀智明、白井義憲 伊藤亮太、堀 仁美、豊 陽佑 藤田雅也、大橋大器、窪田龍二 金子鎮二、篠田政典	第45回日本心血管インターベンション治療学会 第45回東海北陸地方会	2021.10.17
12	カテコラミン依存の難治性虚血性心不全に対して左室形成術を施行した一例	○井関彰太、豊 陽祐、岩田恵輔 櫻井礼子、長井 伸、堀 仁美 近藤喜代太、山内良太、羽賀智明 藤田雅也、大橋大器、窪田龍二 金子鎮二、篠田政典、小林明裕 寺田貴史、荒木善盛、川口 鎮	日本循環器学会 第158東海第143回北陸合同地方会	2021.10.24
13	Poor Contrast Enhancement in the Left Atrial Appendage Predicts Recurrence of Atrial Fibrillation in Patients with Persistent Atrial Fibrillation.	○山内良太、金子鎮二、窪田龍二 大橋大器、藤田雅也、豊 陽祐 羽賀智明、近藤喜代太、堀 仁美 長井 伸、井関彰太、篠田政典	第86回日本循環器学会	2022.3.13
14	Transient and Persistent Worsening Renal Function with Tolvaptan Both have Poor Prognosis in Congestive Heart Failure Patients.	○長井 伸、羽賀智明、岩田恵輔 井関彰太、堀 仁美、近藤喜代太 山内良太、豊 陽佑、藤田雅也 大橋大器、窪田龍二、金子鎮二 篠田政典	第86回日本循環器学会	2022.3.13

消化器内科

著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	Nivolumab Effective for Gastric and Lung Cancers but Not for Multiple Myeloma in a Multiple Primary Cancer Patient	Yasuda T, Hiraga J, Narita M Tanikawa Y, Tsuzuki T	Case Rep Hematol.	2021 Aug 26
2	Absence of large portal collateral vessels is associated with spontaneous improvement of cirrhotic portal vein thrombosis.	Yokoyama S, Ishizu Y, Honda T Imai N, Ito T, Yamamoto K Tsuzuki T, Ishigami M.	Hepatol Res.	2022 Feb

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	抗菌薬関連下痢症におけるプロトンポンプ阻害薬の投与歴についての検討	○安田 司、平岩厚佑、豊島 創 松葉明彦、松井健一、竹内淳史 森田 清、高士ひとみ、都築智之	第107回日本消化器病学会総会	2021.4.15
2	当院における医原性十二指腸穿孔、術後瘻孔に対するOver-The-Scope Clipの治療成績	○安田 司、平岩厚佑、豊島 創 松葉明彦、松井健一、竹内淳史 森田 清、高士ひとみ、都築智之	第101回日本消化器内視鏡学会総会	2021.5.15
3	OTSCによる閉鎖術を施行した左房食道瘻の一例	○玉腰丈博、松井健一、高士ひとみ 森田 清、竹内淳史、豊島 創 平岩厚佑、近藤大也、稲掛優介 都築智之	第64回日本消化器内視鏡学会東海支部例会	2021.12.4
4	多発十二指腸潰瘍を合併した急性壊死性食道炎の1例	○稲掛優介、近藤大也、玉腰丈博 平岩厚佑、豊島 創、松井健一 高士ひとみ、竹内淳史、森田 清 都築智之	第64回日本消化器内視鏡学会東海支部例会	2021.12.4
5	紅皮症を契機に診断に至った直腸癌の一例	○玉腰丈博、稲掛優介、近藤大也 平岩厚佑、豊島 創、松井健一 竹内敦史、森田 清、高士ひとみ 都築智之	第135回日本消化器病学会東海支部例会	2021.12.11
6	当院におけるアナモレリン塩酸塩の使用経験	○稲掛優介、近藤大也、玉腰丈博 平岩厚佑、豊島 創、松井健一 高士ひとみ、竹内淳史、森田 清 都築智之	第135回日本消化器病学会東海支部例会	2021.12.11



7	肝細胞癌に対するAtezolizumab + bevacizumab治療中に免疫関連有害事象の脳炎が疑われた2例	○近藤大也、稲掛優介、玉腰丈博 平岩厚佑、豊島 創、松井健一 竹内淳史、森田 清、高士ひとみ 都築智之	第135回日本消化器病学会東海支部例会	2021.12.11
---	--	--	---------------------	------------

脳神経内科

著書・論文

No.	演 題 名	発表者	共同研究者	学会名または雑誌名
1	Numerous spindle-shaped lymphoma cells in lymphomatosis cerebri	○森 悠	服部直樹、氏平伸子 成田道彦、吉田眞理	Neuropathology
2	A case of sensory ataxic Guillain-Barré syndrome with immunoglobulin G anti-GM1 antibodies following the first dose of mRNA COVID-19 vaccine BNT162b2 (Pfizer)	○T Fukushima, S Ikeda, M Tomita, N Hattori		QJM 115(1) P 25-27

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	肝細胞癌に対するアテゾリズマブ、ベバシズマブ初回投与後に免疫関連有害事象と思われる脳炎、感覚性末梢神経障害を合併した1例	○池田昇平、豊島 創、森 悠 富田 稔、深見祐樹、小池春樹 勝野雅央、服部直樹	第32回日本末梢神経学会学術集会	2021.9.10
2	初発から27年後に劇症型の経過を繰り返した再発性ギラン・バレー症候群を呈した1例	○森 悠、池田昇平、富田 稔 服部直樹	第32回日本抹消神経学会学術集会	2021 9.10~9.11
3	繰り返す意識障害で発症した神経核内封入体病の1例	○森 悠、池田昇平、富田 稔 服部直樹、伊藤瑞規	第160回日本神経学会東海北陸地方会、名古屋	2021.6.26
4	放射線誘発性頸動脈狭窄症によるhemichoreaの1例	○糸見百合子、森 悠、池田昇平 富田 稔、服部直樹、伊藤瑞規	第160回日本神経学会東海北陸地方会、名古屋	2021.6.26
5	抗凝固療法中に脳梗塞を呈したCOVID-19の臨床特徴-2例の自験例より	○関本ちひろ、森 悠、池田昇平 富田 稔、服部直樹	第160回日本神経学会東海北陸地方会、名古屋	2021.6.26
6	多巣性脳病変を呈したNPSLEの1例	○武重万里子、森 悠、池田昇平 富田 稔、服部直樹	第160回日本神経学会東海北陸地方会、名古屋	2021.6.26
7	当院におけるCOVID-19肺炎に合併した脳梗塞2症例の検討	○池田昇平	第30回豊田加茂医学会	2021.7.10
8	反復する脳虚血を呈したJAK2変異陽性本態性血小板血症の1例	○糸見百合子、森 悠、池田昇平 富田 稔、服部直樹	第161回日本神経学会東海北陸地方会、富山	2021.10.23
9	ミオクロノスやPSDを欠き、異常眼球運動を呈したクロイツフェルト・ヤコブ病が疑われた1例	○山田崇義、森 悠、池田昇平 富田 稔、服部直樹	第161回日本神経学会東海北陸地方会、富山	2021.10.23
10	P-ANCA陰性であったEGPA2例の臨床病理学的特徴	○武重万里子、森 悠、池田昇平 富田 稔、服部直樹、水野伸宏 小池春樹	第161回日本神経学会東海北陸地方会、富山	2021.10.23
11	放射線誘発性頸動脈狭窄症によるhemichoreaに対し内頸動脈ステント留置術が著効した1例	○糸見百合子、森 悠、池田昇平 富田 稔、伊藤瑞規、服部直樹	第39回神経治療学会、津	2021.10.28
12	視神経脊髄炎スペクトラム2例に対する免疫グロブリン療法の有効性の検討	○佐藤萌美、服部直樹、富田 稔 池田昇平、森 悠	第39回神経治療学会、津	2021.10.28
13	発作性の自律神経障害・光視症を主徴とした抗LGI1抗体陽性辺縁系脳炎の1例	○尾崎 緑、福島大喜、池田昇平 富田 稔、服部直樹	第162回日本神経学会東海北陸地方会、富山	2022.3.5

14	mRNA COVID-19ワクチン初回接種後に発症した抗GM1抗体陽性感覚失調型ギランバレー症候群の1例	○福島大喜、池田昇平、富田 稔 服部直樹	第162回日本神経学会 東海北陸地方会、富山	2022.3.5
15	高齢発症で深部失調を呈した抗contactin 1抗体陽性CIDPの1例	○佐藤萌美、福島大喜、池田昇平 富田 稔、服部直樹	第162回日本神経学会 東海北陸地方会、富山	2022.3.5
16	COVID-19肺炎に合併した心房細動を伴う脳梗塞2症例の検討	○池田昇平、福島大喜、富田 稔 服部直樹	第47回日本脳卒中学会 学術集会(STROKE2022)	2022 3.17~3.20

内分泌・代謝内科

著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	コロナ禍における2型糖尿病合併高トリグリセライド血症患者に対するペマフィブラートの有用性、安全性の検討	○加藤大也、増田 富、澤井喜邦	Progress in Medicine

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	糖尿病合併高TG血症患者のペマフィブラートの有用性、安全性についての検討（第二報）	○加藤大也、増田 富、澤井喜邦	第64回日本糖尿病学会 年次学術集会	2021.5.21

腎臓内科

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	維持血液透析を施行中、腸管気腫を発症した2例	○吉岡知輝、水野幸奈、石川稜恭 斉藤絢恵、堀 貴洋、倉田久嗣	第66回日本透析医学会 学術集会・総会	2021.6.5
2	アセトアミノフェンの大量服薬に対して、血液浄化を含めた迅速な治療をおこない、良好な転機を辿った1例	○吉岡知輝、水野幸奈、石川稜恭 斉藤絢恵、堀 貴洋、倉田久嗣	第66回日本透析医学会 学術集会・総会	2021.6.6
3	ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウムの内服開始後に腸管穿孔を来した慢性腎臓病患者の1例	○斉藤絢恵、水野幸奈、石川稜恭 堀 貴洋、吉岡知輝、倉田久嗣	第245回東海地方会	2021.10.31

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	倉田久嗣	腎性貧血を学ぶWEBセミナー	2021.6.22
2	座長	倉田久嗣	豊田加茂CKD Meeting	2021.12.21

血液内科

著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	Expression of programmed cell death ligand-1 by immune cells in the microenvironment is a favorable prognostic factor for primary diffuse large B-cell lymphoma of the central nervous system.	○Yuta Tsuyuki, Eri Ishikawa Kei Kohno, Kazuyuki Shimada Fumiharu Ohka, Yuka Suzuki Seiyo Mabuchi, Akira Satou Taishi Takahara, Seiichi Kato Shohei Miyagi, Hiroyuki Ozawa Tasuku Kawano, Yusuke Takagi Junji Hiraga, Toshihiko Wakabayashi Shigeo Nakamura.	Neuropathology. 2021 Apr; 41(2): 99-108.

2	肝に多発性髄外形質細胞腫が診断された多発性骨髄腫と肺癌の同時性重複がん	○小原史也、原田靖彦、谷川吉政 成田道彦、鏡味良豊、平賀潤二	臨床血液62(7):727-732, 2021.
3	多臓器不全を呈し治療に難渋した軽鎖沈着症の一例	○岩田恵輔、原田靖彦、吉岡知輝 倉田久嗣、平賀潤二、鏡味良豊	日本内科学会雑誌 2021; 110(8): 1633-1640.
4	Nivolumab effective for gastric and lung cancers but not for multiple myeloma in a multiple primary cancer patient.	○Tsukasa Yasuda, Junji Hiraga Michihiko Narita, Yoshimasa Tanikawa and Tomoyuki Tsuzuki.	Case Reports in Hematology. 2021 Aug 26; 2021: 9965371. eCokkectuib 2021.
5	A multicenter, phase II study of R-THP-COP therapy for elderly patients with newly diagnosed, advanced-stage, indolent B-cell lymphoma.	○Kazunori Ohnishi, ken Ohmachi Kiyoshi Ando, Kazuhito Yamamoto Tatsuya Ito, Mitsune Tanimonto Kaneyuki Ohbayashi Kazuma Ohyashiki Kunihiro Tsukasaki Kensuke Naito, Takayo Suzuki Takaaki Ono, Koich Miyamura Yoshitoyo Kagami Tomohiro Kinoshita Tomomitsu Hotta, Michinori Ogura	Journal of Clinical Experimental Hematopathology. 2021 Sep 10; 61(3): 162-167.
6	Single response assessment of transplant-ineligible multiple myeloma: a supplementary analysis of JCOG1105 (JCOG1105S1).	○Nakamura N, Maruyama D Machida R, Ichinohe T Takayama N, Ohba R, Ohmachi K Imaizumi Y, Tokunaga M Katsuya H, Yoshida I, Sunami K Kurosawa M, Kubota N Morimoto H, Kobayashi M, Kato H Kameoka Y, Kagami Y, Kizaki M Takeuchi K, Munakata W, Iida S Nagai H. Jpn J Clin	Oncol. 2021 Jul 1; 51(7): 1059-1066
7	Establishment of an ATLL cell line (YG-PLL) dependent on IL-2 and IL-4, which are replaced by OX40-ligand+ HK with poly-L-histidine and dermatan sulfate.	○Kagami Y, Kato H, Okada Y Seto M, Yamamoto K.J Clin Exp Hematop.	Sep 10;61(3):145-151.

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	SARS-CoV-2要請で発見されたEBV要請末梢性T細胞リンパ腫の1例	○武重万里子、原田靖彦、鏡味良豊 平賀潤二	第10回日本血液学会東海地方会	2021.4.25
2	ニボルマブ使用中に発症した急性リンパ性白血病の1例	○糸見百合子、原田靖彦、鏡味良豊 平賀潤二	第10回日本血液学会東海地方会	2021.4.25
3	化学療法抵抗性で致命的経過を辿ったEBV関連血球貪食症候群	○伊藤怜花、平賀潤二、原田靖彦 鏡味良豊、同総合内科 加藤誓子	第244回日本内科学会東海地方会	2021.6.27
4	血管免疫芽球形T細胞リンパ腫にリンパ形質細胞性リンパ腫を合併した1例	○足立奈央、小原史也、原田靖彦 鏡味良豊、平賀潤二	第244回日本内科学会東海地方会	2021.6.27
5	2次がんはびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の長期生存者の予後因子の可能性はある	○平賀潤二、原田靖彦、鏡味良豊	第83回日本血液学会学術集会	2021.9.25
6	Second primary malignancies as a risk factor for long-term survivors of DLBCL	○平賀潤二、原田靖彦、鏡味良豊	第83回日本血液学会学術集会	2021.9.25
7	当院における高齢者AMLに対する治療の実際	○原田靖彦、鏡味良豊、平賀潤二	第83回日本血液学会学術集会	2021.9.25
8	高悪性度B細胞リンパ腫に対するDA-EPOCH-R療法の安全性と有効性	○小林優大、原田靖彦、鏡味良豊 平賀潤二	第245回日本内科学会東海地方会	2021.10.31

9	集約的治療により究明に成功したウェルシュ菌による劇症型血管内溶血敗血症の1例	○近藤大也、原田靖彦、鏡味良豊 平賀潤二、消化器内科 都築智之	第245回日本内科学会 東海地方会	2021.10.31
10	70歳以上の初発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫における高齢者機能評価	○平賀潤二、原田靖彦、鏡味良豊	第19回日本臨床腫瘍学 会学術集会	2022.2.17 ~19
11	The prognostic impact of body mass index decrease during the first chemotherapy in advanced follicular lymphoma patients	○伊藤 真、原田靖彦、鏡味良豊 平賀潤二	第19回日本臨床腫瘍学 会学術集会	2022.2.18
12	BMI decrease during the first chemotherapy affects survival outcome in advanced follicular lymphoma patients	○伊藤 真、原田靖彦、鏡味良豊 平賀潤二	第19回日本臨床腫瘍学 会総会	2022.2.18
13	70歳以上の初発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫における高齢者機能評価	○平賀潤二、原田靖彦、鏡味良豊	第19回日本臨床腫瘍学 会総会	2022.2.19
14	重症肺炎合併再発AML患者に対し集約的治療により究明できた1例	○常 裕輔、原田靖彦、飯田しおり 鏡味良豊、平賀潤二	第246回日本内科学会 東海地方会	2022.2.20
15	慢性骨髄性白血病治療中に多発肝転移を来した胃癌の一例	○木村侑樹、原田靖彦、平賀潤二 都築智之、鏡味良豊	第246回日本内科学会 東海地方会	2022.2.20

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	平賀潤二	第10回日本血液学会東海地方会	2022.4.25

総合内科

著書・論文

	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	発熱、高CRP血症を主要症候に総合内科入院となった患者の検討	○西本康浩、加藤誓子、渡口賢隆	第118回日本内科学会 講演会	2021.4.10 WEB
2	COVID-19後に腎梗塞をきたした1例	○糸見百合子、加藤誓子、渡口賢隆 西本泰浩	第244回日本内科学会 東海地方会	2021.6.27 WEB
3	脾臓低形成を背景に重症化した侵襲性肺炎球菌感染症、若年男性における1例	○尾崎 緑、渡口賢隆、岩田恵輔 桜井礼子、加藤誓子、西本泰浩	第245回日本内科学会 東海地方会	2021.10.31 WEB
4	COVID-19の影響で減少した救急搬送症例の内訳について	○西本泰浩、伊藤貴康、畑田 剛 小林修一	第49回日本救急医学会 総会学術集会	2021.11.21
5	不明熱にて入院しACTH単独欠損症と橋本病と診断した症例	○竹中徳子、加藤誓子、渡口賢隆 西本泰浩	第246回日本内科学会 東海地方会	2022.2.20 WEB
6	尿管結石による水腎症に合併した腹斜筋膿瘍の1例	○名里瑛美、西本泰浩、加藤誓子 渡口賢隆	第246回日本内科学会 東海地方会	2022.2.20 WEB
7	尿路感染菌血症からBatson静脈叢を介したESBL産生大腸菌による化膿性脊椎炎の1例	○関本ちひろ、西本泰浩、加藤誓子 渡口賢隆	第246回日本内科学会 東海地方会	2022.2.20 WEB

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	西本泰浩	第246回日本内科学会東海地方会	2022.2.20



内科

著書・論文

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	多臓器不全を呈し治療に難渋した軽鎖沈着症の一例	○岩田恵輔、原田靖彦、吉岡知輝 倉田久嗣、平賀潤二、鏡味良豊	日本内科学会雑誌

学会発表

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	SARS-CoV-2陽性で発見されたEBV陽性末梢性T細胞リンパ腫の一例	○武重万里子、原田靖彦、鏡味良豊 平賀潤二	第10回日本血液学会東海地方会	2021.4.25
2	ニボルマブ使用中に発症した急性リンパ性白血病の一例	○糸見百合子、原田靖彦、鏡味良豊 平賀潤二	第10回日本血液学会東海地方会	2021.4.25
3	末梢塞栓を伴うRCA#3の壁在血栓をOCTで観察し得たACSの一例	○井関彰太	第44回日本心血管インターベンション治療学会 東海北陸地方会	2021.5.14
4	放射線誘発性頸動脈狭窄症によるhemichoreaの一例	○糸見百合子、森 悠、池田昇平 富田 稔、服部直樹、伊藤瑞規	第160回日本神経学会東海北陸地方会	2021.6.26
5	COVID-19後に腎梗塞を来した一例	○糸見百合子、加藤誓子、渡口賢隆 西本泰浩	第244回日本内科学会東海地方会	2021.6.27
6	尿路感染症からBatson静脈叢を介したESBL産生大腸菌による化膿性脊椎炎の一例	○関本ちひろ、西本泰浩、渡口賢隆 加藤誓子	日本内科学会東海支部主催第246回東海地方会	2022.2.20

感染症内科

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	川端 厚	第64回日本感染症学会中日本地方会	2021.11.5

緩和ケア内科

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	がん治療トータルケアwebセミナー 緩和支援医療の視点からCIPNを考える	村松雅人	第一三共株式会社	2021.10.14

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	村松雅人	第31回三河緩和医療研究会	2021.9.11
2	座長	村松雅人	第26回豊田がんフォーラム	2022.3.17

臨床研修科

著書・論文

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	長期ホルモン療法を継続している原発巣非切除乳癌の3例	○加藤真由子	第83回日本臨床外科学会総会	2021.11.18
2	重症肺炎合併症再発AML患者に対し、集約的治療により救命できた1例	○常 裕輔	第246回日本内科学会東海地方会	2022.2.20

小児科

著書・論文

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	急性膵炎で発症し膵分泌性トリプシンインヒビター(<i>SPINK1</i>)遺伝子変異を認めた2症例	○宮城島萌、梶田光春、鈴木大路 武田将典、生駒雅信、正宗 淳	小児内科 53(6)1008-1013、2021

学会発表

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	激しい運動後の血尿?で紹介受診した1例(労作性ミオヘモグロビン尿症)	○梶田光春、榎本さやか、植田智希 高橋ゆま、武田将典、生駒雅信	第7回尾張東部・豊田小児医療研究会	2021.4.9 WEB
2	顔貌・体型などが気になった症例	○梶田光春、榎本さやか、植田智希 高橋ゆま、武田将典、生駒雅信	第17回三機関合同勉強会	2021.6.10
3	蛋白尿で近医より紹介となった6歳男児の一例(ネフローゼ症候群)	○高橋ゆま、榎本さやか、武田将典 生駒雅信、梶田光春	第70回豊田加茂小児科医会例会	2021.7.17
4	感冒症状で来院した際に頸部腫脹を認めた女児例(急性化膿性甲状腺炎)	○植田智希、榎本さやか、高橋ゆま 武田将典、中西久美子、寺澤富士子 生駒雅信、梶田光春	第70回豊田加茂小児科医会例会	2021.7.17
5	当院における先天性胆道拡張症の臨床像	○榎本さやか、梶田光春、大森茉令 武田将典、生駒雅信	第8回尾張東部・豊田小児医療研究会	2021.12.3
6	不随意運動で来院した女児2例(プリンペランによる急性ジスキネジア)	○梶田光春、榎本さやか、大森茉令 武田将典、生駒雅信、大塚行子	第18回三機関合同勉強会	2021.12.9
7	術前に診断することができた胆嚢捻転症の1例	○榎本さやか、梶田光春、大森茉令 武田将典、生駒雅信、緒方諒仁 久留宮康浩	第284回日本小児科学会東海地方会	2022.2.6
8	けいれん重積を疑った14歳男児例(PNES)	○榎本さやか、梶田光春、大森茉令 武田将典、生駒雅信	第71回豊田加茂小児科医会例会	2022.2.12
9	高コレステロール血症で紹介受診した姉妹例	○梶田光春、榎本さやか、大森茉令 武田将典、生駒雅信	第71回豊田加茂小児科医会例会	2022.2.12

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	豊田厚生病院看護技術研修会 「食物アレルギーの知識と適切な対応について」	中西久美子	豊田厚生病院	2021.6 動画配信
2	第16期アレルギー大学：医学-基礎	中西久美子	アレルギー支援ネットワーク	2021.6月 動画配信
3	食物アレルギー対応研修会 「楽しい集団生活のための食物アレルギーの知識と適切な対応について」	中西久美子	豊田市役所保育課	2021.7.6
4	アレルギー対応研修会 「学校現場における食物アレルギーの知識と適切な対応について」	中西久美子	豊田市教育委員会 豊田市役所保健給食課	2021.8月 動画配信

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	梶田光春	第70回豊田加茂小児科医会例会	2021.7.17



放射線診断科

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	症例検討8-3(回答者) - 静脈洞血栓症で顕在化したfalx sine sinusの一例 -	○櫻井悠介	第41回神経放射線ワークショップ	2021.7.3

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	稀少疾患画像診断ケースレビュー ~やってよかった!?, フィルムリーディング~	櫻井悠介	たちばな画像診断勉強会	2021.11.8

外科

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	Amyand's herniaに対して腹腔鏡下鼠経ヘルニア修復術を施行した一例	○浜辺健太、南 貴之、久留宮康浩 水野敬輔、世古口英、菅原 元 井上昌也、加藤健宏、秋田直宏 稲田亘佑、関本晃裕、緒方諒仁 石谷紗希、佐久本一樹、大澤拓哉 等々力広菜	第299回東海外科学会	2021.4.18
2	肺動脈塞栓症を契機に発見された膝窩静脈性血管瘤の一例	○大澤拓哉、等々力広菜、秋田直宏 水野敬輔	第49回日本血管外科学会総会	2021.5.19
3	当院における傍ストーマヘルニアと腹壁癒痕ヘルニアとの比較検討	○久留宮康浩、世古口英、菅原 元 井上昌也、加藤健宏、南 貴之 稲田亘佑、関本章裕、緒方諒仁 長田祥子、若尾 聖	第19回日本ヘルニア学会学術集会	2021.5.21-22 WEB
4	Serous cystadenoma with main pancreatic duct dilatation : a case report	○南 貴之、久留宮康浩、世古口英 菅原 元、井上昌也	第33回日本肝胆膵外科学会	2021.6.2
5	A case report of curative resection for hepatic caudate lobe metastasis with extrahepatic bile duct invasion from colon cancer	○井上昌也	第33回日本肝胆膵外科学会	2021.6.3
6	PASHを併存するepidermal cystの一例	○久留宮康浩、丹羽多恵、大西さくら 雄谷慎吾、世古口英、菅原 元 井上昌也、加藤健宏、南 貴之 稲田亘佑、関本晃裕、緒方諒仁 長田祥子、若尾 聖、加藤真由子	第29回日本乳癌学会学術総会	2021.7.1
7	大腸癌肝転移切除例の男女差についての臨床病理学的検討	○久留宮康浩	第76回日本消化器外科学会総会	2021.7.9
8	両側乳癌に対する再建手術	○久留宮康浩、丹羽多恵、川端明子 水野玲子、茂木公佑、牧野莉央 世古口英、菅原 元、井上昌也 加藤健宏、南 貴之、稲田亘佑 関本晃裕、緒方諒仁、浜辺健太 大澤拓哉、等々力広菜、石谷紗希 佐久本一樹	第9回日本乳房オンコプラスチックサージャー学会総会	2021.9.16
9	当科の腹腔鏡下膈体尾部切除における脾周囲の手術手技の工夫	○南 貴之、菅原 元	第52回日本膵臓学会	2021.9.22
10	外傷性胸部大動脈損傷に対しステントグラフト内挿術を施行した一例	○吉田健一郎、水野敬輔、秋田直宏 大澤拓哉、等々力広菜	第62回日本脈管学会総会	2021.10.14-16
11	肺動脈塞栓症を契機に発見された膝窩静脈性血管瘤の2例	○大澤拓哉、等々力広菜、秋田直宏 水野敬輔	第62回日本脈管学会総会	2021.10.14-16

12	ステント挿入後に術前化学療法を施行し環状側切除断端の確保を得た直腸癌の一例	○久留宮康浩	第76回日本大腸肛門病学会学術集会	2021.11.12
13	大腸癌卵巣転移症例の検討	○世古口英、加藤健宏、井上昌也 菅原 元、久留宮康浩	第76回日本大腸肛門病学会学術集会	2021.11.13
14	排便機能に留意したLaparoscopic Ventral Rectopexy	○加藤健宏、久留宮康浩、世古口英 菅原 元、井上昌也、南 貴之 他	第83回日本臨床外科学会総会	2021.11.18
15	術前化学療法後にpull-through併施ISRを行った病的肥満を伴う	○久留宮康浩	第83回日本臨床外科学会総会	2021.11.19
16	抗血栓薬内服急性胆嚢炎患者におけるPTGBD対緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術の検討	○久留宮康浩	第34回日本内視鏡外科学会	2021.12.2

呼吸器外科

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	抜糸を必要としない胸腔ドレーン閉鎖法	○今村由人、平松義規、渡邊裕樹 岡阪敏樹	第38回日本呼吸器外科学会学術集会	2021.5.20
2	定型肺カルチノイド術後8年目に胸壁転移で悪性進化した一例	○平松義規、今村由人、渡邊裕樹 岡阪敏樹	第38回日本呼吸器外科学会学術集会	2021.5.20~21 WEB
3	肺カルチノイドの臨床経験	○平松義規、今村由人、岡阪敏樹	第62回日本肺癌学会学術集会	2021.11.27

心臓外科

著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	Surgical Strategy for Huge Right Coronary Artery Aneurysm Combined with Left Ventricular Fistula	○Takafumi Terada Yoshimori Araki Akihiro Kobayashi Osamu Kawaguchi	Case Rep Cardiol 2021 Oct 7;2021:8438640

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	カテーテルアブレーション後の左房食道瘻に対して緊急手術を施行し救命し得た一例	○寺田貴史、小林明裕、荒木善盛 川口 鎮	第49回日本救急医学会総会・学術集会	2021.11.23
2	OPCAB後に冠動脈全域で高度spasmをきたした1例	○小林明裕、荒木善盛、寺田貴史 川口 鎮	第113回東海心臓外科懇話会	2022.1.29
3	アブレーション後左房食道瘻に対する開心術とSTSCsystemによる2期的治療戦略	○寺田貴史、小林明裕、荒木善盛 川口 鎮	第52回日本心臓血管外科学会学術総会	2022.3.3

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	荒木善盛	第113回東海心臓外科懇話会	2022.1.29



救急科

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	With/Postコロナ時代のe-learningを導入したICLSコース	○伊藤貴康	第49回日本救急医学会総会・学術集会	2021.11.22

泌尿器科

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	腹腔鏡手技の習得を目指した折鶴トレーニング法	○野田祐介、濱本周造、岡田敦志、河合憲康、安藤亮介、水野健太郎、安井孝周	第34回日本内視鏡外科学会	2021.12.3
2	折鶴作成による腹腔鏡手術トレーニングの確立	○野田祐介、濱本周造、永井 隆、恵谷俊紀、内木 拓、宇佐美雅之、窪田裕樹、橋本良博、岩瀬 豊、安井孝周	第109回日本泌尿器科学会総会	2021.12.7

眼科

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	網膜静脈分枝閉塞症と特発性黄斑部毛細血管拡張症1型の毛細血管異常の分布	○湯口貴彬、平野佳男、富安胤太、鈴木識裕、安川 力、小椋祐一郎	第37回日本眼循環学会	2021.9.26

耳鼻咽喉科

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	当科における甲状腺濾胞癌の検討	○金屋歳三	第83回耳鼻咽喉科臨床学会	2021.6.26

麻酔科

著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	ある市中病院の外国人患者周術期対応	○上原博和	LiSA

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	先天性無痛無汗症の小児に対する全身麻酔管理経験	○川口大地、岩 侖、水野佑哉、川口里奈、小島康裕、上原博和	日本麻酔科学会2021年度支部学術集会第19回東海北陸支部学術集会	2021.9.4
2	鎌状赤血球症を有する四肢多発外傷に対し全身麻酔下にて固定を行った一例	○水野佑哉、小島康裕、川口大地、川口里奈、岩 侖、上原博和	日本麻酔科学会2021年度支部学術集会第19回東海北陸支部学術集会	2021.9.4~ 10.4 WEB

整形外科

著書・論文

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	Higher doses of methotrexate associated with discontinuation of oral glucocorticoids after initiation of biological DMARDs: A retrospective observational study based on data from a Japanese multicenter registry study	Mochihito Suzuki, Toshihisa Kojima Nobunori Takahashi, Shuji Asai Kenya Terabe, Atsushi Kaneko Yuji Hirano, Masahiro Hanabayashi Takeshi Oguchi, Hideki Takagi Yasuhide Kanayama, Yuichiro Yabe Koji Funahashi, Takayoshi Fujibayashi, Seiji Tsuboi Takayasu Ito, Yutaka Yoshioka Hisato Ishikawa, Yasumori Sobue Tsuyoshi Nishiume, Yutaka Yokota Naoki Ishiguro	Mod Rheumatol. 2021 Jul;31(4):796-802.
2	Comparison of the effects of baricitinib and tocilizumab on disease activity in patients with rheumatoid arthritis: a propensity score matching analysis	Shuji Asai, Nobunori Takahashi Tomonori Kobayakawa Atsushi Kaneko, Tatsuo Watanabe Takefumi Kato, Tsuyoshi Nishiume Hisato Ishikawa, Yutaka Yoshioka Yasuhide Kanayama Tsuyoshi Watanabe, Yuji Hirano Masahiro Hanabayashi, Yuichiro Yabe Yutaka Yokota, Mochihito Suzuki Kenya Terabe, Naoki Ishiguro Shiro Imagama, Toshihisa Kojima	Clin Rheumatol. 2021 Aug;40(8):3143-3151.
3	Plate fixation through the lateral extensile approach versus cannulated screw fixation through the sinus tarsi approach for calcaneal fracture: a multicenter, propensity score-matched TRON study	Takuya Sugimoto Katsuhiko Tokutake Yasuhiko Takegami, Nobuyuki Okui Yasuhide Kanayama, Hidenori Inoue Ryosuke Sugimoto, Yujiro Kagami Shiro Imagama	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2021 Sep 9. doi
4	発作性心房細動加療中に腸腰筋血腫を生じた1例	○寺澤 慧、金山康秀、渡部 拓	中部日本整形外科災害外科学会雑誌 64(5), 681-682, 2021

学会発表

No.	演題名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	発作性心房細動加療中に腸腰筋血腫を生じた1例	○寺澤 慧、二村尚久、金山康秀 辻 太一、大田恭太郎、足立 維 杉本遼介、渡部 拓、前田健登	第136回中部整形災害外科学会	2021.4.9
2	当科におけるRA骨粗鬆症に対するロモソズマブの治療成績	○金山康秀	第64回日本リウマチ学会総会・学術集会	2021.4.26~28
3	当科における原発性骨粗鬆症、RA骨粗鬆症に対するロモソズマブの治療成績	○金山康秀、辻 太一、二村尚久 大田恭太郎、足立 維、杉本遼介 渡部 拓、寺澤 慧、前田健登	第94回日本整形外科学会学術集会	2021.5.20~23
4	当科におけるバリシチニブ、TNF製剤投与RAにおける関節エコー所見改善効果に関する比較検討	○金山康秀	第94回日本整形外科学会学術集会	2021.5.23
5	Comparing the ultrasonographic evaluation in patients with Japanese rheumatoid arthritis between Baricitinib and TNF antagonist therapy	○Yasuhide Kanayama Atsushi Nagata Miyuki Shimotake, Fumiko Miyachi Keisuke Fujita, Mai Koyama and Shiho Uno	第22回欧州リウマチ学会 (EULAR)	2021.6.2~5
6	Clinical efficacy of romosozumab in patients with rheumatoid arthritis for 12 months	○Yasuhide Kanayama Ryosuke Sugimoto	第22回欧州リウマチ学会 (EULAR)	2021.6.3



7	成人期にサルベージ手術を施行した既術性脊椎側弯症の一例	○前田健登、辻 太一、大田恭太郎	東海脊椎脊髄病研究会	2021.6.5
8	当科におけるアバタセプト投与症例の関節エコー所見改善効果について	○金山康秀	第32回中部リウマチ学会	2021.9.17
9	腰部脊柱管狭窄症を伴う腰椎変性後側弯症の手術治療成績—当科における術式別の矯正率の比較—	○大田恭太郎、辻 太一	第30回インストゥルメンテーション学会	2021.10.1
10	成人期にサルベージ手術を施行した既術性脊椎側弯症の一例	○前田健登、辻 太一、大田恭太郎	第30回インストゥルメンテーション学会	2021.10.1
11	腰部脊柱管狭窄症を伴う腰椎変性後側弯症の手術治療成績—当科における術式の変遷と手術侵襲の比較—	○大田恭太郎、辻 太一	第30回インストゥルメンテーション学会	2021.10.2
12	Clinical efficacy of romosozumab in patients with rheumatoid arthritis and primary osteoporosis for 12months	○Yasuhide Kanayama, Taichi Tsuji Hironobu Inagaki Naohisa Futamura, Kyotaro Ota Yui Adachi, Taku Watanabe Satoshi Terasawa and Kento Maeda	第43回米国骨代謝学会 (ASBMR)	2021. 10.1~4
13	当科における原発性骨粗鬆症に対するロモソズマブの治療成績～12ヶ月経過例の検討～	○金山康秀、辻 太一、二村尚久 大田恭太郎、足立 維、渡部 拓 寺澤 慧、前田健登	第21回日本骨粗鬆症学会	2021.10.8
14	EOS治療のフレームワーク—キャストから手術まで—	○辻 太一	第55回日本側彎症学会 学術集会	2021.11.5
15	腰部脊柱管狭窄症を伴う腰椎変性後側弯症の手術治療成績—当科における術式の変遷と手術侵襲の比較—	○大田恭太郎、辻 太一	第55回日本側彎症学会 学術集会	2021.11.5
16	腰部脊柱管狭窄症を伴う腰椎変性後側弯症に対する腰仙椎固定術の治療成績—当科における術式別のアライメント比較—	○大田恭太郎、辻 太一	第55回日本側彎症学会 学術集会	2021.11.5
17	関節リウマチ患者に発生した大腿骨近位部骨折症例の検討	○寺澤 慧、金山康秀、辻 太一 二村尚久、大田恭太郎、足立 維 渡部 拓、前田健登	第257回整形外科集談 会東海地方会	2021.12.18
18	関節リウマチ患者に発生した大腿骨近位部骨折症例の検討	○寺澤 慧、金山康秀	第36回日本臨床リウマチ学会	2021.12.18
19	Abatacept投与症例における関節エコー所見改善効果について～24週経過例におけるTNF製剤との比較検討～	○金山康秀、寺澤 慧	第36回日本臨床リウマチ学会	2021.12.19
20	大腿骨近位部骨折の近況とその治療	○前田健登	大腿骨頸部骨折パス会議	2022.3.3

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	実臨床における骨粗鬆症治療薬の適正使用と二次骨折予防の重要性	○金山康秀	骨粗鬆症治療Webセミナー ～NEXTセミナー～	2021.4.2
2	サリルマブのポテンシャルと当科における投与症例について	○金山康秀	Nagoya Clinical IL-6 Specialist Meeting	2021.4.16
3	関節リウマチ治療におけるバリシチニブの可能性	○金山康秀	第1回 臨床 JAK Online Conference	2021.4.22
4	Life Eventを見据えたRA診療 ～WoCBA女性のリウマチについて考える～	○金山康秀	関節リウマチ WoCBA 講演会	2021.6.3
5	関節リウマチ治療におけるバリシチニブの可能性 ～関節エコー評価を含めて～	○金山康秀	岐阜JAK Web Conference	2021.6.22

6	関節リウマチ診療における画像評価について	○金山康秀	田辺三菱製薬株式会社 社内講演会	2021.6.24
7	関節リウマチの最新治療戦略 2021	○金山康秀	ギリアド・サイエンシズ 株式会社 社内講演会	2021.7.9
8	セルトリズマブペゴルの適正使用について ～WoCBA女性のRAについて考える～	○金山康秀	三河メディカル研究会	2021.7.31
9	骨粗鬆症紹介外来の現状と治療継続の重要性	○金山康秀	豊田加茂骨粗鬆症学術 Web Seminar	2021.9.1
10	臨床試験から見るスマイラフへの期待	○金山康秀	JAK阻害薬 Web Symposium	2021.10.5
11	骨粗鬆症治療 update ～骨粗鬆症治療薬を上手に使いこなすポイント～	○金山康秀	Meet The Specialists- Osteoporosis-	2021.10.20
12	関節リウマチ診療におけるイグマチモドの使い どころについて	○金山康秀	csDMARDsを語る会 in愛知	2021.10.23
13	セルトリズマブペゴルの適正使用について ～若年 RA 女性の治療戦略について考える～	○金山康秀	関節リウマチセミナー ～女性のライフイベント を考慮した治療を考 える～	2021.11.4
14	RA 治療における薬剤選択について～ MTX 及 び DMARDs の使い分けを中心に～	○金山康秀	あゆみ製薬株式会社 社内講演会	2021.11.25
15	関節リウマチ治療について	○金山康秀	旭化成ファーマ株式会 社 社内講演会	2021.12.3
16	臨床試験から見るスマイラフへの期待	○金山康秀	第7回三河関節エコー 研究会	2021.12.4
17	JAK 阻害剤による関節エコー所見改善効果に ついて	○金山康秀	ジセレカ発売1周年講 演会 in 名古屋	2022.1.27
18	関節リウマチ診療における関節エコー検査の活 用法について	○金山康秀	第19回SRJミーティング	2022.2.5
19	関節リウマチ治療におけるバリシチニブの可能 性	○金山康秀	第5回 臨床 JAK Online Conference	2022.2.10
20	関節リウマチ治療においてどうアバタセプトを 使いこなすか? ～自験例における関節エコー データを含めて～	○金山康秀	リウマチWEBセミナー	2022.2.16
21	関節リウマチ合併骨粗鬆症治療における骨吸収 抑制剤の位置づけ	○金山康秀	骨粗鬆症と関節リウマ チを考える会	2022.2.21
22	RA に対する IL6 阻害薬の関節エコー所見改善 効果について	○金山康秀	BONE RESERCH FORUM in OSAKA	2022.3.11
23	関節リウマチの診断と治療	○金山康秀	エーザイ株式会社 社 内講演会	2022.3.18
24	PsA 症例に対する人工関節手術の治療経験	○金山康秀	UCB PsA WEB Seminar	2022.3.30
25	関節リウマチの診断と治療	○金山康秀	大正製薬株式会社 社 内講演会	2022.3.31

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	金山康秀	骨粗鬆症治療Webセミナー ～NEXTセミナー～	2021.4.2
2	座長	金山康秀	西三河RA Expert Meeting	2021.4.17

3	座長	金山康秀	第11回三河トシリズマブ研究会	2021.5.15
4	座長	金山康秀	Tsurumai RA/OP Communication	2021.6.10
5	座長	金山康秀	第5回 RA-BETTER WEB研究会	2021.6.11
6	座長	金山康秀	Biologics Users' Forum 2021	2021.6.12
7	座長	金山康秀	RINVOQ Expert Meeting	2021.6.17
8	座長	金山康秀	RA-SUPREME-研究会	2021.6.18
9	座長	金山康秀	西三河 RA Expert meeting	2021.6.30
10	座長	金山康秀	第15回三河骨粗鬆症研究会	2021.7.10
11	座長	金山康秀	豊田関節リウマチWebセミナー	2021.7.14
12	座長	金山康秀	骨粗鬆症を語る会	2021.7.16
13	座長	金山康秀	三遠 JAKi カンファレンス	2021.7.30
14	座長	金山康秀	三遠リウマチカンファレンス ～ふだん聞けない 関節リウマチの話～	2021.7.31
15	座長	金山康秀	RA online expert seminar	2021.8.18
16	司会	金山康秀	第3回 臨床 JAK Online Conference	2021.8.19
17	座長	金山康秀	豊田加茂骨粗鬆症学術 Web Seminar	2021.9.1
18	座長	金山康秀	PsAセミナー	2021.9.2
19	座長	金山康秀	第8回全三河リウマチ研究会	2021.9.4
20	司会	金山康秀	TOYOTA JAK Expert Online Conference	2021.9.4
21	座長	金山康秀	JAK Frontier web講演会	2021.9.9
22	座長	金山康秀	JAK阻害薬 Web Symposium	2021.10.5
23	司会	金山康秀	RA Expert Meeting	2021.10.14
24	座長	金山康秀	Real World Evidenceリウマチ治療 - on web 講演会-	2021.10.16
25	座長	金山康秀	第8回愛知DMARDs研究会	2021.11.13
26	座長・司会	金山康秀	リウマチ合併症セミナー in MIKAWA	2021.11.17
27	司会	金山康秀	第6回RA-BETTER WEB研究会	2021.12.10
28	座長	金山康秀	JAK阻害剤を考える会 in 三河	2021.12.15
29	座長	金山康秀	Osteoporosis Symposium	2022.1.22
30	司会	金山康秀	RA-SUPREAM研究会	2022.1.28
31	座長	金山康秀	三河脊椎関節炎フォーラム	2022.1.29
32	座長	金山康秀	RA Expert Seminar in 三河	2022.2.9
33	座長	金山康秀	三河RAエキスパートミーティング2022	2022.2.19
34	座長	金山康秀	骨粗鬆症と関節リウマチを考える会	2022.2.21
35	座長	金山康秀	RA online expert seminar	2022.3.2
36	司会	金山康秀	第6回RA-BETTER WEB研究会	2022.3.4
37	座長	金山康秀	第16回三河骨粗鬆症研究会	2022.3.19
38	座長	金山康秀	ウバダシチニブの適正使用を考える会	2022.3.24
39	座長	金山康秀	UCB PsA WEB Seminar	2022.3.30

口腔外科

著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	Multiple pilomatricomas in a middle-aged woman	○澤木 廉、澤木義弘、川口拓郎 兼子隆次、齋藤昌樹	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology
2	後天性von Willebrand症候群患者の抜歯経験	○澤木 廉、岡部一登、坂口晃平 坂倉寛記、兼子隆次、日比英晴	日本口腔外科学会雑誌

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	高齢第Ⅶ因子欠乏患者に対する抜歯経験	○澤木 廉、川口拓郎、澤木佳弘 河合孝真、兼子隆次、齋藤昌樹	第30回日本有病者歯科医療学会学術大会	2021.7.3~4
2	豊田厚生病院歯科口腔外科における過剰菌症例の臨床的検討	○伊藤大泰、兼子隆次、河合孝真 澤木 廉	第46回日本口腔外科学会中部支部学術集会	2021.10.30
3	口腔外科疾患を有する刑務所受刑者の臨床的検討	○兼子隆次、河合孝真、澤木 廉 伊藤大泰	第66回日本口腔外科学会総会	2021.11.12
4	豊田厚生病院歯科口腔外科における13年間の顎矯正手術症例の臨床的検討	○河合孝真、兼子隆次、澤木 廉 伊藤大泰	第66回日本口腔外科学会総会	2021.11.12
5	治療可能な歯肉癌に対しBSC (Best Supportive Care) が選択された一例	○兼子隆次、澤木 廉、河合孝真	第39回日本口腔腫瘍学会総会	2022.1.28

形成外科

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	静脈グラフト露出を伴う皮膚欠損部にNPWTi-dを行った一例	○茂木公佑、水野玲子、牧野莉央 川端明子	第64回日本形成外科学会総会学術集会	2021.4.15
2	ステロイド局注を行った頭部偽嚢腫の治療経験	○牧野莉央、川端明子、水野玲子 茂木公佑、曾我宜弘	第55回中部形成外科学会学術集会	2021.6.26
3	一般市中病院でのレーザーフェイシャルその他美容レーザー14年の経験	○川端明子、水野玲子、茂木公佑 牧野莉央、曾我宜弘	第55回中部形成外科学会学術集会	2021.6.26
4	当院におけるスムーズタイプインプラントを用いた乳房再建の経験	○曾我宜弘、川端明子、水野玲子 茂木公佑、牧野莉央	第55回中部形成外科学会学術集会	2021.6.26

産婦人科

著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	当院における子宮内避妊器具抜去への子宮鏡の活用	○神谷知都世、荒木 甫、宮本絵美里 安井裕子、新城加奈子、針山由美	東海産婦人科学会雑誌第58号
2	凍結融解胚移植後に卵巣妊娠となった1例	○安井裕子、新城加奈子、宮本絵美里 神谷知都世、安井裕子、山中浩史 針山由美	東海産婦人科学会雑誌第58号
3	流産手術後に子宮腔癒着となり、2度にわたる子宮鏡下癒着剥離術後に妊娠成立した1例	○安井裕子、新城加奈子、宮本絵美里 神谷知都世、安井裕子、山中浩史 針山由美	東海産婦人科学会雑誌第58号



学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	MVAシステムによる流産手術後に子宮腔癒着となり、2度にわたる子宮鏡下癒着剥離術後に妊娠成立した一例	○安井裕子、宮本絵美里、神谷知都世 山中浩史、新城加奈子、針山由美	第61回日本産婦人科内視鏡学会	2021.9.11
2	凍結融解胚移植により卵巣妊娠となった一例	○安井裕子、宮本絵美里、神谷知都世 山中浩史、新城加奈子、針山由美	第61回日本産婦人科内視鏡学会	2021.9.12
3	流産手術後に子宮腔癒着となり、2度にわたる子宮鏡下癒着剥離術後に妊娠成功した一例	○安井裕子、宮本絵美里、神谷知都世 山中浩史、新城加奈子、針山由美	第21回東海産婦人科内視鏡手術研究会	2021.10.30
4	凍結融解胚移植により卵巣妊娠となった一例	○安井裕子、新城加奈子、宮本絵美里 神谷知都世、山中浩史、針山由美	第21回東海産婦人科内視鏡手術研究会	2021.10.30
5	妊娠を契機に発見された悪性卵巣胚細胞腫瘍の2例	○大澤奈央、荒木 甫、宮本絵美里 神谷知都世、安井裕子、新城加奈子 針山由美	第142回東海産科婦人科学会	2022.3.5

皮膚科

著書・論文

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名
1	梅毒性乾癬	○榎原あゆみ、足立秀禎、鈴木伸吾	皮膚病診療43巻9号（2021年9月）

学会発表

No.	演 題 名	発表者及び協同研究者	学会名または雑誌名	年月日
1	当院で経験した葡行性迂回性紅斑の2例	○榎原あゆみ、足立秀禎、鈴木伸吾	第298回日本皮膚科学会東海地方会	2021.12.12
2	当院で経験したTIF1- γ 陽性皮膚筋炎の2例	○榎原あゆみ、足立秀禎、鈴木伸吾	第299回日本皮膚科学会東海地方会	2022.3.13
3	トシリズマブ使用中に皮膚・肺・眼サルコイドーシスを発症した1例	○近藤綾子、足立秀禎、榎原あゆみ 鈴木伸吾	第299回日本皮膚科学会東海地方会	2022.3.13

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	鈴木伸吾	豊田皮膚科医師会	2022.2.19

診療放射線室

学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	被ばく線量ソフトウェアで用いるボクセルファントムの体格推定	○柴田英輝、浅田恭生、松原孝祐 小澤 功	第77回日本放射線技術学会総会学術大会	2021.4.18
2	Usefulness in Low-kV CT imaging using the Visual model-based Iterative Reconstruction method - Visual model-based Iterative Reconstruction法を用いた低管電圧撮影における有用性について -	○柴田英輝	日本CT技術学会第9回学術大会	2021.10.2
3	次世代型逐次近似処理を用いた心臓CT検査	○鷹羽正悟	映像情報Medical	2022.2.4
4	頭部CT撮影における逐次近似処理を用いた線量低減への基礎検討	○浅野功一、柴田英輝	第33回愛知県診療放射線技師会学術大会	2022.2.24

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	鳥取造影 CT ゼミナール「実質系の造影理論」	深田真司	鳥取県診療放射線技師会	2022.2.19

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	深田真司	愛知県診療放射線技師会第1回研修会	2021.5.8
2	座長	深田真司	西三地区診療放射線技師会第1回研修会	2021.10.21
3	座長	深田真司	第33回(公社)愛知県診療放射線技師会学術大会	2022.3.6

臨床検査室

学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	症例やインシデントから学ぶ輸血検査・輸血療法 - 不規則抗体/交差適合試験編 -	○松井貴弘	愛知県臨床検査技師会輸血検査研究班5月研究会	2021.5.8 ~5.21
2	クロスミキシング試験が診断に有用であったLAHPSの一例	○藤上卓馬、寺坂明香、熊谷美希、松久保修、蒲澤康晃、三澤千鶴、高嶋幹代、中根生弥	第70回日本医学検査学会	2021.5.15 ~6.14
3	当院における成人侵襲性GBS感染症の検討	○加藤雄大、松本美咲、杉山裕衣、永田悠起、塩谷厚代、田中浩一、中根生弥	第70回日本医学検査学会	2021.5.15 ~6.14
4	人工物培養の方法と目的菌 - この検体、どうやって処理してる? -	○永田悠起	愛知県臨床検査技師会微生物検査研究班9月研究会	2021.9.5 ~9.18
5	血液検査部門企画 愛知県の取り組み	○蒲澤康晃、血液検査部門(中部6県各部門長)	第59回中部圏支部医学検査学会	2021.9.25 ~10.24
6	当院におけるCOVID-19遺伝子検査体制の構築	○松本美咲、加藤雄大、杉山裕衣、松久保修、永田悠起、永田篤志、田中浩一、中根生弥	第70回農村医学会学術集会	2021.10.6 ~27
7	結果解釈に苦慮した症例	○藤上卓馬	愛知県臨床検査技師会血液検査研究班講演会	2021.10.16
8	当院での術中脊髄モニタリングにおけるアラームポイントの検討	○高本智史、村山舞花、林 健太、下竹美由紀	第51回日本臨床神経生理学会学術大会	2021.12.16 ~12.28
9	当院における侵襲性 Campylobacter jejuni/coli感染症の臨床的背景の検討	○加藤雄大、松本美咲、杉山裕衣、松久保修、永田悠起、永田篤志、田中浩一、中根生弥	第33回日本臨床微生物学会総会・学術総会	2022.1.30
10	2021年度 愛知県臨床検査技師会精度管理調査報告会 血液検査部門形態項目	○藤上卓馬	愛知県臨床検査技師会血液検査研究会	2022.2.19
11	2022年度 愛知県臨床検査技師会精度管理調査報告会 生理検査部門腹部・表在超音波検査	○藤田啓介	愛知県臨床検査技師会生理検査研究班 2月研究会	2022.2.20

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	藤田医科大学 企業病院紹介セミナー	田中浩一	藤田医科大学	2022.1.13



会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	蒲澤康晃	第70回 日本医学検査学会	2021.5.15 ~6.14
2	座長	蒲澤康晃	中部圏支部血液検査部門研修会	2021.12.4 ~12.5
3	司会	田中浩一	肺癌病理検査を考える会	2022.2.1

リハビリテーション室

学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	早期胃瘻造設、嚥下訓練により経口摂取が可能となったびまん性突発性骨増殖症、サルコペニア合併症例	○山本彩加、渡口賢隆	第22回日本語聴覚学会	2021.6.19 ~7.20

臨床工学室

学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	選択的血漿交換法における血漿分離速度の検討	○酒出篤弥	第66回日本透析医学会 学術集会総会	2021.6.5
2	腹水濾過濃縮再静注法（CART）の回収率について行った実験と考察	○菅森 歩、中前健二、兵藤好行 沖島正幸、小川正博、酒出篤弥 辻川圭亮、近藤浩史、上村夕貴 西山和芳、太田委住、谷 亮太 遠藤泉樹、佐野公俊、澤田知宏 木内 優、日焼功貴	第66回日本透析医学会 学術集会・総会	2021.6.4
3	左房前壁より散発する上室性期外収縮のMappingが可能であった一例	○辻川圭亮、金子鎮二、藤田雅也	第67回日本不整脈心電 学会学術大会	2021.7.3
4	「マスキュア腹水濾過／濃縮フィルタ」の性能評価	○谷 亮太、菅森 歩、日焼功貴 木内 優、佐野公俊、遠藤泉樹 太田委住、西山和芳、辻川圭亮 酒出篤弥、澤田知広、上村夕貴 近藤浩史、小川正博、沖島正幸 兵藤好行	第66回日本透析医学会 学術集会・総会	2021.6.4
5	左房性三心房心に合併した長期持続性心房細動にBox隔離術が奏功した一例	○辻川圭亮、金子鎮二、藤田雅也	第2回不整脈心電学会 地方会	2022.3.5
6	Kentの斜走を確認できた興味深い治療経過となった房室回帰性頻拍の一例	○辻川圭亮、金子鎮二、藤田雅也	EPアブレーション技 術研究会 第1回中部地方会	2022.3.26

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	CLS Webinar	辻川圭亮	Biotronik	2021.9.9

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	パネリスト	辻川 圭亮	Abbott Web Seminar ME Summit in Tokai 2021	2021.12.10

栄養管理室

著書・論文

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名
1	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第22回 症例② 嚥下機能低下1	森 茂雄	Nutrition Care2021年4月号
2	ハイカロッチ® シリーズレシピ集監修	森 茂雄	ハイカロッチ® シリーズレシピ集 アイドゥ株式会社
3	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第23回 症例② 嚥下機能低下2	森 茂雄	Nutrition Care2021年5月号
4	事例で見る訪問栄養食事指導の実践。非経口の在宅栄養	森 茂雄	訪問栄養食事指導実践テキストブック。日本在宅栄養管理学会
5	超実践！高齢者の栄養ケア 介護保険施設の管理栄養士・栄養士のためのスキルアップ講座 第24回 まとめ	森 茂雄	Nutrition Care 2021年6月号
6	甲状腺原発扁平上皮がんによる食道狭窄に対して半固形状経腸栄養剤を活用した在宅栄養管理	森 茂雄	栄養経営エキスパート 2021年7-8月号
7	肺炎患者に対する管理栄養士による早期栄養サポートの有用性の検討 - 粘度調整水を用いた末梢静脈栄養離脱の試み -	森 茂雄	JSPEN Vol.3(3): 2021
8	健康の話 清涼飲料水の飲み過ぎに注意	高山日菜	JAあいち豊田 グリーンボイス vol223 2021年8月号
9	JA愛知厚生連 あなたの健康まもり隊 清涼飲料水の飲み過ぎに注意！	高山日菜	JA愛知尾東ぐりんぶらざ vol269 2021年8月号
10	オピニオン ジェネラリストの栄養管理を体現する	森 茂雄	PDN通信。NPO法人PDN(Patient Doctors Network)第77号
11	からだスマイルレシピ第15回	寺本 早	JAあいち豊田 グリーンボイス vol234 2021年10月号
12	超実践高齢者の栄養ケア 病院・高齢者施設でいかせる	森 茂雄	メディカ出版
13	からだスマイルレシピ第17回	加藤早絢	JAあいち豊田 グリーンボイス vol238 2022年2月号
14	健康の話 冬に飲みたいココアの話	太田 遥	JAあいち豊田 グリーンボイス vol238 2022年2月号
15	JA愛知厚生連 あなたの健康まもり隊 冬に飲みたいココアの話	太田 遥	JA愛知尾東ぐりんぶらざ vol275 2022年2月号

学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	基調講演：栄養指導を極める～管理栄養士だからできること～	森 茂雄	実践栄養ケア研究研究会	2021.8.7
2	一般発表：伝わるSOAP ～劇的ピフォーアフター～	高山日菜	実践栄養ケア研究研究会	2021.8.7
3	病院給食における賞味期限切れ食品発生防止への取り組み～食品棚へのラベリング効果の検証～	○寺本 早、金子広奈、脇阪涼子 森 茂雄、多氣みつ子	第70回日本農村医学会 学術集会	2021.10.6 ～10.27
4	給食経営における在庫管理～適正採用品目数による労働時間削減への検討～	○金子広奈、寺本 早、脇阪涼子 森 茂雄、多氣みつ子	第70回日本農村医学会 学術集会	2021.10.6 ～10.27
5	パントリー給食運営方式における食事変更業務標準化の検証	○脇阪涼子、金子広奈、寺本 早 森 茂雄、多氣みつ子	第70回日本農村医学会 学術集会	2021.10.6 ～10.27



6	新型コロナウイルス感染症防止への取り組み～外来栄養食事指導の運用と環境整備～	○森 茂雄、金子広奈、寺本 早 脇阪涼子、多氣みつ子	第70回日本農村医学会 学術集会	2021.10.6 ～10.27
7	愛知県厚生連相互啓発研修会 教育プログラム	森 茂雄	愛知県厚生連栄養士会 相互啓発研修会	2021.11.6
8	地域基幹病院におけるHACCP義務化への取り組み～直営給食運営による病棟パントリー方式の事例～	森 茂雄	第16回日本給食経営管理学会	2021.11.20
9	器の容量を指標とした献立作成の取り組み	○高山日菜、加藤早絢、太田 遥 津坂弥生、森 茂雄、多氣みつ子	愛知県栄養士研究大会 2021	2022.1.29
10	栄養食事指導報告書におけるカルテ記載方法の統一化	○加藤早絢、高山日菜、太田 遥 津坂弥生、森 茂雄、多氣みつ子	愛知県栄養士研究大会 2021	2022.1.29
11	愛知県厚生連相互啓発研修会 教育プログラム	森 茂雄	愛知県厚生連栄養士会 相互啓発研修会	2022.2.5

講演会等講師

No.	講演会名及び演題名	演者	主催	日付
1	栄養トラブルの原因検索	森 茂雄	有限会社ステップアップ	2021.4.1～ 2022.3.31
2	誰も教えてくれなかった看取りの栄養ケア!!	森 茂雄	有限会社ステップアップ	2021.4.18
3	患者・他職種から信頼を得られる栄養指導～生活習慣病編～	森 茂雄	有限会社ステップアップ	2021.5.23
4	栄養管理につなぐ給食管理の業務見直しポイント	森 茂雄	株式会社日本医療企画 中部支社	2021.7.24
5	知っているようで知らなかった!!基礎から学ぶ病院の給食管理～基本献立作成編	森 茂雄	有限会社ステップアップ	2021.10.9 ～10.10
6	仕組み作りの3ステップ	森 茂雄	株式会社日本医療企画 中部支社	2021.11.13
7	患者のためにともに進む～管理栄養士と調理師の歩幅合わせ～	岩本拓郎	株式会社日本医療企画 中部支社	2021.11.13
8	栄養士の役割と連携	森 茂雄	日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉科	2021.12.16
9	水・電解質の基本と臨床での扱い方	森 茂雄	有限会社ステップアップ	2022.1.29 ～1.30

薬剤部

学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	当院におけるオピオイド使用状況の変化と特徴について～過去5年間の処方量調査から～	○植松夏子、近藤 有、横山尚美 塩崎沙耶、戸田州俊、祢宜田和正 村松雅人	第14回日本緩和医療薬学会年会	2021.5.13 ～16
2	オピオイドスイッチにおける悪液質の影響－オキシコドンからフェンタニルパッチへ－	○渡邊千尋、吉田ひかり、築山純代 加藤涼子、大西正文、大橋 涉 前田圭介、森 直治、三嶋秀行 築山郁人	第14回日本緩和医療薬学会年会	2021.5.13 ～16
3	末梢血幹細胞移植患者における体重減少および中心静脈栄養（TPN）導入に影響を与える因子の検討	○坪井美咲子、植松夏子、近藤 有 榎原崇芳、三宅芳男	第36回日本臨床栄養代謝学会学術総会	2021.7.21 ～22

4	当院における亜鉛製剤内服患者の血清亜鉛・銅の測定状況に関する調査	○吉川真美、澤井喜邦、桜井美咲子 安藤千尋、日比祥代、三宅芳男	第36回日本臨床栄養代謝学会学術総会	2021.7.21 ~21
5	当院における新人薬剤師教育体制	○加藤恭平、古田美里、塩崎沙耶 成瀬加代、三宅芳男	第52回前項区厚生連病院薬剤師長会議学術総会	2021.9.26
6	DST活動によるBZ系使用量の変動について	○樋口祐莉香、松田詩乃、石川雅恵 三宅芳男	第40回日本認知症学会学術集会	2021.11.26

看護部

学会・研究会

No.	演題	協同研究者	学会名・雑誌名	日付
1	透析中の災害に備えたアクションカードの作成	○山川真由子、小金丸直美、平井綾子 千々岩尚子、酒出篤弥、佐野公俊 中前健二、倉田久嗣	第66回日本透析医学会学術集会・総会	2021.6.4
2	緩和ケア病棟看護師の行動制限に対する考え方	○中岡美恵子、野々山明日香、城田智子 永田幸枝、斎藤靖子、井口多恵子	2022年度JA愛知厚生連看護師会看護研究発表会	2021.10.30

会長・司会・座長

No.	会長・司会・座長区分	氏名	学会・研究会名	日付
1	座長	阪口浩美	第49回JA愛知厚生連看護師会研修会	2021.10.30

2. 院内研修活動

1. 全体講演会・全体発表会

No.	題名	講師	主催部署・主催委員会	開催日
1	第32回医療安全全体研修 「医療と法 全8章」	e-ラーニング	医療安全対策委員会	2021.7.12～ 8.13
2	第1回脳死下臓器提供ビデオ研修	e-ラーニング	臓器移植倫理委員会	2021.9.1～ 9.17
3	第23回感染対策委員会全体講演会「COVID-19時代の感染対策、抗菌薬の決め方入門」	感染症内科代表部長兼感染制御室長 川端 厚	感染対策委員会	2021.9.6～ 9.24
4	第7回医療倫理講演会「倫理的対話を促す4分割法」	動画配信 日本臨床倫理学会 オンライン臨床倫理レクチャー教材	治験倫理審査委員会	2021.10.1～ 10.31
5	第19回保険診療委員会講演会「OPCの仕組み、入院料請求時の注意事項」	保険診療委員会	保険診療委員会	2021.11.1～ 11.30
6	第18回患者サービス向上委員会全体講演会「医療従事者のためのホスピタリティ～患者様の寄り添うホスピタリティを実現するために～」	システムブレン 人材育成コンサルタントLeafWrapping 代表 山本 志のぶ 氏	患者サービス向上委員会	2021.12.10～ 12.24
7	第13回豊田感染症フォーラム「新型コロナ時代の感染対策と抗菌薬適正使用支援」	岐阜大学大学院 医学系研究科 感染症寄附講座 手塚 直行 氏	感染対策委員会	2022.2.6～3.9
8	第7回脳死下臓器提供シミュレーション（WEB）「脳死判定シミュレーション」	臓器移植倫理委員会	臓器移植倫理委員会	2022.2.15～ 2.28
9	第20回保険診療委員会講演会「令和4年度診療報酬改定を踏まえ豊田厚生病院が取り組むべきこと」	千葉大学病院 副院長 井上貴裕 氏	保険診療委員会	2022.2.21～ 3.11
10	第2回褥瘡予防対策委員会全体講演会「褥瘡の基本」	皮膚・排泄ケア認定看護師 福岡沙織	褥瘡予防対策委員会	2022.2.21～ 3.21
11	第19回大腿骨近位部骨折地域連携バス合同会議（WEB会議）	整形外科 前田健登 リハビリテーション科 鈴木祥平	地域医療福祉連携部 地域医療福祉連携課 在宅支援コーディネーター	2022.3.4
12	第4回認知症サポート委員会講演会「認知症の人への支援～コミュニケーション～」	認知症看護認定看護師 石川雅恵	認知症サポート委員会	2022.3.7～ 3.25
13	第26回豊田がんフォーラム「がん治療医が実践する緩和ケアとがん疼痛治療」	富山大学附属病院 臨床腫瘍部 診療講師・副部長 梶浦新也 氏	緩和ケア委員会	2022.3.17

2. 研修会・勉強会

No.	題名	講師	主催部署・主催委員会	開催日
1	第1回新入職員研修	豊田厚生病院職員	教育委員会	2021.4.2、 4.5
2	第86回令和3年4月薬剤師勉強会 「ジェネラリストとして知っておきたいCKDの基礎知識」	医薬情報課長 鈴木大介	薬剤部	2021.4.8
3	第158回救急症例検討会	救急科外来部長 畑田 剛	救命救急センター 外来委員会	2021.4.21
4	第58回豊田厚生病院ICLS講習会 「BLS/モニター・電気ショック/気道管理など」	救命救急センター外来部長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2021.4.25
5	第91回令和4年6月薬剤師勉強会 「緩和ケア領域における輸液療法の考え方」	緩和ケア内科代表部長 村松雅人	薬剤部	2021.6.9
6	第89回BLS/AED講習会「1次救命が必要な患者の発見から処置までのデモンストレーション」	救命救急センター外来看護師 宮田摩耶 救命救急センター外来看護師 水野由奈	救命救急センター 外来委員会	2021.6.10
7	第159回救急症例検討会	救急科外来部長 畑田 剛	救命救急センター 外来委員会	2021.6.16
8	第87回令和3年7月薬剤師勉強会 「ドーピング防止の相談、どう対応しますか？」	吉田整形外科病院 医療安全室長 山田雅崇氏	薬剤部	2021.7.16
9	第59回豊田厚生病院ICLS講習会 「BLS/モニター・電気ショック/気道管理」	救命救急センター長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2021.7.22
10	第160回救急症例検討会	救急科外来部長 畑田 剛	救命救急センター 外来委員会	2021.8.18
11	第90回BLS/AED講習会「1次救命が必要な患者の発見から処置までのデモンストレーション」	救命救急センター外来看護師 藤崎祐子 救命救急センター外来看護師 水野由奈	救命救急センター 外来委員会	2021.9.9
12	第2回新入職員研修	豊田厚生病院職員	教育委員会	2021.10.1
13	第60回豊田厚生病院ICLS講習会 「BLS/モニター・電気ショック/気道管理」	救命救急センター長 小林修一	救命救急センター 外来委員会	2021.10.3
14	第1回看護技術研修会「認知症看護～認知症の人とのコミュニケーションのコツ～」	認知症看護認定看護師 石川雅恵	地域医療連携課	2021.10.6
15	第88回令和3年10月薬剤師勉強会 「糖尿病の薬物治療について」	内分泌・代謝内科病棟部長 加藤大也	薬剤部	2021.10.14
16	第161回救急症例検討会	救急科外来部長 畑田 剛	救命救急センター 外来委員会	2021.10.20
17	第2回看護技術研修会「認知症看護～認知症の人とのコミュニケーションのコツ～」	認知症看護認定看護師 石川雅恵	地域医療連携課	2021.11.11



No.	題 名	講 師	主催部署・主催委員会	開催日
18	第7回がん看護基礎研修会	薬剤部棟業務課長 間瀬 悟 看護課長 古橋美直子、林真千子、 中王子美保 看護係長 吉田栄里、佐藤修秀 看護部 藤本 歩、古賀智美、 稲熊幸子、安居 円	がん診療連携推進委員会	2021.11.20～ 11.21
19	第3回看護技術研修会(Web)「自宅や施設で安心して看取るために」	訪問看護認定看護師 古賀智美 緩和ケア認定看護師 安居 円	地域医療連携課	2022.12.8
20	第89回令和3年12月薬剤師勉強会「認知症の薬物治療について」	脳神経内科外来部長 富田 稔	薬剤部	2021.12.9
21	第91回BLS/AED講習会「1次救命が必要な患者の発見から処置までのデモンストレーション」	救命救急センター外来看護師 岩井ひかり 救命救急センター外来看護師 加藤 孝	救命救急センター 外来委員会	2021.12.9
22	第162回救急症例検討会	救急科外来部長 畑田 剛	救命救急センター 外来委員会	2021.12.15
23	第4回看護技術研修会(Web)「自宅や施設で安心して看取るために」	訪問看護認定看護師 古賀智美 緩和ケア認定看護師 安居 円	地域医療連携課	2022.1.13
24	第90回令和4年2月薬剤師勉強会「今さら聞けない?!抗がん薬の基礎のキソ」	医療情報室長 間瀬 悟	薬剤部	2022.2.10
25	第90回令和4年2月薬剤師勉強会「今さら聞けない?!「抗がん薬の基礎のキソ」～患者さんの?を!に導くための指導のポイント～」	医薬情報室長 間瀬 悟	薬剤部	2022.2.10
26	第92回BLS/AED講習会「1次救命が必要な患者の発見から処置までのデモンストレーション」	救命救急センター外来看護師 松本亜紀 救命救急センター外来看護師 伊豫田由紀子	救命救急センター 外来委員会	2022.3.10

IV 委員会活動

1. 委員会一覧

令和3年3月末現在

名 称	設置 年月日	目的	開催回数
栄養食事委員会(法)(保)	S63.4.1	豊田厚生病院の行う患者の食事療養と及び、賄食に関する必要な事項を検討協議する	4回
治験倫理審査委員会(法)	H9.4.1	委員会は病院長の諮問に応じ、審査の対象とされる治験及び臨床研究等が倫理的及び科学的に妥当であるかを審査することを目的とする。医療の倫理性と患者の人権保護に関する基本的事項を審議及び検討することを目的とする	6回
輸血療法委員会	H10.6.1	「輸血療法の適正化に関するガイドライン」に示された望ましい輸血の管理体制に基づいた適切な輸血療法を推進する（厚生省健康政策局通知健政発第502号、平成元年9月19日制定「輸血療法の適正化に関するガイドライン」）	6回
臓器移植倫理委員会	H14.4.1	医の倫理に基づき検討し、適正に実施する（平成9年法律第104号臓器移植に関する法律（平成9年10月16日施行））	6回
診療録管理委員会(保)	H12.4.20	豊田厚生病院の診療録(電子カルテ含む)および印刷物に関する事項について協議し、診療録の内容の向上と適切な管理を行う	12回
研修管理委員会(法)	H11.5.1	豊田厚生病院および関連病院、関連施設における医師臨床研修を統括管理する	3回
臨床研修委員会(法)	H27.4.1	研修医がプライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につけ、『患者に適切な医療を提供』できるようになる為に、臨床研修医プログラム、各部署、各職種間との連携及び研修医の処遇などを充実させる	12回
歯科医師研修管理委員会(法)	H24.4.1	歯科研修医が『歯科医師として患者を全人的な視点に配慮した上で、基本的・総合的な臨床能力を修得し、患者や家族の信頼に応じられる姿勢を身に付ける』ことを主旨として、歯科医師臨床研修医プログラム、各部署、各職種間との連携及び研修医の処遇などを充実させる	3回
栄養サポート委員会	H15.5.1	入院患者の栄養の評価と栄養改善に関する提言を行い、栄養教育を支援する	11回
褥瘡予防対策委員会	H15.5.1	入院患者の褥瘡の発生の予防をし、既造の褥瘡の治療を集約的に行う	7回
摂食・嚥下推進委員会	H16.4.1	豊田厚生病院における摂食・嚥下障害を有する患者の機能評価および機能回復の推進に関する事項について協議する	12回
クリニカルパス委員会	H11.8.6	医療資源の効率的な活用と医療の質の向上を図り、クリニカルパスの作成とその運用についての協議を行い、病院の発展に寄与する	6回
化学療法委員会	H15.10.17	豊田厚生病院の化学療法の安全かつ適正な運用を図り、診療内容の向上に寄与する	12回

診療関連

	名 称	設置 年月日	目的	開催回数
診療関連	緩和ケア委員会	H16.4.1	患者のQOLに配慮して様々な苦痛や症状の緩和を図ることを検討し、緩和医療の適応基準や緩和プログラムの具体的な支援について協議する	12回
	がん診療連携推進委員会	H19.4.1	患者や家族の相談にあたる他、がんに関する専門的、学術的または総合的な研究を推進するとともに、がんの予防、診断、治療等に係る技術の向上、その他、がん医療を提供する体制の整備を図る	6回
	電子カルテ運用委員会	H20.2.1	豊田厚生病院における医療情報システムを円滑に運用する	6回
	認知症サポート委員会	H28.10.1	認知症の容態に応じた適時・適切な医療を提供するため、職員へ認知症患者のサポートに関する提言を行い、認知症対応能力の向上を目的とする	6回
教育・広報	教育委員会	H15.4.1	職員の知識および患者サービス向上を目的とする	6回
	ボランティア委員会	H6.4.1	職員とボランティアの協議により、地域の人たちのための病院づくりの活動をする	6回
安全管理関連	防災対策委員会(法)	H1.4.1	地震・火災・その他の災害が発生した場合に人的、物的被害を最小限に防止するため防災管理対策を徹底することを目的とする。また、災害拠点病院として常に行動できるよう調整する。	7回
	医療ガス安全管理委員会(法)	H2.4.1	医療ガス(医療の用に供する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医用圧縮空気、窒素等をいう)設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する	1回
	廃棄物管理委員会(法)	H10.8.1	病院としての特殊性に鑑み、廃棄物処理法及び廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアルに従って、主として感染性廃棄物を中心に、加えて一般廃棄物および産業廃棄物について、厚生連廃棄物処理規程に基づき必要な事項を定め、適正な処理を確保し、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上、推進を図る	1回
	感染対策委員会(保)	H3.4.1	豊田厚生病院における院内感染防止に関する事項について協議し、感染対策を立案、実施する	12回
	医療安全対策委員会(保)	H12.4.1	医療事故・再発防止・対策などを検討及び具体化して、患者に安全で質の高い医療を提供する	12回
	医療事故防止対策委員会	H14.4.1	重大な医療事故への具体的対応を行い、併せて再発防止策を検討し、患者に安心と安全な診療を提供する	1回
	虐待対応委員会	H12.11.1	この委員会は、子ども虐待、高齢者虐待、障害者虐待、配偶者暴力(DV)の予防及び早期発見と被虐待児、被虐待者の救済を目的とする	6回
	透析機器安全管理委員会(保)	H22.4.1	血液浄化療法を安全に運用するため、関連機器の管理ならびに使用する透析液水質管理をする	2回
	コンプライアンス委員会	H25.4.1	この委員会は、コンプライアンスに関する意識の向上とコンプライアンス態勢の確立を図ることを目的とする	4回
	業務改善	患者サービス向上委員会	H13.2.6	医療はサービス業であるとの認識を持って患者により良いサービスを提供する
業務分担推進委員会		H24.4.1	病院勤務医、看護職員・負担の軽減及び処遇の改善を検討することを目的とする	3回



	名 称	設置 年月日	目的	開催回数
経営関連	薬 事 委 員 会	S55.4.22	医薬品その他薬品の管理、適正使用、医療内容の向上および病院経営の発展に寄与する	6回
	医 療 材 料 委 員 会	H16.4.1	医療材料・検査試薬の管理及び適正合理化を図り、医療内容の向上、病院経営の発展に寄与する	6回
	購 買 委 員 会	H8.12.12	事業年度における固定資産枠内取得品目の選定を適正かつ円滑に行う	1回
	保 険 診 療 委 員 会	H12.4.1	診療報酬の効率的な算定、返戻・査定減に関する事項、DPCの運用、適切なコーディングに関する事項および病床管理について協議を行い、病院診療の運営に寄与する	6回
各部門運営関連	放 射 線 安 全 委 員 会 (法)	S60.10.1	法律に基づき、放射線発生装置の取扱いによる放射線障害の発生を防止すると共に、公共の安全を確保する	1回
	中央放射線部運営委員会	H13.6.1	中央放射線部の適正な活用と質の向上を目的とし、その運営について協議し、病院の発展に寄与する	6回
	臨床検査運営委員会(保)	H12.4.1	臨床検査の適正な活用と臨床検査の質の向上を目的とする	6回
	救命救急センター外来委員会	H15.4.8	救命救急センター外来に係る諸問題を検討し、円滑な救急医療ができる体制を整える	12回
	救命救急センター病棟委員会	H15.4.1	豊田厚生病院におけるICU・HCUの利用状況を把握し、問題点などを検討及び協議する	6回
	中央手術室運営委員会	H14.4.1	手術室の運営に関わる諸問題を検討し、円滑な手術室の運営ができる体制を整える	6回
	外 来 運 営 委 員 会	H20.9.26	外来の運営に関わる諸事項を検討し、円滑な外来診療ができる体制を整える	6回
	入退院支援センター運営委員会	H24.8.1	入退院支援センターの円滑な運営に資する	11回
	供 給 委 員 会	H27.10.1	豊田厚生病院における薬品、医療材料及び物品の適正な供給と管理を目的とする	6回
職員関連	安 全 衛 生 委 員 会 (法)	H1.4.1	豊田厚生病院における職員の安全と健康を確保し、業務の向上と円滑な遂行を図る	12回
	保 育 委 員 会 (法)	H5.4.1	愛知県健康性農業協同組合連合会 保育所管理要領第4条第3項の規程に基づき、院内保育所、病児保育室、小児病棟、その他附帯する業務の円滑な運営を行う	6回
	総 務 委 員 会 (法)	H10.4.1	愛知県厚生農業協同組合連合会の規程改訂及び病院業務運営の改善向上に関する意見を集約し病院長に具申する	1回
	厚 生 委 員 会	H10.8.1	職員の親睦ならびに資質の向上と、健全明朗な環境を作り上げ、豊田厚生病院の繁栄に寄与する	12回
	人事考課制度推進委員会	H12.4.1	事業所における人事考課制度の実施・推進を目的とし、人事考課制度の円滑な運用を図る	2回
	看護職確保対策委員会	H25.4.1	看護職の確保に係ることについて検討することを目的とする	12回

(法)：法律に基づく設置

(保)：診療報酬に基づく設置

豊田厚生病院 令和3年度年報

2022年10月 発行

発行・編集 愛知県厚生農業協同組合連合会
豊田厚生病院

〒470-0396

愛知県豊田市浄水町伊保原500-1

TEL (0565)43-5000

印刷部数 260部

印刷 ニチモウ印刷株式会社



JA 愛知厚生連

豊田厚生病院

TOYOTA KOSEI HOSPITAL